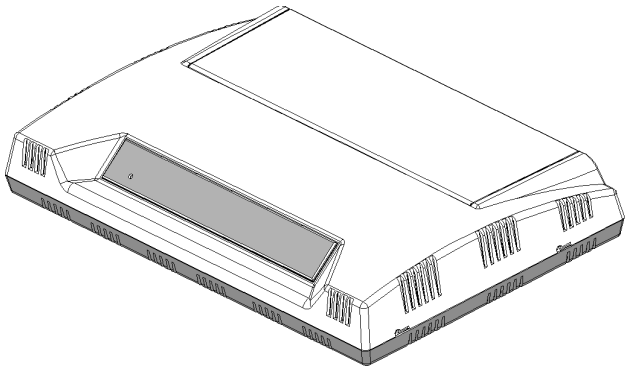


IPvoice シリーズ

アイピーブイスリー

IPV3　取扱説明書

このたびは IPvoice シリーズ「IPV3」をお買い求めいただきありがとうございます。

●ご使用になる前に本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

●お読みになったあとも大切に保管してください。

●本製品は、技術基準適合認定及び VCCI クラス A 情報技術装置適合商品です。

株式会社 アレクソン

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解のうえ正しくご使用ください。

■絵表示の説明

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

⚠危険：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性が、切迫して生じることが想定される場合。

⚠警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害※が発生する頻度が高い場合。

⚠注意：取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性は少ないが傷害を負う危険性が想定される場合、ならびに物的損害※のみの発生が想定される場合。

※物的損害とは、家屋家財及び家畜ペットに関わる拡大損害を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

△ マークは、危険、警告を含む「注意」を示しています。

左図の例は、「特定しない一般的な注意、警告、危険の通告」を示しています。

⃠ マークは、してはいけない「禁止」を示しています。

左図の例は、「分解禁止」を示しています。

● マークは、必ず実行していただく「強制」や「指示」を示しています。

左図の例は、「差込プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内向けの製品です。海外の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。あらかじめご了承ください。

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご注意

（１） 本書及び本製品の内容の一部又は全部を無断で複写、複製することを禁じます。
（２） 本書及び本製品の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
（３） 本書及び本製品は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら、ご連絡ください。
（４） 本製品（ハードウェア、ソフトウェア及び関連文書）を運用した結果については、（３）項に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（５） 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電時の外部要因によって異常な課金が発生した場合や、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純正経済損失につきましては、いっさいその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
（６） 設定値を保存中に停電が発生した場合など、設定データが異常になることが有ります。その場合は再起動時に全ての設定値を初期化しますので、再度設定をやり直してください。

- INSネット64は、NTTの商標です。
- Windows2000/XP、Internet Explorerは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。

⚠ 警告

●万一異常が発生したら、すぐに電源スイッチを切り電源コードを抜く。
煙、変な音・においがする等、異常状態のまま使用しないでください。火災や感電の原因となります。このような時は、すぐに電源スイッチを切り、電源コードを抜いてお買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●ＡＣ１００Ｖ（５０/６０Ｈｚ）以外の電源電圧では使用しない。
定格以外の電源電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。

●異物を入れない。
本機に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
万一異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●本機付属以外の電源コードを使用しない。
火災や故障の原因となります。

●分解したり改造したりしない。
本機カバーをはずして内部を触ったり本機を改造しないでください。火災や感電、故障の原因となります。修理の際は、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●本機の近くに水や飲料水等の液体、ヘアースプレー等、可燃物の入っている容器を置かない。
内部に液体や可燃性の強い気体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

●水・薬品等が、かからないようにする。
引火や火災、感電の恐れがあります。

●電源コードは大切にあつかう。
コードに重い物をのせたり、熱器具等に近づけたりしないでください。コードが損傷します。コードが損傷すると、火災や感電、故障の原因となります。また、コードを加工したり、無理に曲げたり引っぱったりすると、火災や感電の原因となります。コードが損傷した場合は、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●本機を落とし破損した場合等は。
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源スイッチを切り、電源コードと接続ケーブル類をすべて抜き、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●極めて高い信頼性や安全性が必要とされている機器に接続しない。
本機は一般オフィスや家庭のＯＡ機器と接続する用途の製品として設計されています。幹線通信機器や業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる機器には接続しないでください。

⚠ 注意

●本機は日本国内でのみ使用。

国外での使用は、電源電圧等の問題により本機が故障する事があります。

●電源コードを抜く時は、直接コードを持たない。

電源コードを抜く時は、必ず電源プラグ側を持って抜いてください。直接コードを持って抜くと、電源コードが損傷し火災や感電、故障の原因となります。

●ぬれた手で電源プラグにさわらない。

ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。感電や火災、故障の原因となります。

●本機の上に物を置かない。

本機の上に物をのせないでください。故障の原因となります。また本機の上にのらないでください。けがや故障の原因となります。特にお子様のいらっしゃるご家庭では注意してください。

●電源プラグとコンセントの定期点検を。

電源プラグとコンセントは長時間つないだままだと、ほこり等がたまります。そのままの状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。年に一度は定期的な点検を行い、接触不良等の確認をしてください。

●アース線を接地する。

本機は落雷等の影響を最小限に抑えるための対策を行っていますが、本機のアース端子を使用し、必ず接地するようにしてください。

●お手入れの時は。

本機の本体が汚れた場合は、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください。薬品類（ベンジン・シンナー等）は使わないでください。変質・変色する場合があります。またプラグやコネクター等、外部機器接続部にほこり等がたまった場合は接続機器をはずし、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず電源スイッチを切り、接続ケーブルを全て抜いてから行ってください。

●本機を長期間使用しない場合は。

本機を長期間使用しない場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。接続ケーブルを全てはずし、保管してください。

●雷がなり始めたら、電源プラグをコンセントから抜く。

落雷の恐れがある時は、ただちに使用を中止し、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また機器との接続ケーブルをはずしてください。落雷時に本機内部に電流が流れ込むと、本機を破壊する恐れがあります。

⚠ 設置に関する注意

●風通しの悪い場所に置かない。

本機をラック内など、密閉された場所に置かないでください。また本機を直接積み重ねて使用する事はしないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

●温度が高くなる場所に置かない。

直射日光の当たる場所や、発熱する器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。内部に熱がこもり、火傷や火災、故障の原因となります。

●湿気やほこりの多い場所に置かない。

湿気・ほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くに置かないでください。火災や感電の原因となります。

●ラジオやテレビのすぐ近くに置かない。

ラジオ・テレビのすぐ近くに置くと、受信障害が発生する恐れがあります。

●不安定な場所やお子様の手の届く場所に置かない。

ぐらついた台の上、本機より面積が小さい場所の上、傾いた場所、衝撃や振動の加わる場所等に置かないでください。またお子様の手の届く場所に置かないでください。落下・倒れで、けがや故障の原因となります。

●指定以外の方法で設置しない。

本機で指定する以外の方法で設置しないでください。また布等でくるんだ状態での使用をしないでください。火災や故障の原因となります。

●本機よりＮＴＴ交換機側にアナログ機器を設置しない。

ＩＳＤＮ回線上に検針器や警報装置等を設置している場合は、装置メーカもしくは装置の取り付け会社に連絡を取り、適切な処置を行ってください。装置を取り付けたままの状態では、本機が正常に動作しない場合があります。また設置されている機器が正常に動作しない場合があります。

●本機よりＮＴＴ交換機側で回線を分配しない。

ＩＳＤＮ回線はＤＳＵ内蔵機器を１台しか接続できません。本機よりＮＴＴ交換機側で回線を分配する事はできません。分配して機器を接続した場合、本機及び他の分配接続機器が正常に動作しません。

●指定以外の機器を接続しない。

本機の各接続端子には、本機指定の機器以外は接続しないでください。指定以外の機器を接続すると、本機及び接続機器が正常に動作しません。また火災や故障の原因となります。

本機の保障について

●保障期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、弊社では設置工事・出張修理は行っておりません。

●保障期間を過ぎている場合

修理によって使用できる場合は、ご要望によって有償で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。

本機のサポート・お問い合わせ

●本機（IPvoice 本体）及び IPvoice の内線端末として使用する IP 電話機「IPvoice　Phone」に関するサポート（導入前のお問い合わせ～導入時の設定等に関するお問い合わせ、運用時に於けるお問い合わせ、機器の故障）は弊社サポートセンターまでご連絡ください。

お問い合わせ先

アレクソン　サポートセンター

０７２－７８０－１１０１

受付時間　９：２０～１２：００　１３：００～１７：００

※祝祭日、年末年始、弊社休業日を除く

目次

1　概要 9

2　お客様にご準備して頂くこと 10

3　製品の構成（梱包内容） 12

4　ご利用までの流れ 12

5　各部の名称とはたらき 13

5.1 前面表示パネル部 13
5.2 背面コネクタ接続部 15
5.3 カバー内操作部 16

6　本機を設置するには 17

7　本機を接続するには 20

7.1 接続に関する注意点 20
7.2 各機器との接続 21
7.3 接続ケーブルの処理 23
7.4 複数回線収容型の既存ビジネスホン（PBX）との接続 24
7.4.1　一般的な接続例 24
7.4.2　既存ビジネスホン（PBX）経由での接続例 24
7.5 接続後の電源投入手順と確認 25
7.5.1　ONU 等と本機 25
7.5.2　本機と HUB 機器及び IP 電話機・本機設定用パソコン 25
7.5.3　既存ビジネスホン（PBX）と本機 25
7.5.4　INS 回線と本機 25

8　パソコン側を設定するには 26

8.1 Windows2000 の場合 26
8.2 WindowsXP の場合（カテゴリ表示の場合） 28
8.3 インターネットオプションの設定 30

9　本機を設定するには 32

9.1 設定画面（Web 画面）へのログイン 34
9.2 リモートメンテナンスの設定（許可/禁止設定） 36
9.3 IP 電話機運用構成の設定（IPvoice Phone の運用構成設定） 38
9.3.1　運用構成について 38
9.3.2　事前準備 39
9.3.3　自動設定 41
9.3.4　フレキシブルキーの割当 47
9.4 ＷＡＮの設定 50
9.4.1　PPPoE 接続の設定例 50
9.4.2　DHCP クライアントの設定例 53

9.5 ＳＩＰプロキシーの登録 54
9.5.1 SIP プロキシーの設定 54
9.5.2 IP 加入電話番号（IP 電話回線）での着信通知先設定 57
9.6 ＩＮＳの設定 61
9.7 着信機能の設定 66
9.7.1 IP 電話回線からの着信に関する設定 67
9.7.2 INS 回線からの着信に関する設定 68
9.8 IPvoice Phone の設定 69
9.9 アナログ電話機の設定 71
9.10 構内放送・ドアホンの設定 73
9.11 ＰＢＸ（収容ビジネスホン）の設定 74
9.12 接続機器共通事項の設定 76
9.13 INS 発信テーブル 77
9.14 パスワードの変更 78
9.15 機器の再起動 80
9.15.1 本機の再起動 80
9.15.2 IPvoice Phone の再起動 83
9.15.3 再起動後の確認 83
10 代表的な運用形態での設定例 84
10.1 VoIP ゲートウェイとしての運用形態 84
10.2 IP-PBX としての運用形態 87
11 その他の機能 90
11.1 オートダウンロード機能（ＡＤ機能） 90
11.2 内蔵メッセージと保留音の変更 90
11.2.1 メッセージや保留音の置換用データファイルを作成する 91
11.2.2 作成したファイルを本機にアップロードする 96
11.2.3 本機を再起動する 99
11.2.4 パーク保留音・自動応答メッセージを工場出荷時に戻すには 100
11.3 本機設定の保存と復元 101
11.4 本機の初期化 106
12 IP 電話機の使い方 107
12.1 各部の名称 107
12.2 電話をかける 108
12.2.1 受話器をあげてからダイヤルする 108
12.2.2 受話器を置いたままダイヤルする 109
12.2.3 ダイヤル入力してから発信する 110
12.2.4 ドアホンを呼び出す 111
12.2.5 構内放送をする 112

12.3 電話を受ける 113
12.3.1 内線相手からの電話を受ける 113
12.3.2 他の内線着信に代理応答する 113
12.3.3 外線相手からの電話を受ける 114
12.3.4 通話中にかかってきた別の電話を受ける 114
12.3.5 ドアホンに応答する 115
12.4 通話を保留する 116
12.4.1 自己保留と保留解除（オフフック操作） 116
12.4.2 自己保留と保留解除（オンフック操作） 117
12.4.3 自己保留している通話を内線転送する 118
12.4.4 パーク保留 120
12.5 便利な使い方 121
12.5.1 電話帳を新規登録する 121
12.5.2 電話帳を編集する 124
12.5.3 電話帳を削除する 126
12.5.4 発着信履歴から電話帳を登録する 128
12.5.5 電話帳を使って電話をかける 131
12.5.6 短縮ダイヤルを使って電話をかける 132
12.5.7 ワンタッチダイヤルを使って電話をかける 133
12.5.8 発信履歴を使って電話をかける 134
12.5.9 着信履歴を使って電話をかける 134
12.5.10 スピーカ受話で通話を聞く 135
12.5.11 ハンズフリーで通話する 135

13 ご参考 136

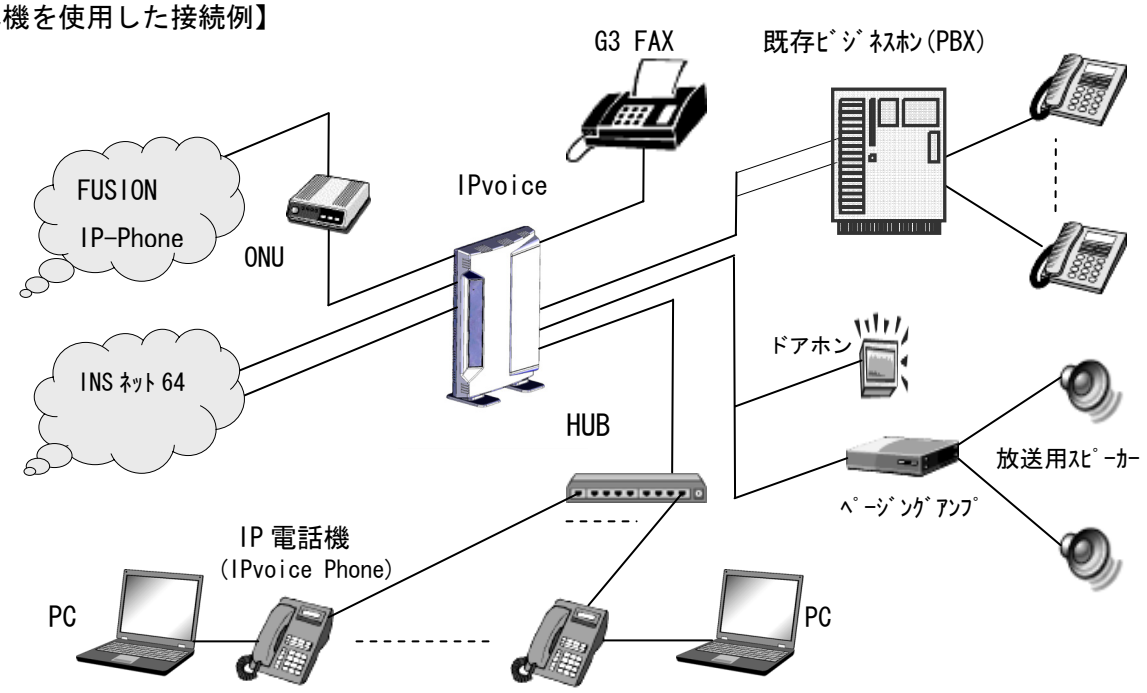
13.1 故障かな？と思ったら 136
13.2 INS ネット 64 の付加サービス対応 137
13.3 FUSION IP-Phone の付加サービス対応 137
13.4 ひかり電話アダプターの付加サービス対応 137
13.5 主な仕様 138

1 概要

IPvoice「IPV3」(以降、本機と称します)は、今まで別々のネットワークシステムであった、インターネット・パソコンや、FAX・電話・構内放送設備・ドアホン等、お客様のオフィス環境で必要とされる機器を、IPネットワークに統合して接続使用できるオールインワンタイプのIP-PBX装置です。IP電話はフュージョン・コミュニケーションズ(株)が提供するIP電話サービス「FUSION IP-Phone」に対応しています。

本機は、IP電話機を内線端末として接続使用する完全なIP-PBXとしての使用形態のほか、既存のISDNビジネスホン(PBX)を接続しVoIPゲートウェイとして使用する事ができます。これによりお客様のオフィス環境を段階的に完全なIPネットワークへ移行して行く事も可能です。

【本機を使用した接続例】



主な特徴として以下の機能を有しています。

- ◆ 最大16台のIP電話機(IPvoice Phone)の収容が可能で、同時に8通話が可能です。※1
- ◆ IP-PBX機能として、パーク保留、代理応答、通話転送等、既存のビジネスホン(PBX)で使用されている電話機能が使用できます。
- ◆ 内線端末として接続されたIP電話機(IPvoice Phone)でドアホンの応答が可能です。
- ◆ 内線端末として接続されたIP電話機(IPvoice Phone)から、電話ページング用アンプを介した呼び出し放送が可能です。
- ◆ 業務時間外アナウンス等の使用を目的に自動音声応答機能を有しています。
- ◆ G3FAXを接続可能なFAXポートを１ポート、又既存のISDNビジネスホン(PBX)を接続可能なPBXポート（ISDN-U点）を２ポート有しており、既存機器をIP電話サービスに収容するVoIPゲートウェイとしても使用できます。
- ◆ IP電話サービス障害時等を考慮し、公衆網（INSネット64：ISDN-U点）を2回線収容可能です。これによりIP電話サービスに障害等があった場合、自動的に公衆網への再発信を行います。
- ◆ 着信転送機能を有しています。INSネット64回線からの着信を、設定によりINSネット64回線またはIP回線（IP電話サービス）へ転送します。転送先の電話番号を登録できます。

※1　同時 8 通話（最大通話数）は、IP 電話機による通話と PBX、FAX 等の既存電話端末による IP 電話回線での通話の総通話数です。インターネット等、パソコンでの通信が同時に行われる場合は、最大通話数に制限が発生する場合があります。

ご使用上の注意

・ フレックスホン(キャッチホン、通信中転送、三者通話、着信転送)、通話中着信通知はサポートしていません。(詳しくは、「13.2 INSネット64の付加サービス対応」をご参照ください。)

・ 本機に電源が入っていない時、接続電話機による通話は出来ません。商用電源停電時等を考慮し、無停電電源装置等(UPS等)での運用をお勧めします。

・ 着信番号の通知条件によっては、PBXポートに接続しているISDN機器の設定変更が必要となることがあります。

・ INSネット64回線契約が現在P-P接続のお客様は、本機をご利用できません。P-MP接続(常時)に契約を変更する必要が有ります。

・ 発着信中、本機設定中や通話中に接続ケーブルが抜けますと、正常に動作しなくなる事が有ります。その時は接続機器と本機の電源を一旦切り、再投入してからご利用ください。

・ 本機は最大で同時8通話のIP電話が可能ですが、お客様ご契約のIP回線速度が遅い場合、通話品質が劣化したり通話ができないことがあります。使用されるIP回線には、Bフレッツ(光回線)等の高速IP回線をご契約ください。

・ 本機にグローバルIPアドレスが利用可能であることが必要です。

・ IP電話で利用できない電話番号はINSネット64回線を使って通話が可能です。(通話料は、お客様が加入している電話会社からの請求となります。)

〔本機接続用IP電話機について〕

●内線端末として使用するＩＰ電話機は、弊社から販売する「IPvoice Phone」をご使用ください。「IPvoice Phone」のご購入・お問い合わせは弊社営業担当までご連絡ください。

〔その他の接続機器について〕

●本機はIPvoice Phoneでのドアホン応答及び電話ページング用アンプを介した放送が可能です。接続可能なドアホン、電話ページング用アンプについては弊社営業担当または弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2 お客様にご準備して頂くこと

本機を設置される前に、あらかじめお客様に以下のご準備をお願いします。

1. Bフレッツサービス等を受けるための回線のご契約（詳細は、フュージョン・コミュニケーションズ(株)提供の資料をご参照ください）と、フュージョンＧＯＬ（以後ISPと呼びます）への申し込みをお済ませください。契約が完了しましたら、本機設定の際に契約書（FUSION GOLアカウントのお知らせ）をご用意ください。
2. IP電話サービスを受けるために、フュージョン・コミュニケーションズIP電話サービスへの申し込みをお済ませください。契約が完了しましたら、本機設定の際に契約書（IP-Phoneサービス開始のご案内）をご用意ください。
3. イーサネットインタフェースを有するONU等とその取扱説明書。
4. ONU等と本機を接続のためのLANケーブル（カテゴリー5)。

5. IP電話機を内線端末として使用する場合は、「IPvoice Phone」をご用意ください。「IPvoice Phone」は弊社にて販売致します。
6. 複数のIP電話機(IPvoice Phone)を内線端末として収容する為の推奨HUB機器※及びHUB機器とIP電話機を接続する為のLANケーブル（カテゴリー5)。
7. その他、既存ISDNビジネスホンとの接続ケーブル、INSネット64回線接続ケーブル（U点及びST点ケーブル)、構内放送設備との接続ケーブル、ドアホンとの接続ケーブル、G3FAXとの接続ケーブル等お客様の使用形態に合わせ、必要なものをご用意ください。(本機側への接続はLANケーブルを除き全て添付のクイックコネクターでの接続となっています。)
8. OSがWindos2000/XPのいずれかで、10/100BASE-T/TXイーサネットカードを搭載したパソコン。
   イーサネットカードが無い場合は、イーサネットカードをご用意の上、付属の説明書に従ってカードの取り付けとドライバーのインストールを行ってください。
9. Web設定を行うためのWebブラウザ Internet Explorer（Ver 6.0 以降)。
10. 本機とパソコンを接続するためのLANケーブル。(カテゴリー5：本機の初期設定時用にLANケーブル１本を添付しています。)
11. 安定動作と安全（雷等）の為のアース線。

ご注意

●LANケーブル以外の接続（本機INS1/2、ST1、ST2、PBX1/2、PA、DP、TELコネクターへの配線）
本機WAN及びLAN以外の接続ケーブルは、全てクイックコネクター（圧接コネクター）となっています。適合ソケットは、第一電子工業社（DDK）製232Dシリーズソケット相当です。
本機には以下のソケットが添付されていますので、該当のコネクターにご使用ください。
・2極×1連ソケット：232D-02S1B-DA5 （青色のソケット：INS1/2、PBX1/2、DP、TEL用の6個）
・2極×2連ソケット：232D-02S1A2-DA5（黒色のソケット：ST1、ST2、PA用の3個）

※ 弊社推奨の HUB 機器を以下に記します。

PoE対応 24ポートHUB「SWP-0224FP」	プラネックスコミュニケーションズ株式会社
PoE対応 12ポートHUB「Switch-M12PWR」	松下ネットワークオペレーションズ株式会社
PoE対応 9ポートHUB「ApresiaLight209-PoE」	日立電線株式会社
PoE対応 8ポートHUB「BS-POE-2008MR」	株式会社バッファロー

ご注意

●上記の推奨HUB機器はPoE（Power over Ethernet）機能を有しており、LANケーブルを介して接続されたIP電話機（IPvoice Phone）に電源を供給します。
●弊社から販売するIP電話機(IPvoice Phone)には、電話機用ACアダプターが標準添付されておりますので、PoE機能を持たないHUB機器でもご使用になれます。
●HUB機器は100BASE-TX対応の機器をご使用ください。10BASE-Tのみの対応機器をご使用されると通話品質が劣化する場合があります。

3 製品の構成（梱包内容）

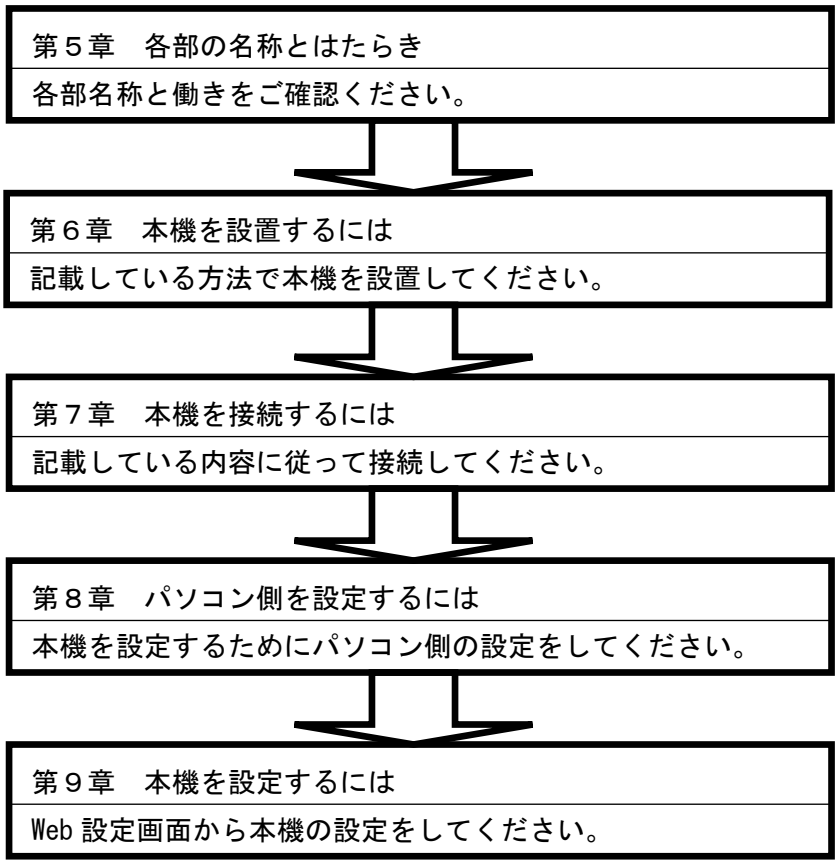
ご購入いただいた製品には下表のものが含まれています。ご利用になる前に梱包内容をご確認ください。
万一不足の物がありましたら、お買いあげの販売店までお申し付けください。

項番	構　成　品　名	数　量
1	IPvoice「IPV3」本体	１台
	（付属品）	
2	クイックコネクター （2極×1連：6個、2極×2連：3個）	1set
3	壁掛け設置用ネジ	２本
4	スタンドアダプター	２個
5	LANケーブル（初期設定用：１メートル）	１本
6	ユーザー登録カード	１枚
7	取扱説明書（兼保証書）	1冊（本書）

注意：接続に必要なケーブルは別途ご用意ください。

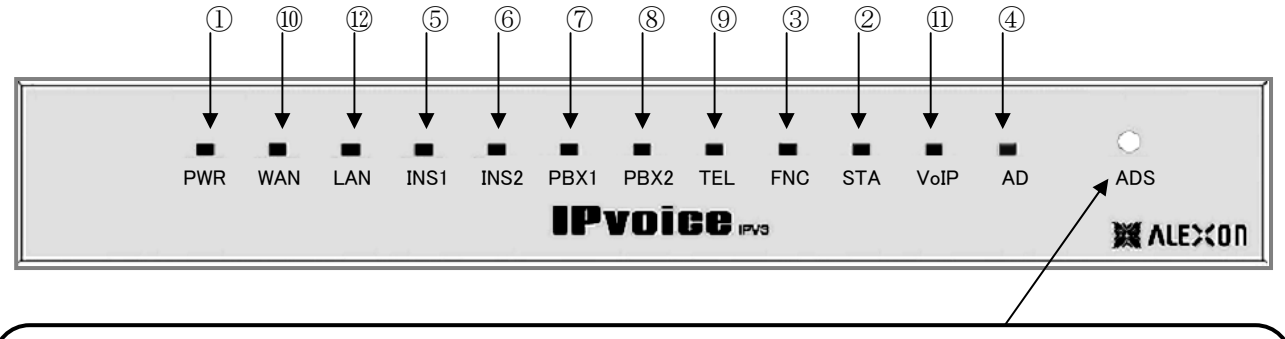
4 ご利用までの流れ

本機をご利用するには下記順番で各章をご確認ください。



5 各部の名称とはたらき

5.1 前面表示パネル部



●ＡＤＳ（オートダウンロードスイッチ）
AD ランプが点滅 2（0.5 秒間点灯・0.5 秒間消灯）の時、ファームウェア（本機を制御するプログラム）の更新が必要ですので、ADS スイッチを押してください。本機がファームウェアの更新を自動的に行います。（詳しくは「11.1 オートダウンロード機能」を参照してください。）

□ が正常時のランプの状態です。
ランプの色指定が無い場合は、青色となります。

表示ランプ名称	表示状態	表示内容
本機の状態		
① ＰＷＲ	消灯	本機が電源OFFの状態です。
	□点灯	本機が電源ONの状態です。
② ＳＴＡ	消灯	本機が異常状態です。
	□点灯	本機は正常動作中です。
	点滅1	ファームウェア異常です。（0.25秒間点灯・0.25秒間消灯）
③ ＦＮＣ	消灯	着信転送、自動応答の機能が設定されていない状態です。
	点滅２	着信転送、自動応答の設定がされている状態です。（0.5秒間点灯・0.5秒間消灯）
④ ＡＤ(赤色LED)	□消灯	最新ファームウェアです。
	点滅1	ファームウェア更新サーバーとの接続エラーです。 しばらくお待ちの上、再度ADスイッチを押してください。 （0.25秒間点灯・0.25秒間消灯）
	点滅2	ファームウェアの更新が必要です。 ADスイッチを押してください。 （0.5秒間点灯・0.5秒間消灯）
	点灯	ファームウェアを自動更新中です。 ADランプ点灯中は、本機の電源を切らないでください。

ご注意

●本機の設定時や通常動作時などに本機の電源を再投入した場合、STA ランプが点灯している事をご確認の上ご使用ください。
●ファームウェア自動更新中（AD ランプ点灯）は絶対電源を切らないでください。故障の原因となります。

[ ] が正常時のランプの状態です。

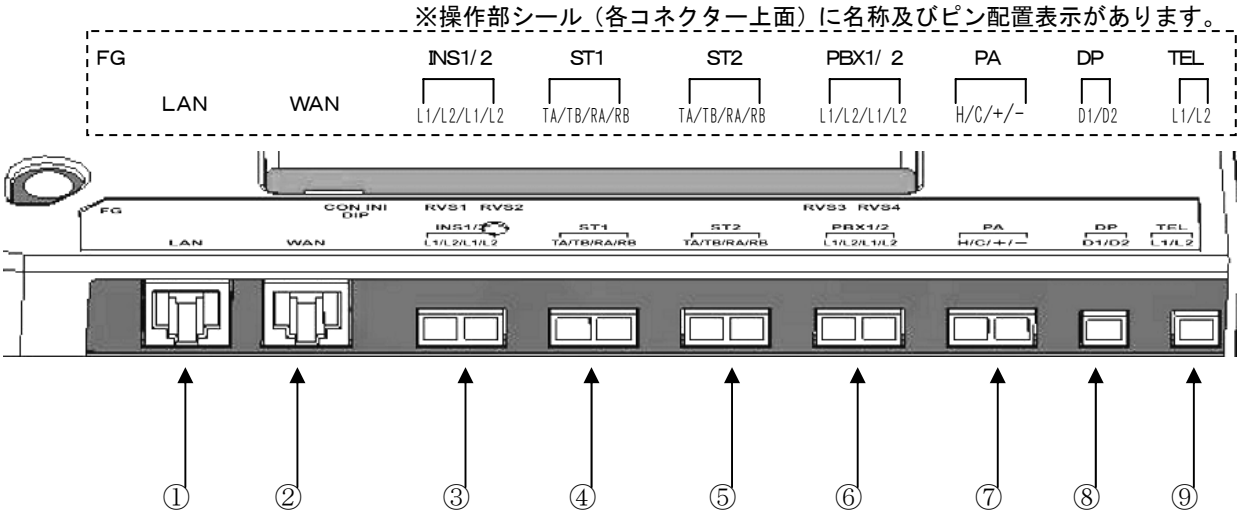
ランプの色指定が無い場合は、青色となります。

表示ランプ名称	表示状態	表示内容
INS回線との接続状態		
⑤ ＩＮＳ１	消灯	INS1が「回線収容しない」設定にされている状態です。
	点灯	INS1が同期確立状態で使用可能な状態です。
	点滅２	INS1が同期外れ状態で使用不可の状態です。
⑥ ＩＮＳ２	消灯	INS2が「回線収容しない」設定にされている状態です。
	点灯	INS2が同期確立状態で使用可能な状態です。
	点滅２	INS2が同期外れ状態で使用不可の状態です。
既存ビジネスホン(PBX)との接続状態表示		
⑦ ＰＢＸ１	消灯	PBX1が「収容しない」設定にされている状態です。
	点灯	PBX1が同期確立状態で使用可能な状態です。
	点滅２	PBX1が同期外れ状態で使用不可の状態です。
⑧ ＰＢＸ２	消灯	PBX2が「収容しない」設定にされている状態です。
	点灯	PBX2が同期確立状態で使用可能な状態です。
	点滅２	PBX2が同期外れ状態で使用不可の状態です。
既存アナログ端末(G3FAX)との接続状態表示		
⑨ ＴＥＬ	消灯	接続された端末が使用されていない状態です。
	点滅１	接続された端末が着信中(鳴動中)の状態です。 (0.25秒間点灯・0.25秒間消灯)
	点滅２	接続された端末が受話器を上げている状態です。 (0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
ＷＡＮ側（IP回線）との接続状態表示		
⑩ ＷＡＮ	消灯	ONU等との接続ができておらず使用不可の状態です。
	[点灯]	ONU等との接続ができており使用可能な状態です。
⑪ ＶｏＩＰ	消灯	SIPプロキシーへの登録が全く無い状態です。 IP加入電話番号の各設定が工場出荷値の状態です。
	点滅２	SIPプロキシーへの登録のいずれかが失敗の状態です。 IP加入電話番号の各設定間違い､又はSIPプロキシーが障害中です。 (0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
	[点灯]	SIPプロキシーへの登録が全て完了している状態です。 登録した全てのIP加入電話番号が利用可能です。
ＬＡＮ側（HUB機器）との接続状態表示		
⑫ ＬＡＮ	消灯	HUBとの接続ができておらず使用不可の状態です。
	[点灯]	HUBとの接続ができており使用可能な状態です。

ご注意

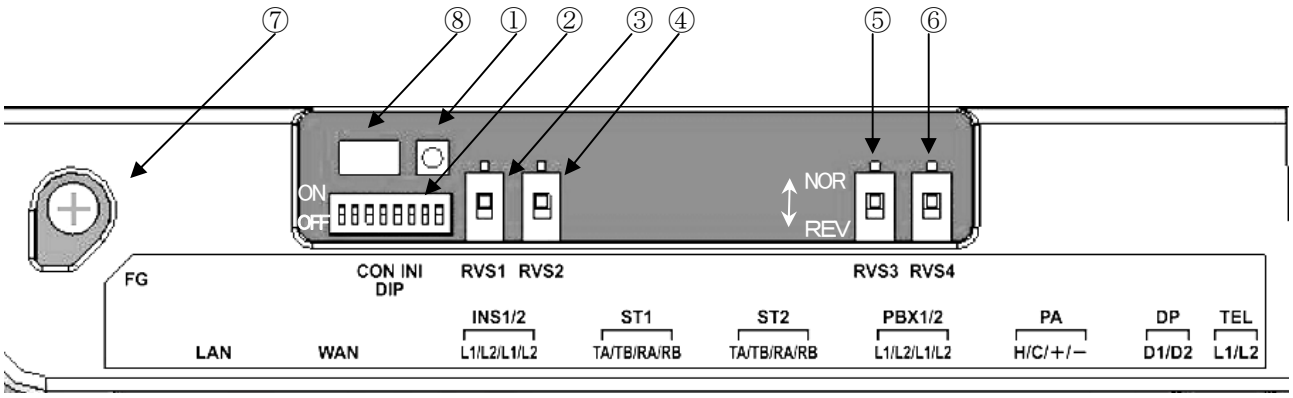
●電源スイッチ投入時、及び停電回復時等に再接続まで数十分必要な場合があります。その時は自動的に再接続（VoIP ランプ点灯）するまでしばらくお待ちください。

5.2 背面コネクタ接続部



名　称	機　能　説　明
①　ＬＡＮ	LAN ケーブルにて HUB 機器と接続します。
②　ＷＡＮ	LAN ケーブルにて ONU 等(IP 回線側)と接続します。
③　ＩＮＳ１/２	INS 回線（2 回線分）と接続します。 ・操作部 DIP スイッチのビット 7(INS1 側)、ビット 8(INS2 側)が“OFF”に設定時(内蔵 DSU 接続時)機能します。“ON”に設定時は内蔵 DSU 切り離し状態となり機能せず、ST1、ST2(S/T 点)が INS 回線の接続口となります。
④　ＳＴ１	INS1 側に接続された INS 回線の ST バスです。 ・操作部 DIP スイッチのビット 7 が“ON”に設定時は、INS 回線の接続口となります。
⑤　ＳＴ２	INS2 側に接続された INS 回線の ST バスです。 ・操作部 DIP スイッチのビット 8 が“ON”に設定時は、INS 回線の接続口となります。 注意: DIP スイッチのビット 8 を“OFF”で、本接続コネクターをバスとして使用される場合、ST2 バスはファントム給電をサポートしておりません。(ST1 バスはサポート）給電で動作したり､給電により回線接続を判断する ISDN 機器を接続する事はできません。
⑥　ＰＢＸ１/２	既存ビジネスホン(ISDN-PBX)等の U 点に接続します。 注意: 接続する ISDN 機器が S/T 点接続の場合は、別途 DSU をご用意ください。
⑦　ＰＡ	電話ページング用アンプを接続します。
⑧　ＤＰ	ドアホンを接続します。
⑨　ＴＥＬ	アナログ端末機器（Ｇ３ＦＡＸ）を接続します。

5.3 カバー内操作部



① INI スイッチ（初期化スイッチ）

INI スイッチを本機前面表示ランプが全点灯するまで押し続けると、本機の全設定を初期化します。前面表示ランプ全点灯後スイッチを放し、本機が再起動するまでお待ちください。（前面表示ランプ「STA」点灯で再起動完了状態となります。）

この操作を行うと、設定していた内容が全て工場出荷値に戻りますので十分にご注意ください。

② DIP スイッチ

注：ビット１～６は“ON”にしないでください。

ビット番号	機能名称	ＯＮ	ＯＦＦ
1	メーカ調整用	―	OFF 固定で使用
2	メーカ調整用	―	OFF 固定で使用
3	メーカ調整用	―	OFF 固定で使用
4	メーカ調整用	―	OFF 固定で使用
5	メーカ調整用	―	OFF 固定で使用
6	メーカ調整用	―	OFF 固定で使用
7	DSU-1　ON/OFF	INS1 側内蔵 DSU 切り離し	INS1 側内蔵 DSU 使用
8	DSU-2　ON/OFF	INS2 側内蔵 DSU 切り離し	INS2 側内蔵 DSU 使用

※工場出荷時は全て“OFF”の状態です。

③～⑥ RVS1～4 スイッチ

スイッチ名称	ＮＯＲ	ＲＥＶ
ＲＶＳ１	INS1 収容回線の極性をﾉｰﾏﾙに設定	INS1 収容回線の極性をﾘﾊﾞｰｽに設定
ＲＶＳ２	INS2 収容回線の極性をﾉｰﾏﾙに設定	INS2 収容回線の極性をﾘﾊﾞｰｽに設定
ＲＶＳ３	PBX1 収容ﾗｲﾝの極性をﾉｰﾏﾙに設定	PBX1 収容ﾗｲﾝの極性をﾘﾊﾞｰｽに設定
ＲＶＳ４	PBX2 収容ﾗｲﾝの極性をﾉｰﾏﾙに設定	PBX2 収容ﾗｲﾝの極性をﾘﾊﾞｰｽに設定

※工場出荷時、全て“NOR”の状態です。

⑦ FG(アース)端子

安定動作と安全の為にアース線を使って接地してください。アース線は付属していませんのでご用意の上、接続してください。

⑧ CON コネクター

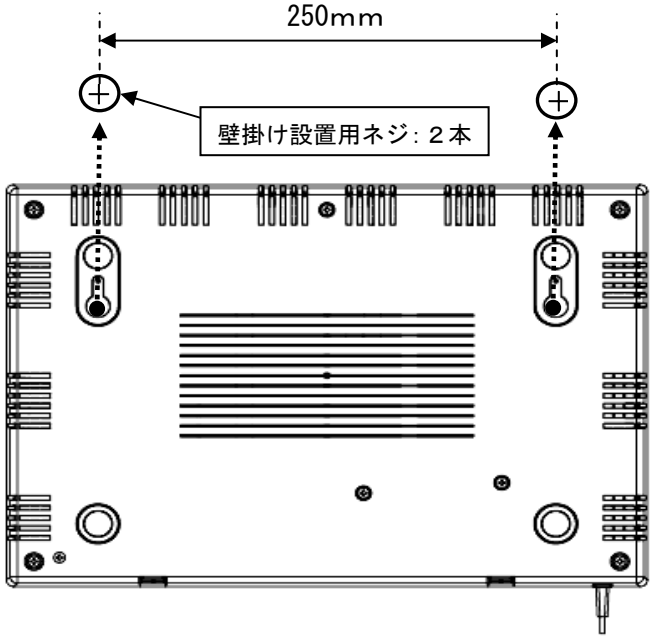
メーカ調整用コネクターです。何も接続しないでください。

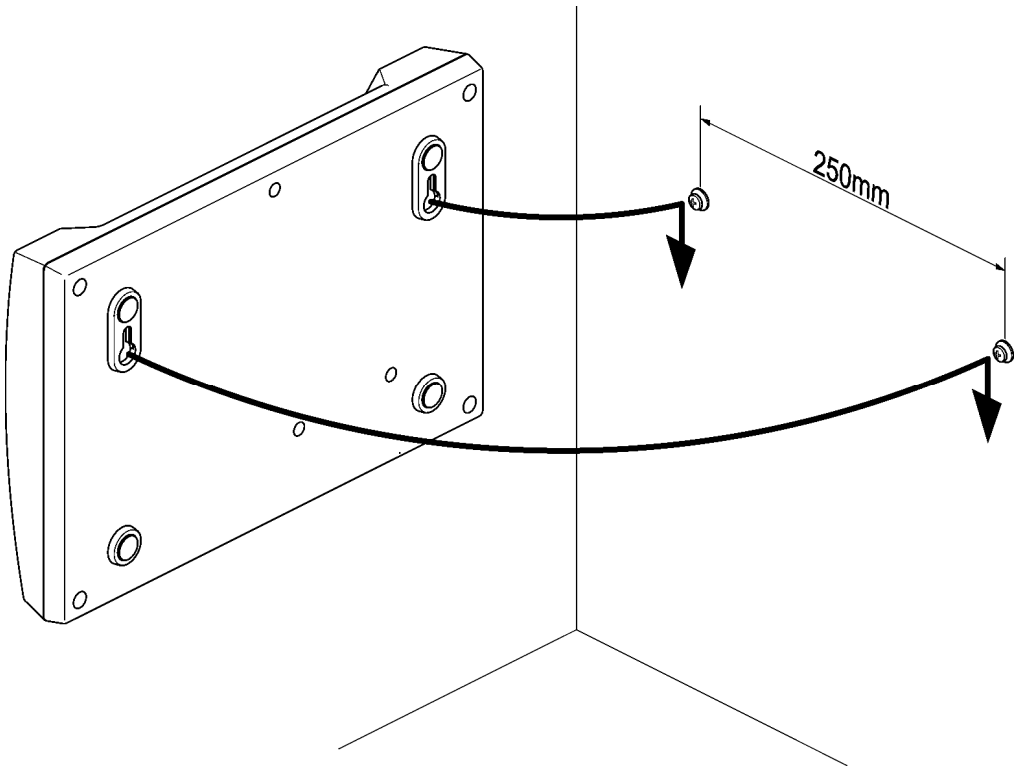
6 本機を設置するには

本機は、お客様のご使用環境に合わせ「壁掛け設置」、「縦置き設置」、「横置き設置」が可能です。

1. 壁掛け設置

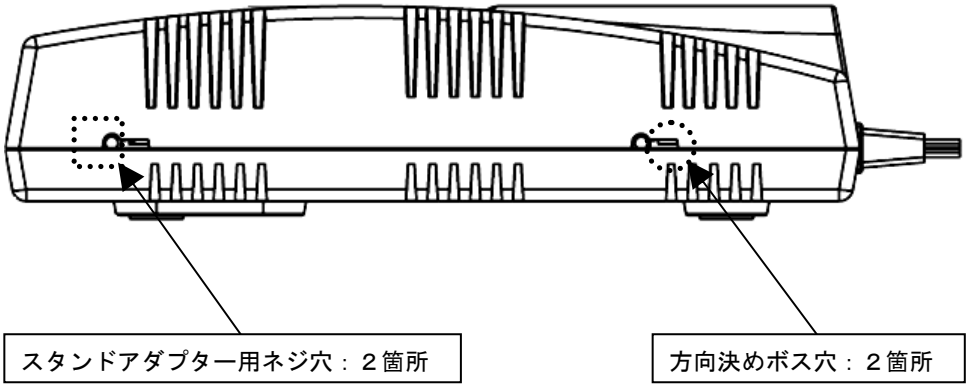
付属の「壁掛け設置用ネジ（２本）」を下記の寸法で、設置される壁面に取り付けてください。
本機底面にある壁掛け設置用穴に２本のネジ先端を挿入した状態で、本機を壁面に合わせ下方向に引くと、ストッパーがかかり固定されます。

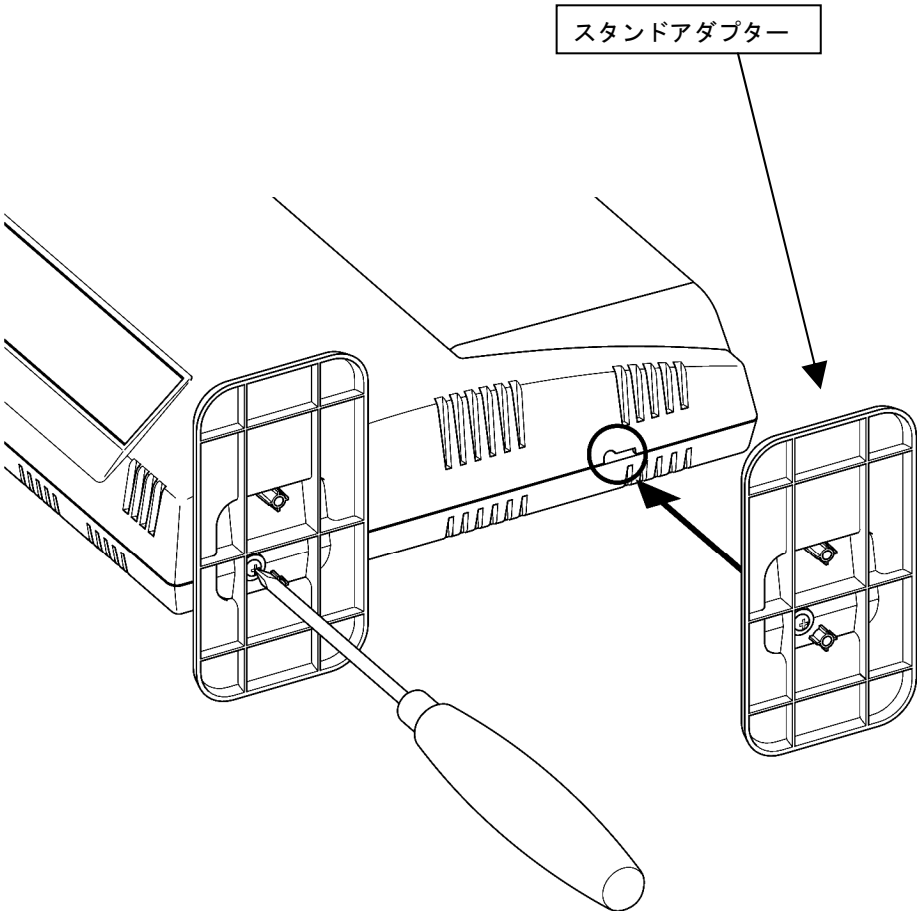




2. 縦置き設置

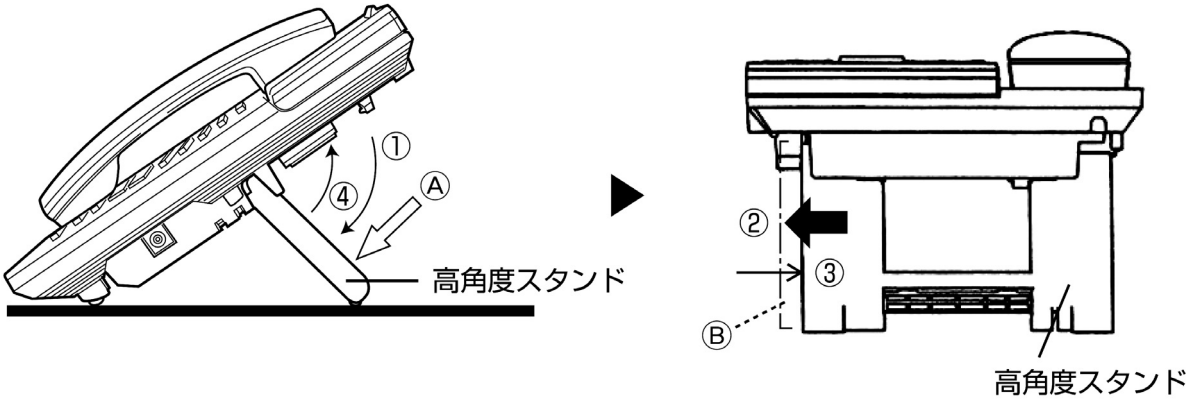
付属の「スタンドアダプター（２個)」を、本機側面（AC ケーブル引き出し側）にあるネジ穴に固定します。固定用ネジはスタンドアダプターに組み込まれていますので、取り付け方向を決めるボス穴を勘合させて、ネジ止めしてください。





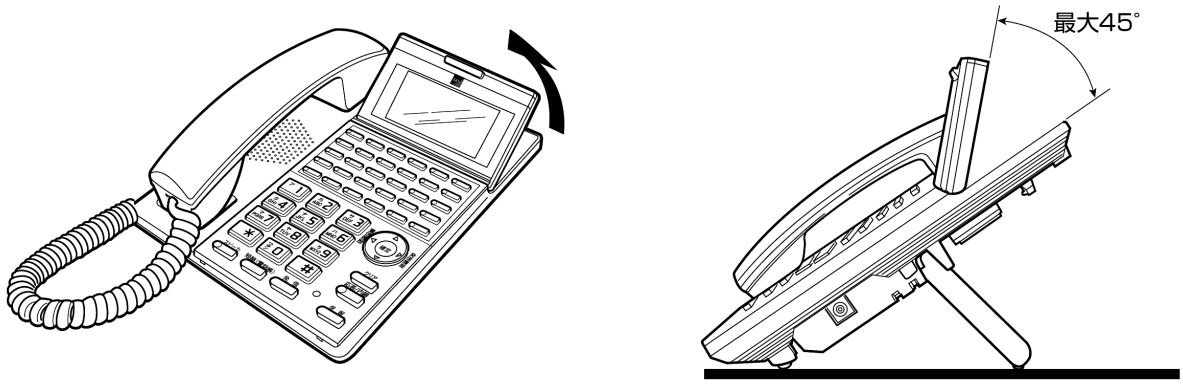
3. IP 電話機の設置

・IP 電話機の設置角度を変える事ができます。裏面の高角度スタンドを使い、下図のように設置角度を変えます。



1) 高角度スタンドが Ⓐ の位置でストップするまで①方向に引き下げます。
2) 高角度スタンドを Ⓑ の位置まで②方向に移動させます。
3) 高角度スタンドを戻す時は、最初に高角度スタンドを③方向に移動させ
次に④方向に戻します。

・IP 電話機の表示部（ＬＣＤ部）の角度を変える事ができます。下図のように表示部を持ち上げるだけで、見やすい角度に調節する事ができます。



7 本機を接続するには

7.1 接続に関する注意点

1. ONUとの接続は、LANケーブル（カテゴリー5）をご使用ください。
2. ONUとの接続は、ONUの取扱説明書をご確認ください。
3. 本機初期設定時にパソコンと接続する場合は、添付のLANケーブルをご使用ください。
4. IP電話機(IPvoice Phone)の底面には二つのコネクターがあります。「NW」の表示側にHUB機器を「PC」の表示側にパソコンを接続してください。
5. PBX1,2に接続する既存ビジネスホン（PBX）がS/T点接続の場合は、別途DSUをご用意ください。
6. 本機には、初期設定時にパソコンと接続するLANケーブル以外は付属していませんので、お客様のご使用形態に合わせ、必要なケーブルを別途ご用意ください。
7. 各機器との接続に際しては、接続する機器の取扱説明書を用意しご確認ください。

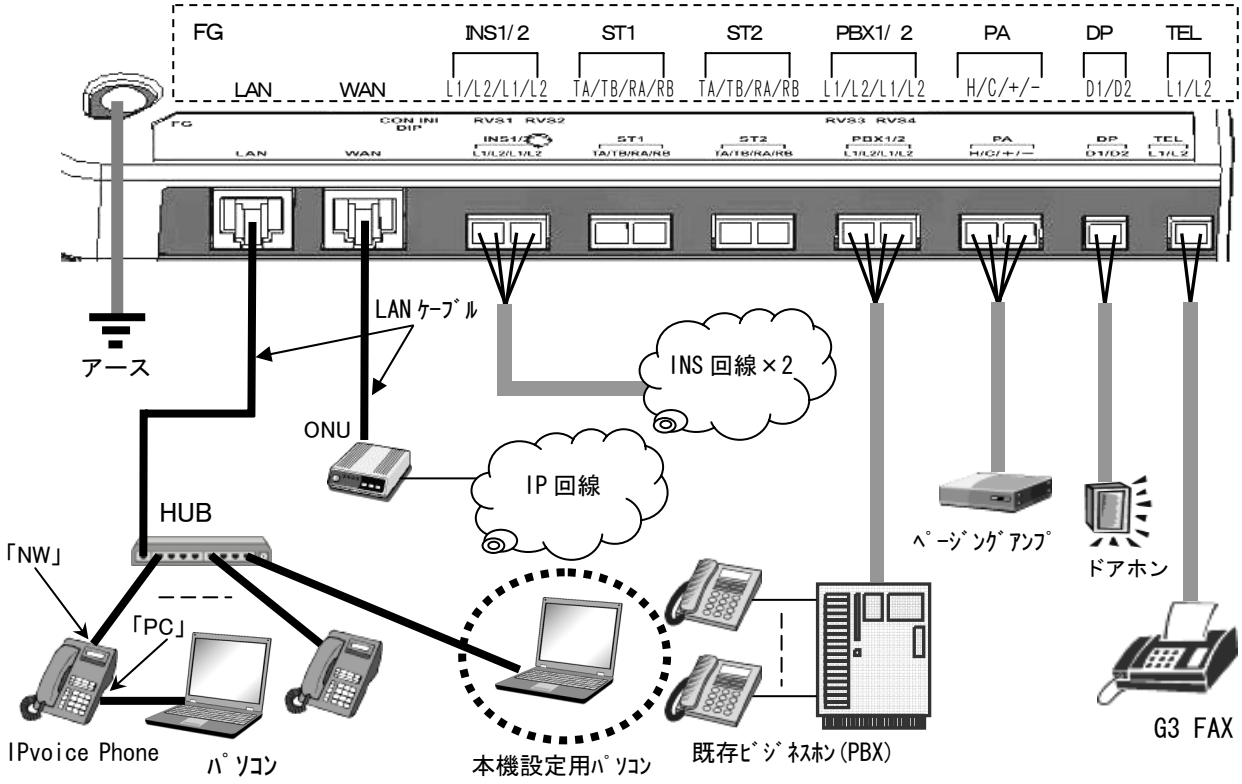
ご注意

●本機内蔵の DSU を使用するときには DIP スイッチのビット 7(INS1 側)、ビット 8(INS2 側)を OFF(内蔵 DSU 接続状態)に設定し、INS 回線(U 点)を INS1/2 コネクターに接続してください。

●外部 DSU を使用する場合は、DIP スイッチのビット 7(INS1 側)、ビット 8(INS2 側)を必ず ON(内蔵 DSU 切り離し状態)に設定し、INS 回線(S/T 点)を ST1、2 コネクターに接続してください。DIP スイッチを OFF のまま使用しますと故障の原因となります。

7.2 各機器との接続

下図の様に各機器を接続してください。各機器の接続は、本機及び各接続機器の電源を OFF にした状態で行ってください。※本機側コネクターは LAN 及び WAN 以外、すべてクイックコネクター（「2 お客様にご準備して頂く事」に記載のコネクター）での接続となります。



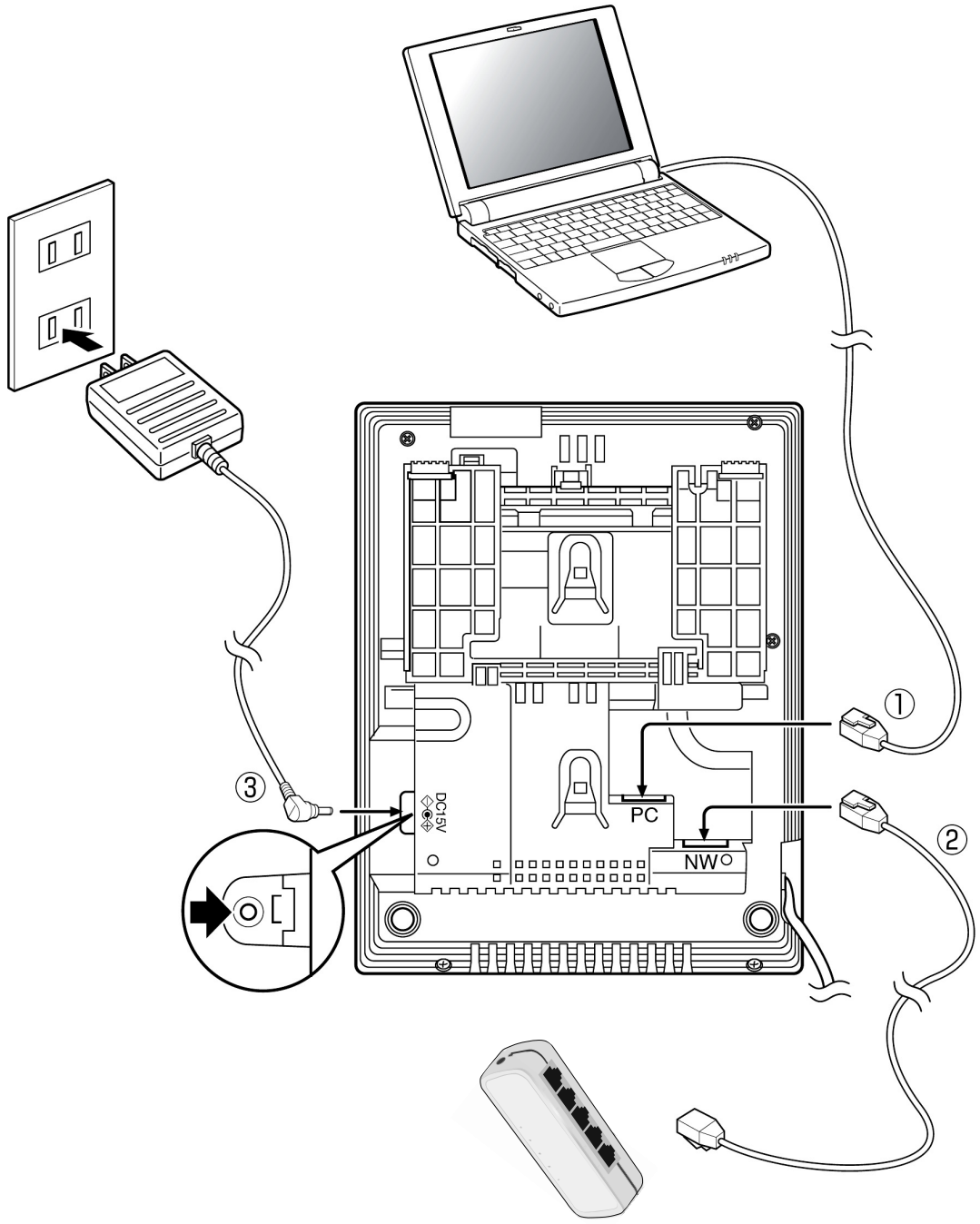
ご注意

●８章の「本機を設定するパソコン」は、HUBに直接接続してください。

ワンポイント

●IPvoice Phone は「9.3 IP 電話機運用構成の設定」に記載した自動設定で初期の設定を行います。自動設定では本機側で用意（内蔵）している内線番号を、接続された IPvoice Phone 順に割り当てますので、一旦お手元で IPvoice Phone の自動設定を行い、設定後に（内線番号確定後に）配置される事をお勧めします。
最初に IPvoice Phone を配置された上で自動設定を行う場合は、設定後（内線番号確定後）に割り当てられた内線番号を確認頂き、配置換えを行ってください。
※一度設定された内線番号は、IPvoice Phone の初期化を行わない限り変わりませんので内線番号を変更せずに、自由な配置換えが可能です。

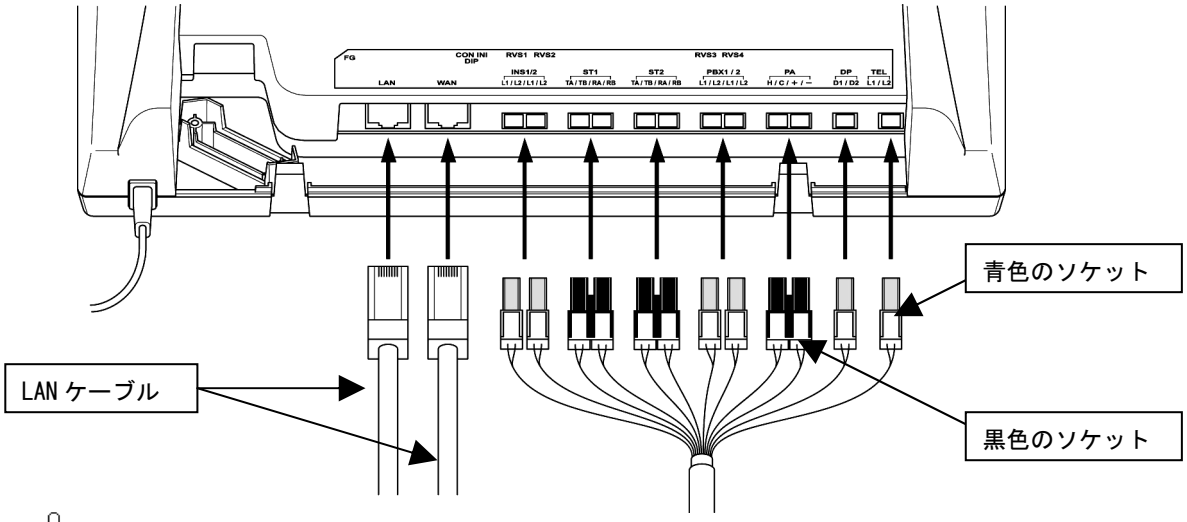
（IP 電話機側の接続）



①IP 電話機裏面の PC ポートにパソコンを接続します。
②IP 電話機裏面の NW ポートに HUB を接続します。
③添付の AC アダプターを DC ジャックに接続します。
※PoE 対応(P11 参照)の HUB をご使用の場合は
AC アダプターは必要ありません。

7.3 接続ケーブルの処理

LAN ケーブル以外の接続には、本機添付のソケットをご使用ください。黒と青の２種類のソケットがありますので、該当するコネクターに接続してください。



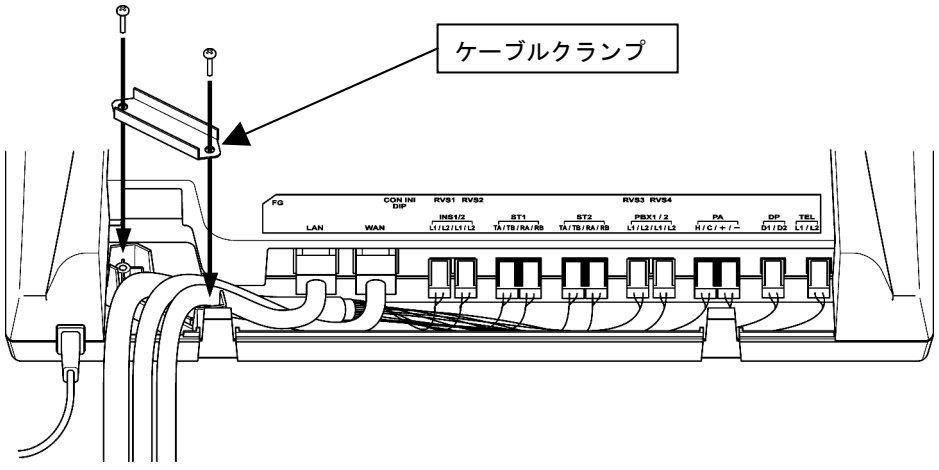
ご注意

●LAN 及び WAN 以外の接続（クイックコネクター）には以下の添付ソケットをご使用ください。

- INS1/2：青色のソケット×２個（2極1連ソケット×２個）
- PBX1/2：青色のソケット×２個（2極1連ソケット×２個）
- DP　　：青色のソケット×１個（2極1連ソケット×１個）
- TEL　　：青色のソケット×１個（2極1連ソケット×１個）
- ST1　　：黒色のソケット×１個（2極2連ソケット×１個）
- ST2　　：黒色のソケット×１個（2極2連ソケット×１個）
- PA　　：黒色のソケット×１個（2極2連ソケット×１個）

LAN 及び WAN 以外のケーブルは、ツイストペアー芯線のキャプタイヤケーブル等をご使用ください。装置内部にケーブル固定用のクランプがありますので、装置内部に引き込み、被覆ごとクランプで押さえ、ケーブルが抜けない程度に軽くネジ止めしてください。

※すべてのコネクターを使用される場合は、24 心のキャプタイヤケーブルが必要となります。

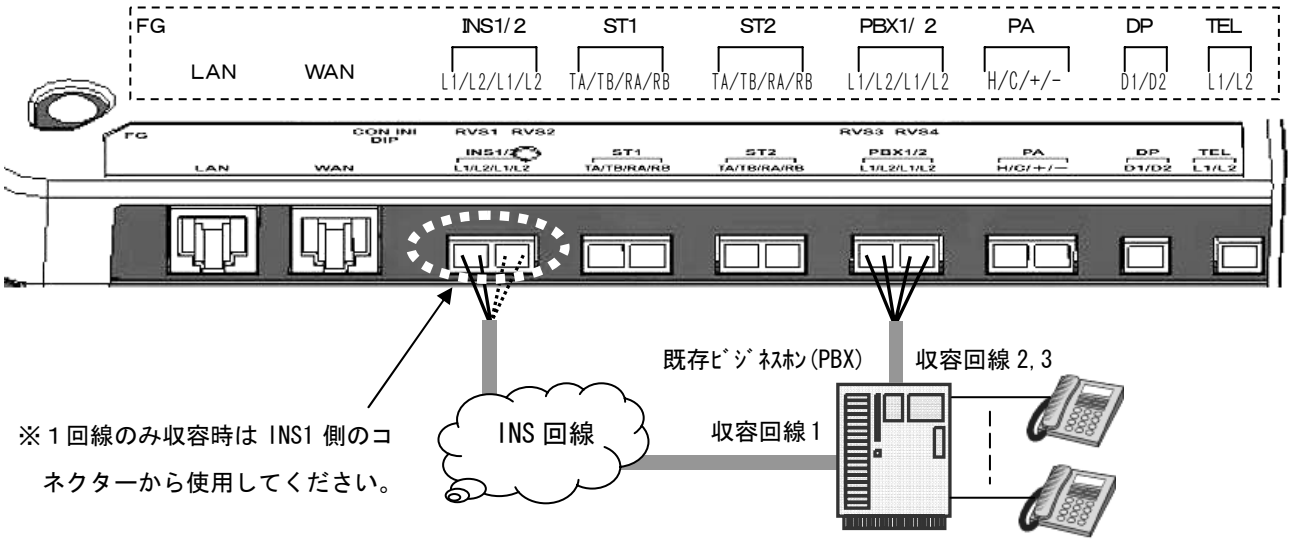


7.4 複数回線収容型の既存ビジネスホン（PBX）との接続

7.4.1　一般的な接続例

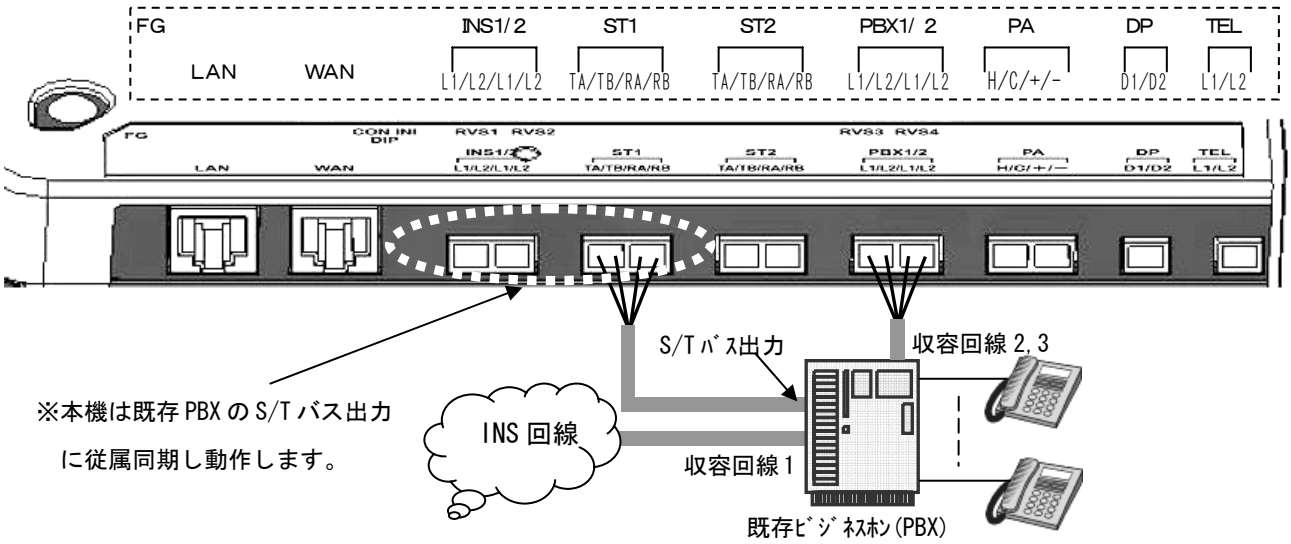
本機の既存ビジネスホン（PBX）との接続インタフェース（PBX1/2 コネクター）は、本機 INS1/2 コネクターに収容された INS 回線に従属同期する様に設計されています。

本機に INS 回線を直接接続でご使用になる場合、「5.3 カバー内操作部」で記載した DIP スイッチのビット 7(INS1 側)、ビット 8(INS2 側)を OFF に設定した上で、下図の様に INS1/2 コネクターに接続してください。同期動作は INS1、INS2 のどちらか同期確立された収容回線側に従属しますが INS1 側が優先となりますので、1 回線のみの収容で、収容回線を増設する可能性等がある場合は、INS1 側のコネクターから使用してください。



7.4.2　既存ビジネスホン（PBX）経由での接続例

既存ビジネスホン（PBX）に INS 回線を直接接続のご使用で、本機 INS1/2 コネクターに接続する INS 回線が存在しない場合、「5.3 カバー内操作部」で記載した DIP スイッチのビット７(INS1 側)又は、ビット８(INS2 側)を ON に設定した上で、下図の様に既存ビジネスホン(PBX)の S/T バス出力を ST1 又は ST2 コネクターに接続してください。これにより本機と既存ビジネスホン（PBX）との接続インタフェース（PBX1/2 コネクター）は INS 回線に従属同期します。



7.5 接続後の電源投入手順と確認

7.5.1　ONU 等と本機

1. ONU 等の電源が投入されている事を確認します。
2. 本機の電源を投入し、PWR ランプ点灯を確認します。
3. 本機 STA ランプ点灯を確認します。
4. 本機 WAN ランプ点灯を確認します。(ONU と接続中表示)

   WAN ランプ消灯の場合は、

   ・ LAN ケーブルが正しく接続されていますか？

7.5.2　本機と HUB 機器及び IP 電話機・本機設定用パソコン

1. HUB 機器と IP 電話機の電源を投入します。パソコンの電源投入を確認します。
2. 本機 LAN ランプ点灯を確認します。(HUB 機器とリンク中表示)

   LAN ランプ消灯の場合は、

   ・ HUB 機器と本機間の LAN ケーブルが正しく接続されていますか？
3. HUB 機器の IP 電話機接続側 LINK ランプ点灯を確認します。

   LINK ランプ消灯の場合は、

   ・ HUB 機器と IP 電話機間の LAN ケーブルが正しく接続されていますか？
4. IP 電話機と本機の接続確認は、「9.3.2 事前準備」の項に記載している、IP 電話機の液晶画面表示でご確認くだい。
5. パソコンのローカルエリア接続状態が“接続”となっている事を確認します。

   （パソコン画面で、コントロールパネル→ネットワーク接続にてご確認ください。）

   パソコンのローカルエリア接続状態が“接続されていません”表示の場合

   ・ IP 電話機とパソコン間の LAN ケーブルが正しく接続されていますか？

   ・ パソコンのネットワーク設定を正しくされていますか？（詳しくは次章の「8 パソコン側を設定するには」をご参照ください。）

7.5.3　既存ビジネスホン（PBX）と本機

1. 既存ビジネスホン（PBX）の電源投入を確認。
2. 本機 PBX ランプ点灯を確認。(PBX との同期確立表示)

   PBX ランプ点滅の場合は、

   ・ 回線ケーブルが正しく接続されていますか？

   ・ PBX との接続極性が反転していませんか？その時は、RVS3(PBX1 側)、RVS4(PBX2 側)スイッチを変更してください。

7.5.4　INS 回線と本機

1. 本機 INS ランプ点灯を確認。(INS ネット 64 回線と同期確立表示)

   INS ランプ点滅の場合は、

   ・ 回線ケーブルが正しく接続されていますか？

   ・ INS 回線との接続極性が反転していませんか？その時は、RVS1(INS1 側)RVS2(INS2 側)スイッチを変更してください。

   ・ DSU-ON/OFF スイッチ(DIP スイッチ)は正しく設定されていますか？

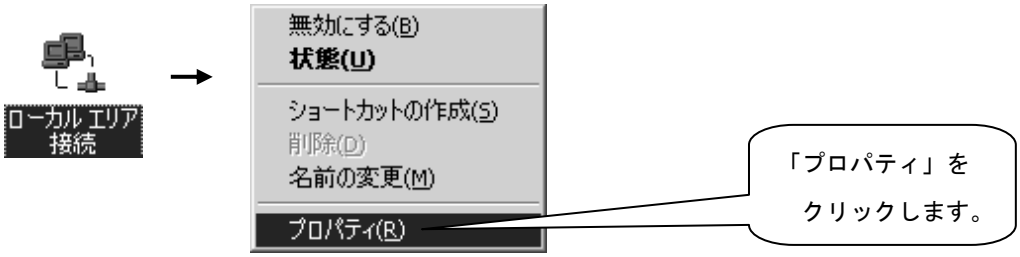
8 パソコン側を設定するには

本機とパソコンを接続するには、パソコン側にTCP/IPの設定が必要です。
利用のOSによりTCP/IPの設定方法が異なりますので、以下をご参照ください。

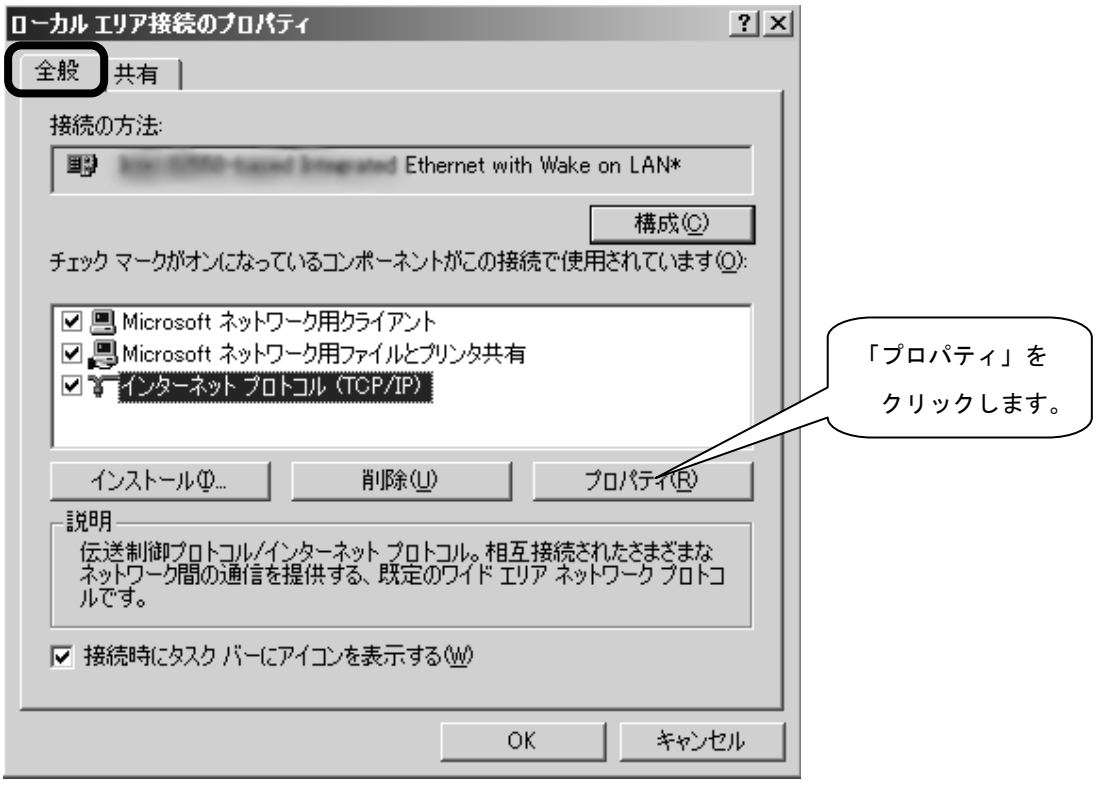
8.1 Windows2000の場合

1．「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。

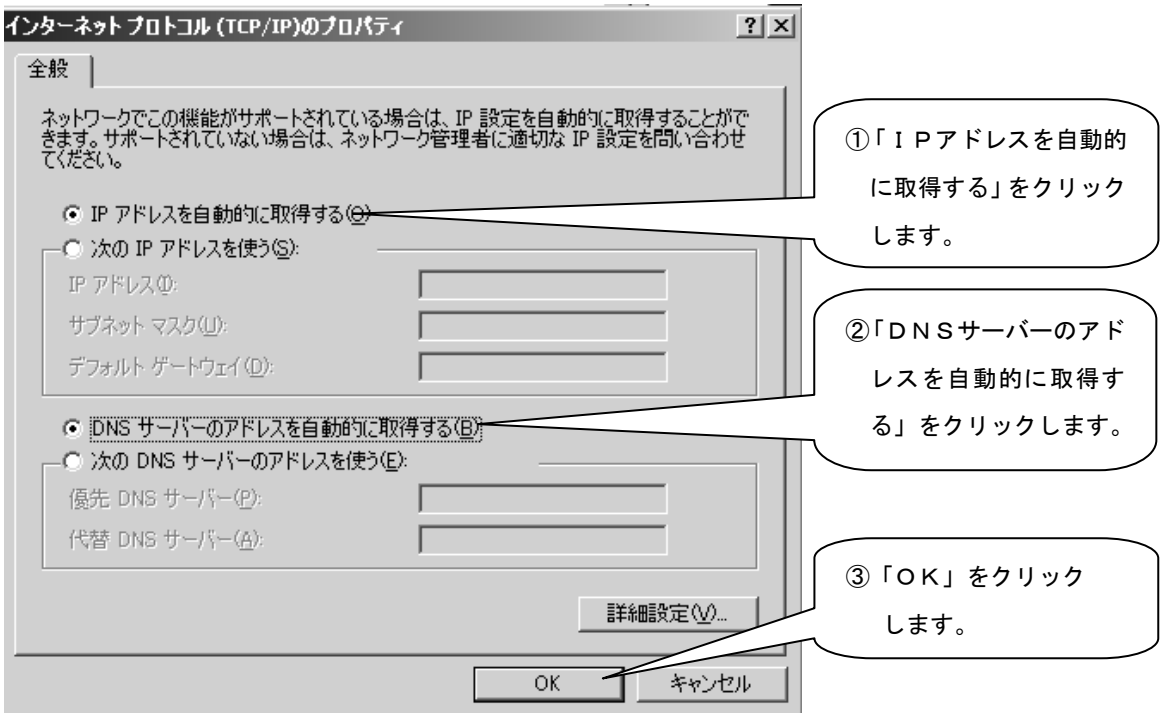
2．「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選びます。「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。



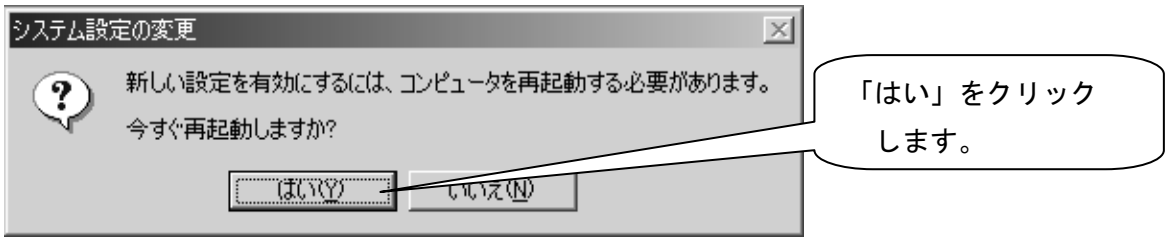
3．「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログで「全般」タブをクリックします。「コンポーネントリスト」から「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。　「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログが表示されます。



４．「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログで「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックします。次に、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



５．「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイヤログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。設定を変更した場合は、次のようなメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



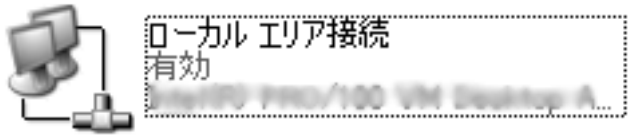
６．「8.3 インターネットオプションの設定」の設定を行ってください。

8.2 WindowsXPの場合（カテゴリ表示の場合）

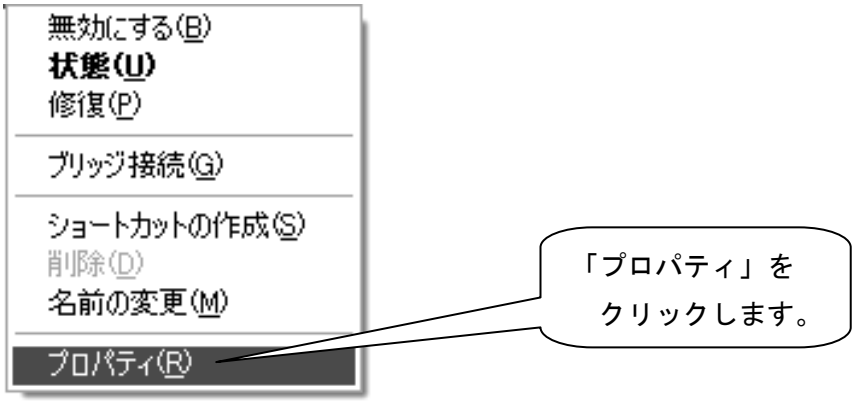
1．スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2．「コントロールパネル」ウィンドウで「ネットワーク接続」をダブルクリックします。

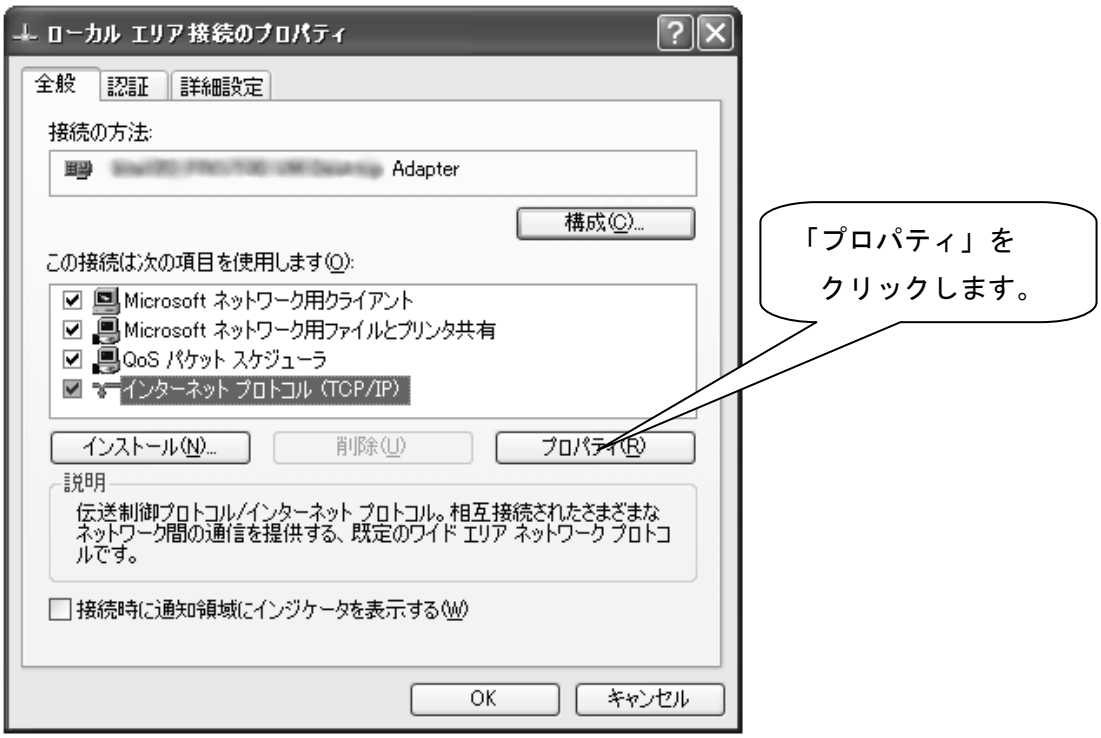
3．「ローカルエリア接続」を右クリックします。



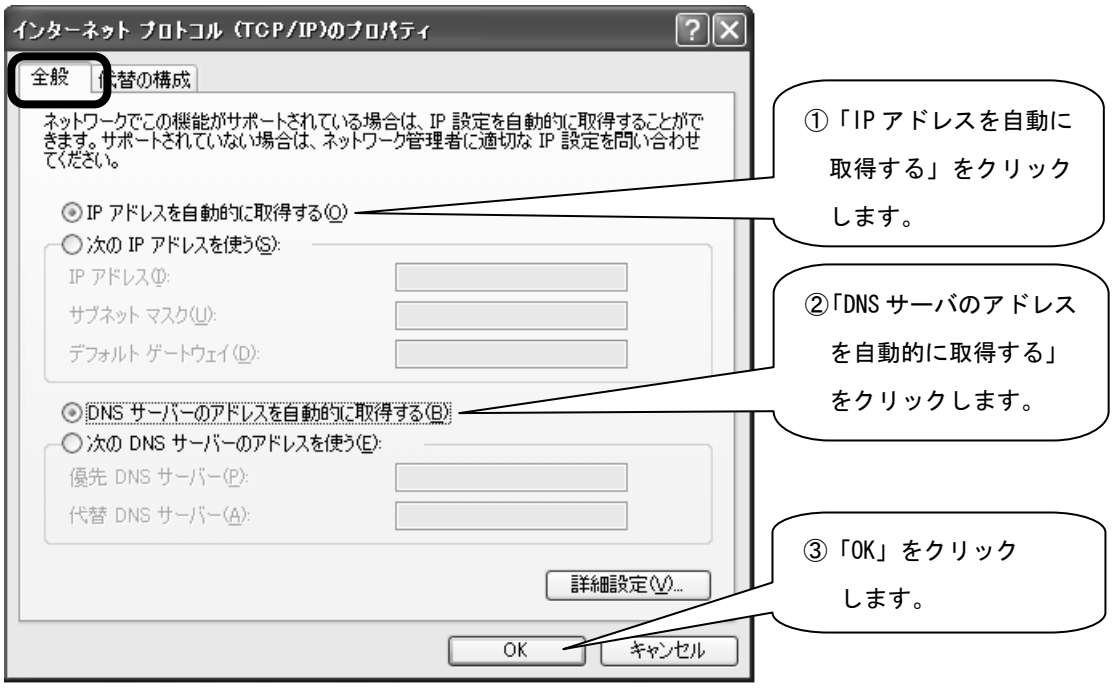
4．「プロパティ」をクリックします。「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。



５．「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログで「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログが表示されます。



６．「インターネットプロトコル（TCO/IP）のプロパティ」ダイアログで「全般」タブをクリックします。「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックします。次に、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



７.「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイヤログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

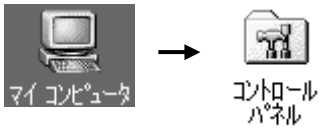
８.「8.3 インターネットオプションの設定」の設定を行ってください。

8.3 インターネットオプションの設定

ご注意

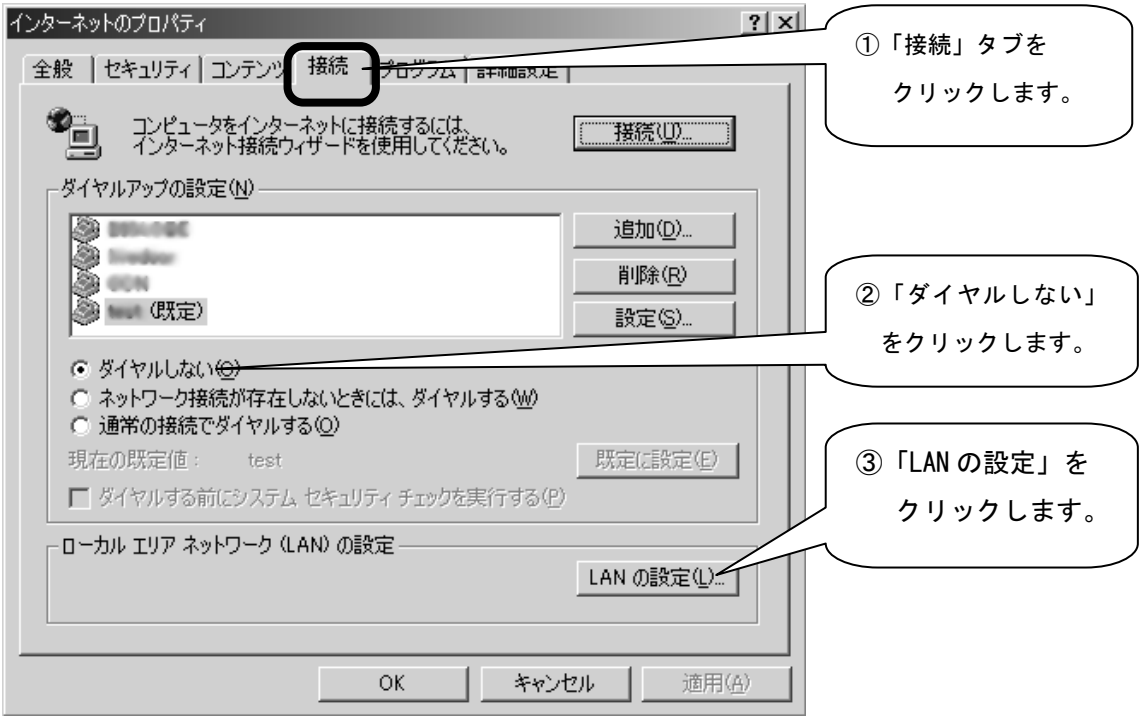
●OS により多少デザインが異なります。

1.「マイコンピュータ」をダブルクリックします。→「コントロールパネル」をダブルクリックします。

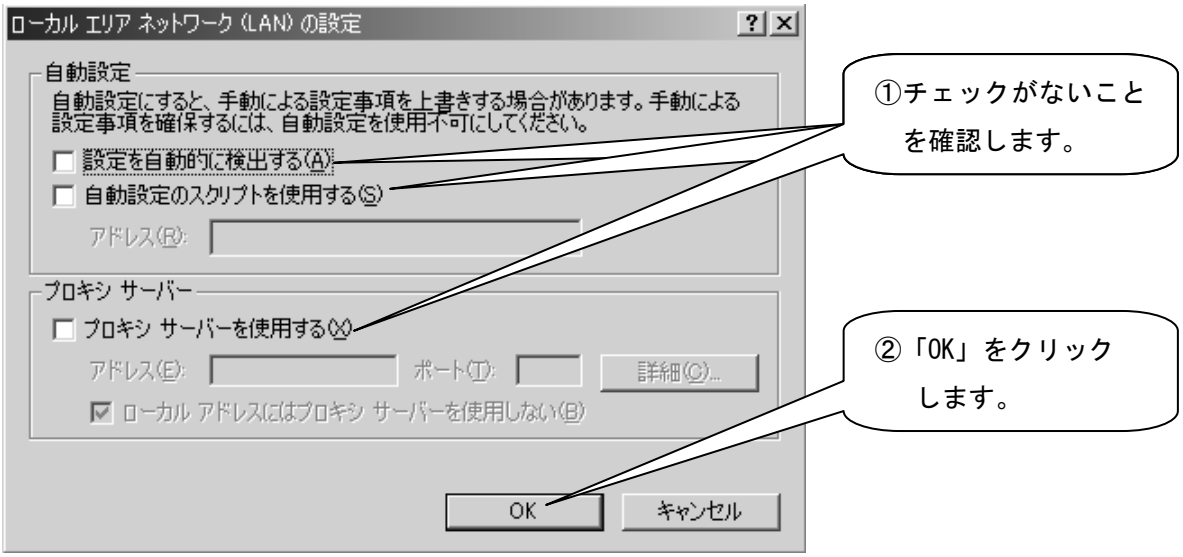


2.「インターネットオプション」をダブルクリックします。 「インターネットのプロパティ」ダイアログが表示されます。

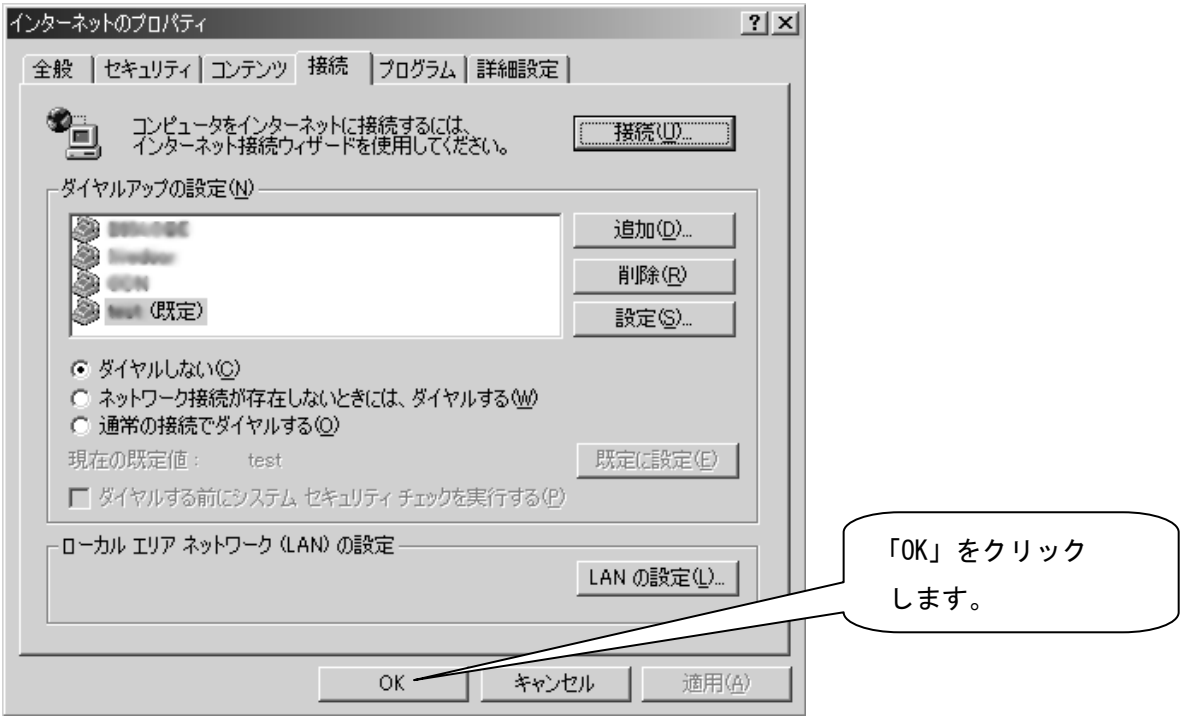
3.「インターネットのプロパティ」ダイアログの「接続」タブをクリックします。「ダイヤルアップの設定」の一覧にプロバイダ接続が有る場合、「ダイヤルしない」をクリックします。プロバイダ接続が無ければ選択の必要はありません。次に、「LANの設定」ボタンをクリックします。「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」ダイアログが表示されます。



4．「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」ダイアログでチェックボタンの全てにチェックがないことを確認し、「OK」ボタンをクリックします。「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」ダイアログが閉じられます。



5．「インターネットのプロパティ」ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。



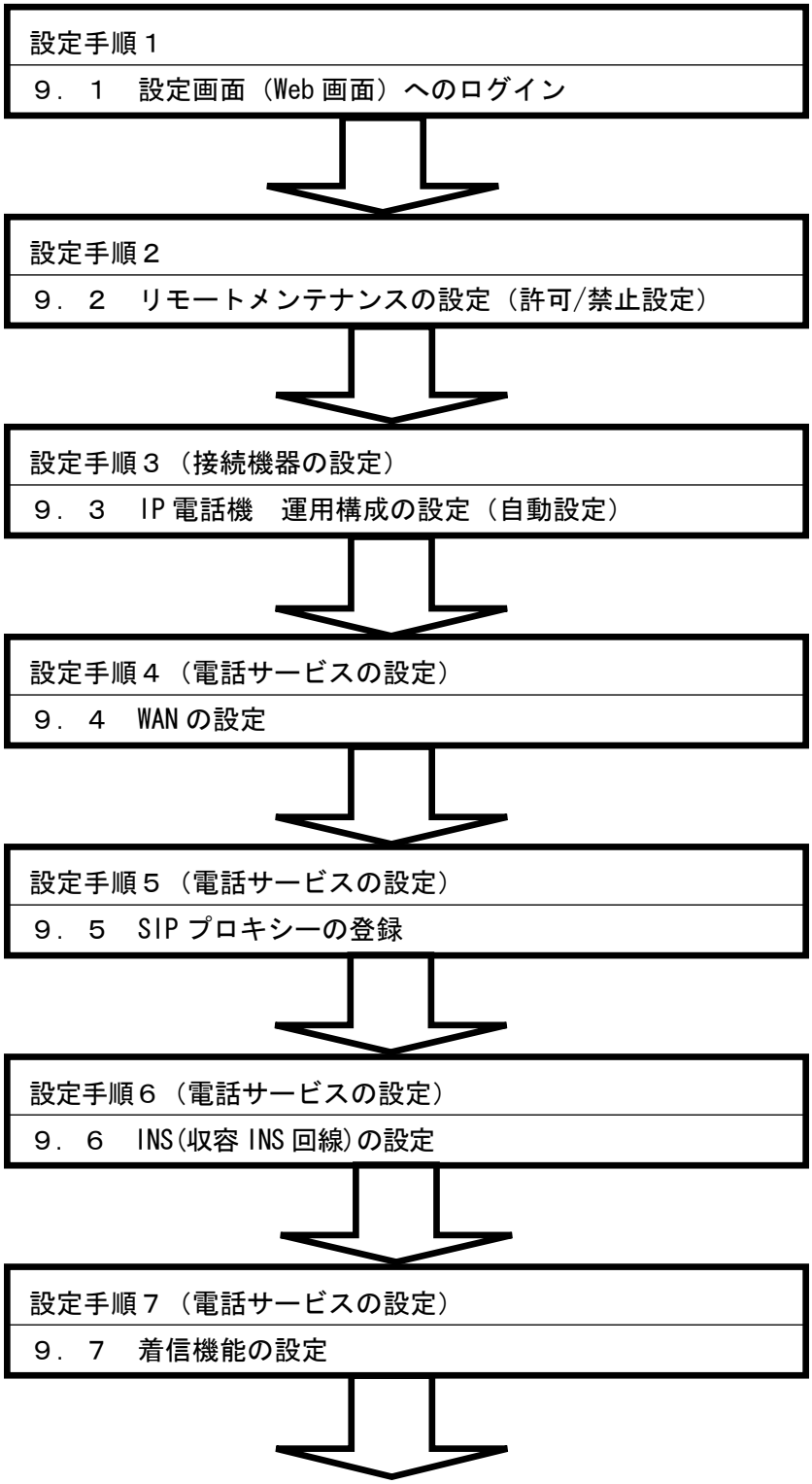
6．これでインターネットオプションの設定は完了します。

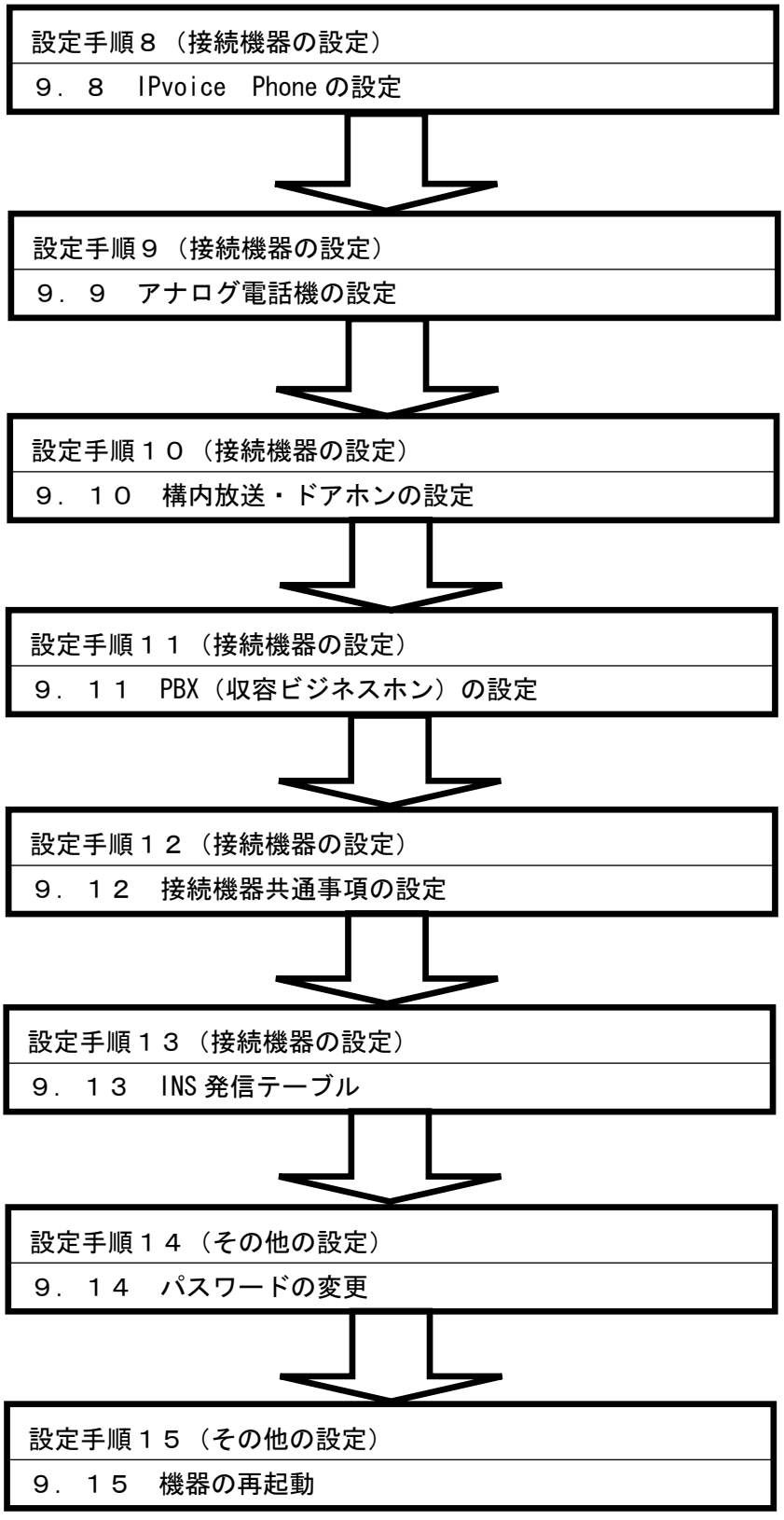
9 本機を設定するには

本機でIP電話を利用するには「7.2 各機器との接続」で記載した、HUBに直接接続の本機設定用パソコンからInternet Explorer（6.0以降）を使って本機設定画面にログインし、以下の手順で必要な項目情報を設定する必要があります。

※設定での入力は半角で大文字・小文字をご確認の上、正しく入力をお願いします。

（注意：仕様の変更により説明書のWeb画面と多少異なる事があります。）



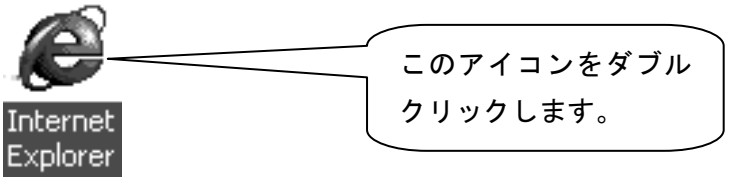


ご注意

●上記設定は本機の初期導入時に必要となりますが、設定完了後の運用中（通話中）にWeb設定画面から設定変更を行いますと、ご使用中の通話に影響を及ぼす場合があります。
運用中に設定変更を行う場合は、電話機での通話が無い事を確認して行ってください。

9.1 設定画面（Web画面）へのログイン

１．パソコンよりInternet Explorer（6.0以降）アイコンをダブルクリックします。



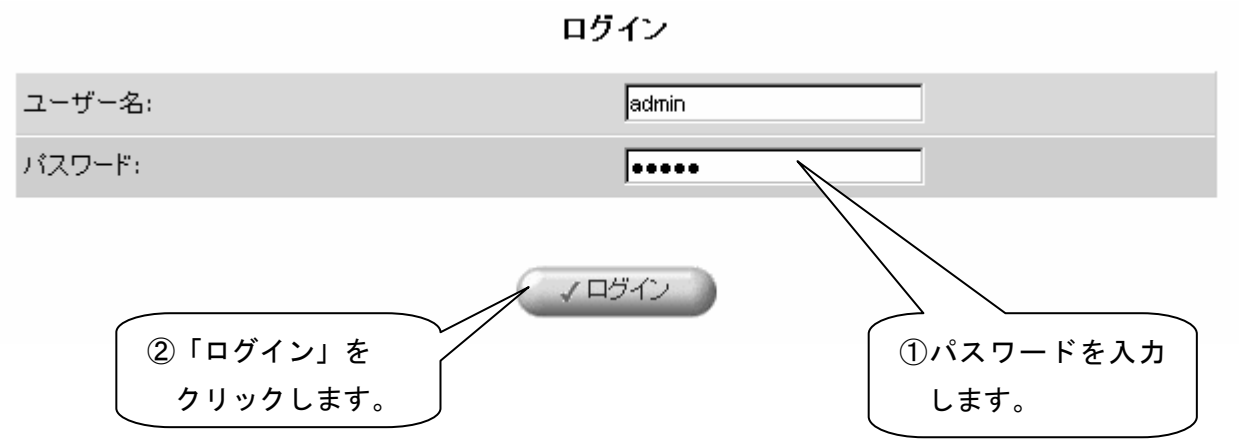
２．ＵＲＬフィールドに本機のIPアドレス「192.168.1.192」を入力し、Enterキーを押します。

以下のログイン画面が表示されます。

３．パスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。

※ユーザー名は「admin」固定です。

パスワード　：admin（初期値）



※本機導入時の初期設定完了以後に設定変更等を行う場合も、上記の手順で設定画面にログインし設定変更作業を行ってください。

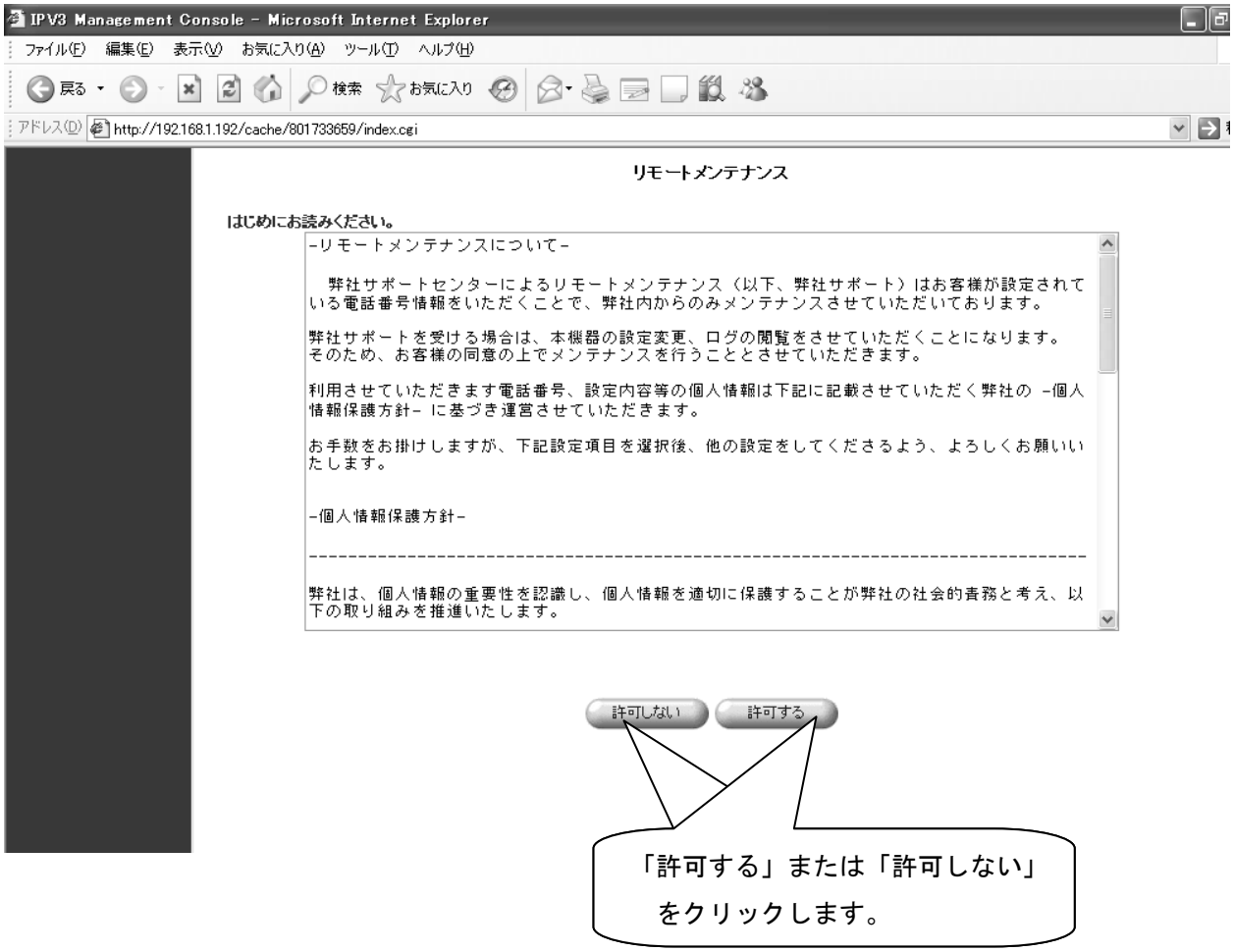
ワンポイント

●パスワードを変更するには、Web 画面設定で「その他の設定」→「詳細設定」→「パスワードの変更」の順に変更設定画面に進みます。パスワードは最大 64 文字半角英数字です。大文字と小文字は区別します。

※詳細は、「9.14　パスワードの変更」の章（P78）を参照してください。

9.2 リモートメンテナンスの設定（許可/禁止設定）

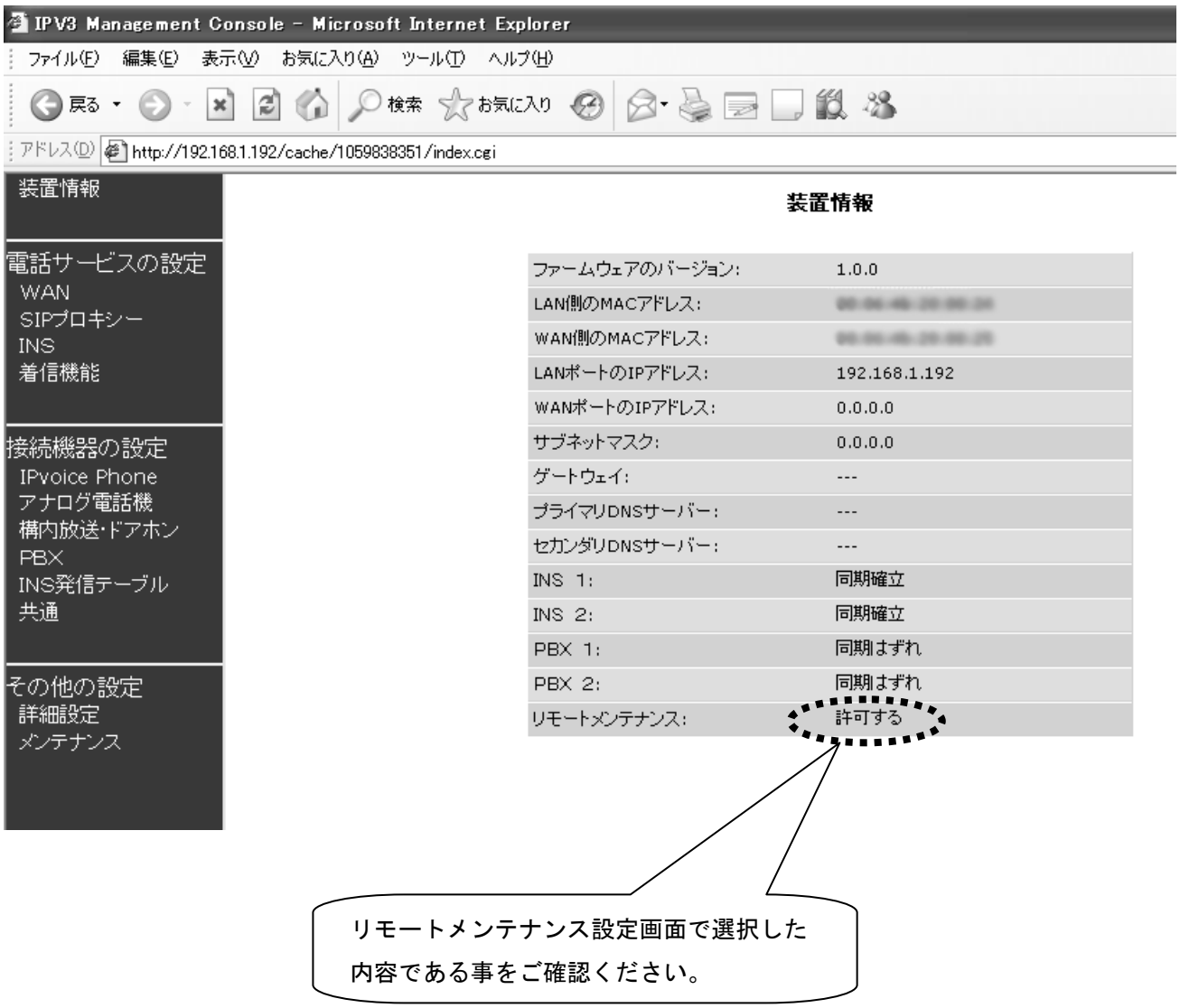
前項の手順で正しくログインが行われると、以下のリモートメンテナンス許諾画面が表示されます。Web画面中の説明及び、下記の「ご注意」をお読みいただき、リモートメンテナンスを承諾される場合は「許可する」を、承諾されない場合は「許可しない」をクリックしてください。



ご注意

- ●本機は、リモートメンテナンス機能を有しております。
- ●リモートメンテナンス機能は、お客様が設定されている電話番号情報をご連絡頂いただくことで、弊社サポートセンターから、お客様設置の本機に自動的にアクセスし、設定変更やログの閲覧等をさせていただき、メンテナンス作業を行うものです。
- ●リモートメンテナンス設定画面（上記設定画面）で、お客様が「許可する」を押された事を持って、弊社サポートセンターからのリモートメンテナンスをご希望・承諾されたものとさせていただきます。
- ●リモートメンテナンスは、弊社サポートセンターの回線番号からのアクセスとなります。弊社サポートセンターの回線番号以外からは、自動的なアクセスはできません。

リモートメンテナンス設定画面で、「許可する」または「許可しない」の設定ボタンをクリックすると、下記の装置情報画面が表示されます。



9.3 IP電話機運用構成の設定（IPvoice Phoneの運用構成設定）

IP 電話機運用構成の設定(IPvoice Phone の運用構成設定)は、本機の Web 設定画面から一括での自動設定により行います。

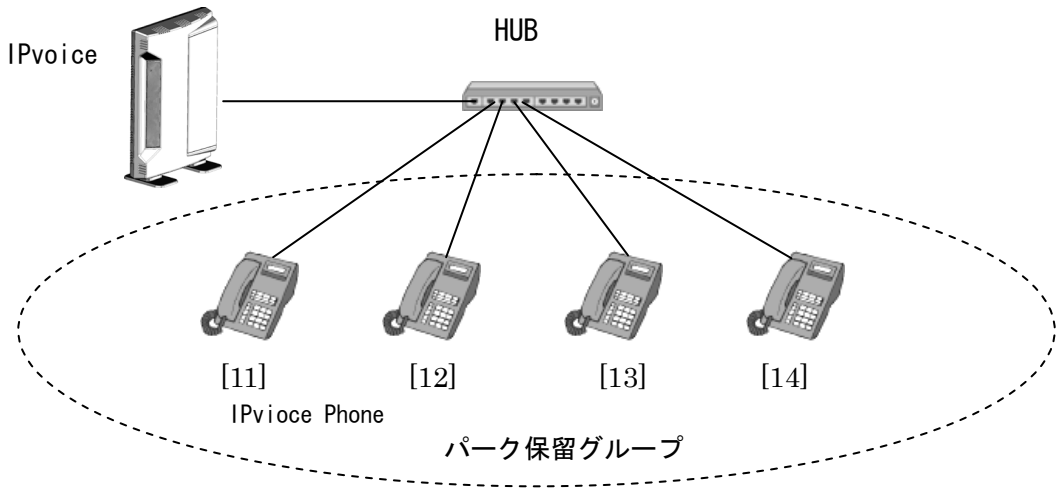
9.3.1 運用構成について

本機 Web 設定画面からの自動設定では、以下の３種類の運用構成の設定を用意しています。

１．IPvoice Phone を４台収容

・内線番号は[11]、[12]、[13]、[14]に設定されます。

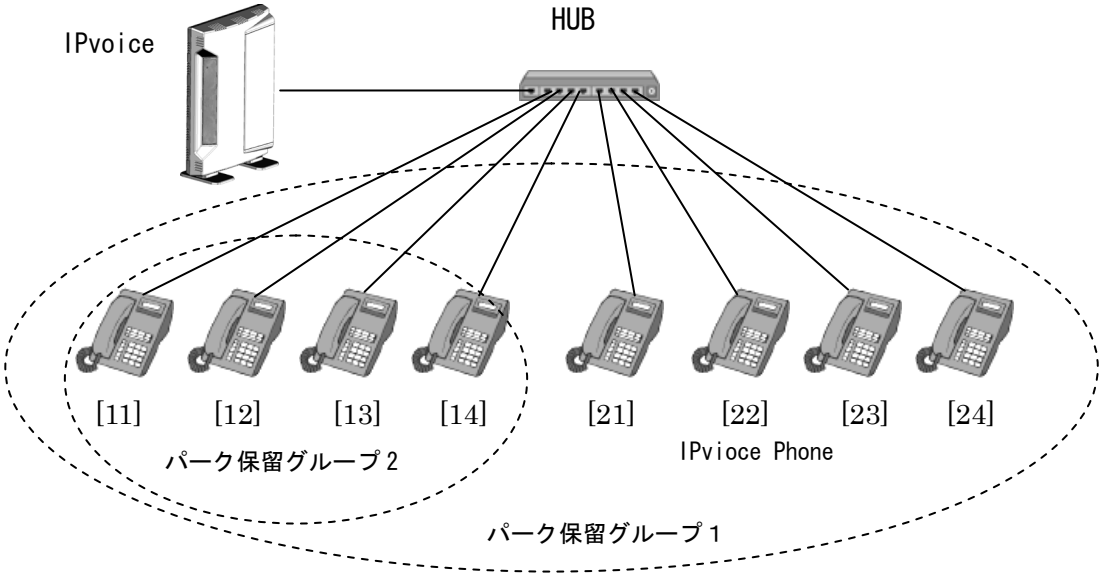
・パーク保留グループは全端末(4 台)共通の１グループに設定されます。



２．IPvoice Phone を８台収容

・内線番号は[11]、[12]、[13]、[14]、[21]、[22]、[23]、[24]に設定されます。

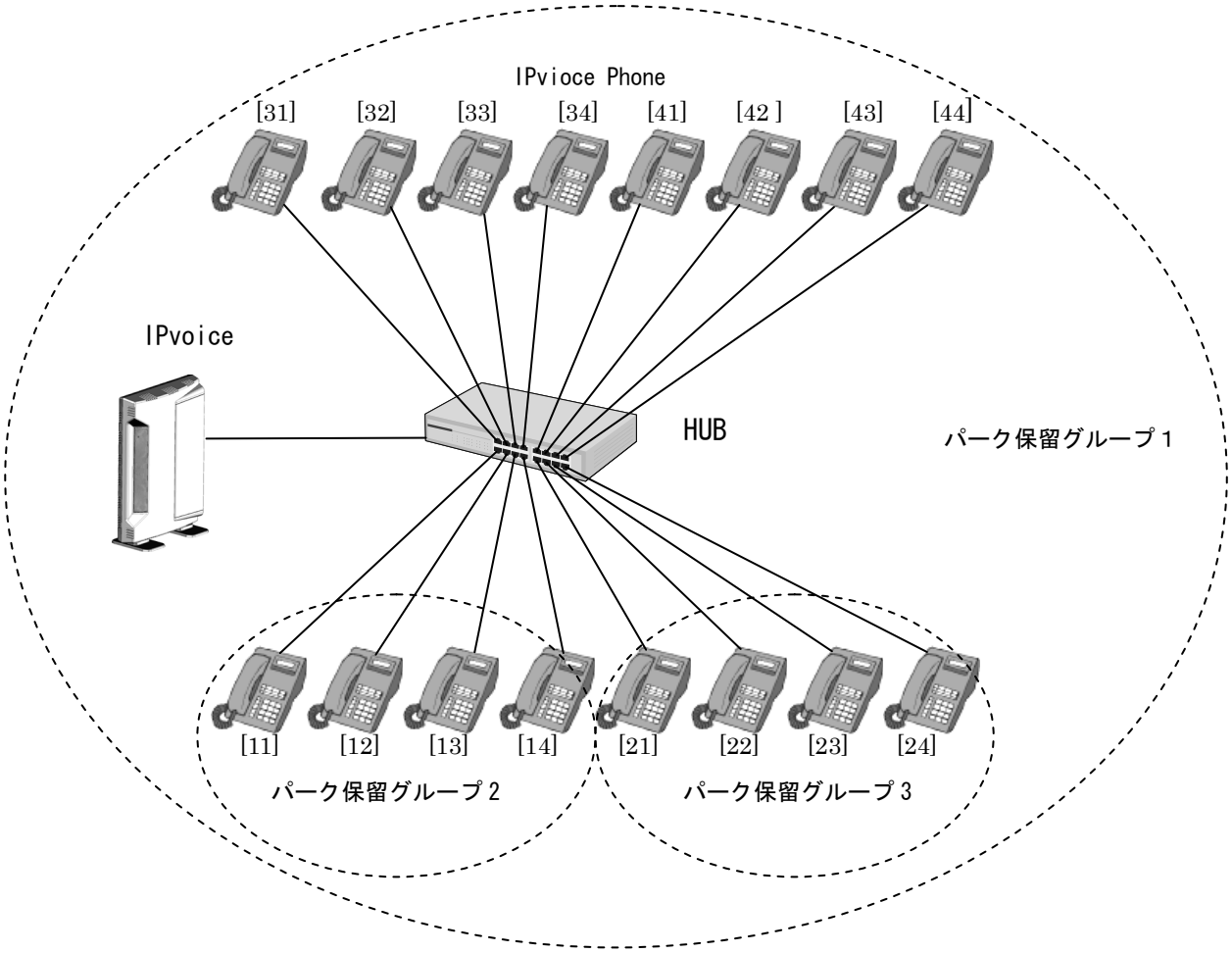
・パーク保留グループは全端末(8 台)と内線番号＜11、12、13、14＞の２グループに設定されます。



３．IPvoice Phone を 16 台収容

・内線番号は　[11]、[12]、[13]、[14]　　[21]、[22]、[23]、[24]
　　[31]、[32]、[33]、[34]　　[41]　[42]、[43]、[44]　に設定されます。

・パーク保留グループは全端末(16 台)と内線番号＜11、12、13、14＞及び＜21、22、23 24＞の３グループに設定されます。



9.3.2　事前準備

１．IPvoice Phone を本機に接続した状態で、本機及び IPvoice Phone の電源を投入します。

２．本機及び IPvoice Phone が起動しましたら、本機の DHCP サーバ機能により IPvoice Phone 側で IP アドレスが取得できている事を確認します。(接続された全ての IPvoice Phone をご確認ください。)

※IPvoice Phone の液晶画面が「リンク確立中」→「IP アドレス取得中」→「登録中」→「登録失敗」の表示で移行すれば IP アドレスの取得が完了しています。

※「リンク確立中」表示のままや、「DHCP エラー」表示であれば IP アドレスの取得ができていません。本機 LAN コネクターから HUB 及び IPvoice Phone までの接続を再度ご確認ください。

３．IPvoice Phone を「ローカル保守」モードに設定します。

IP アドレス取得が完了しましたら（液晶表示が「登録失敗」の状態)、IPvoice　Phone の“確定ボタン”→“７キー”の順で押してください。液晶に「ローカル保守」と表示されローカル保守モードとなります。以上で事前準備は完了です。

（正常時の液晶表示）

リンク確立中

↓

ＩＰアドレス取得中

↓

登録中

↓

ERR　　登録失敗

↓

IP アドレスの取得完了

↓

「確定」ボタン 確定 を押す

↓

1. ネットワーク設定
2. VLAN 設定
3. SIP 関連設定
4. コントラスト調節

↓

「７」キー 7 PQRS を押す

↓

ローカル保守

↓

「ローカル保守」モード設定完了

（異常時の液晶表示）

リンク確立中

及び

ERR　　DHCP エラー

↓

IP アドレスの取得が未完了

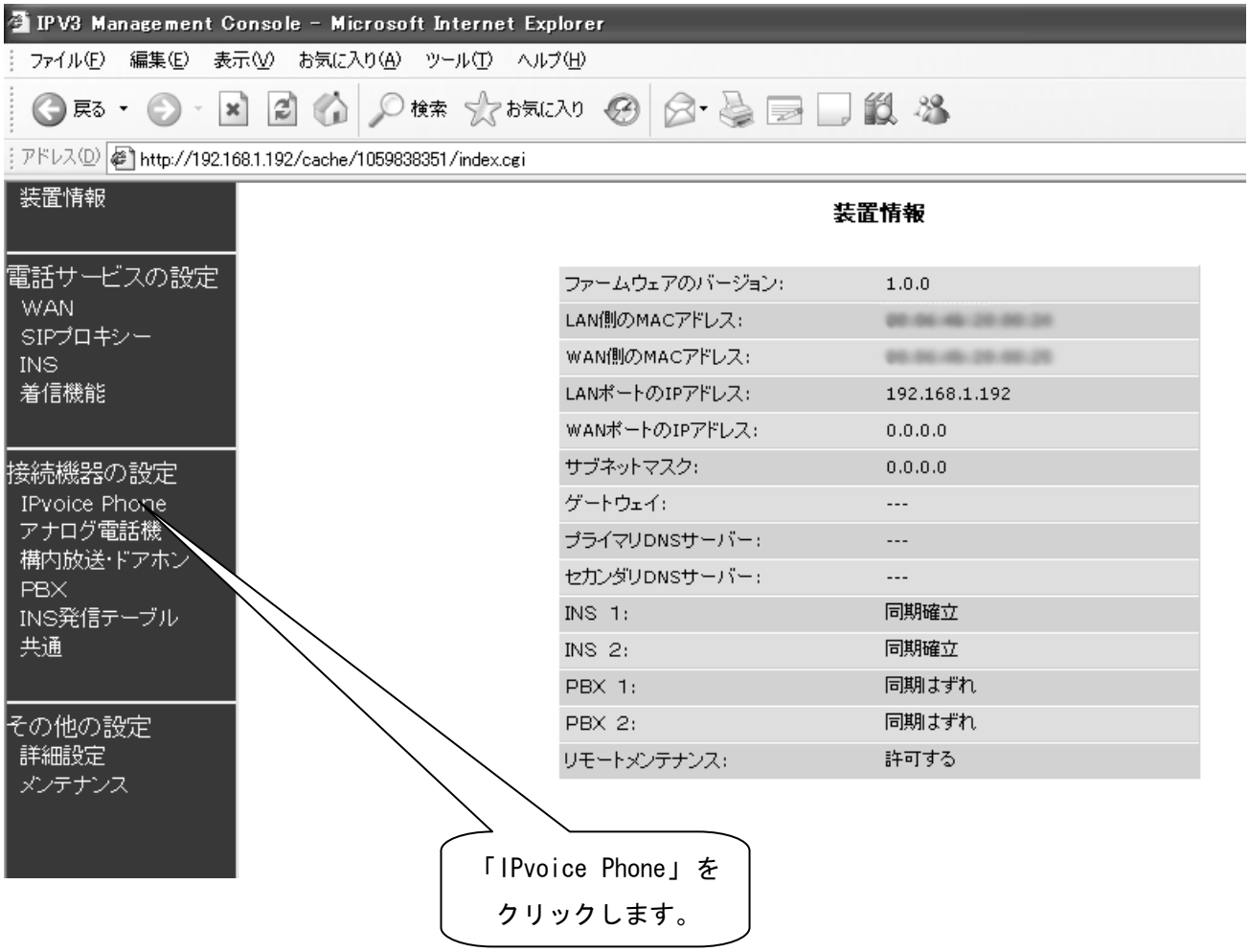
↓

ネットワークの接続を再度確認

（HUB 及び LAN ケーブル接続を再度確認）

9.3.3　自動設定

1．IPvoice Phone の「ローカル保守」モード設定が完了しましたら、装置情報画面の操作メニュー「接続機器の設定」から「IPvoice Phone」をクリックします。

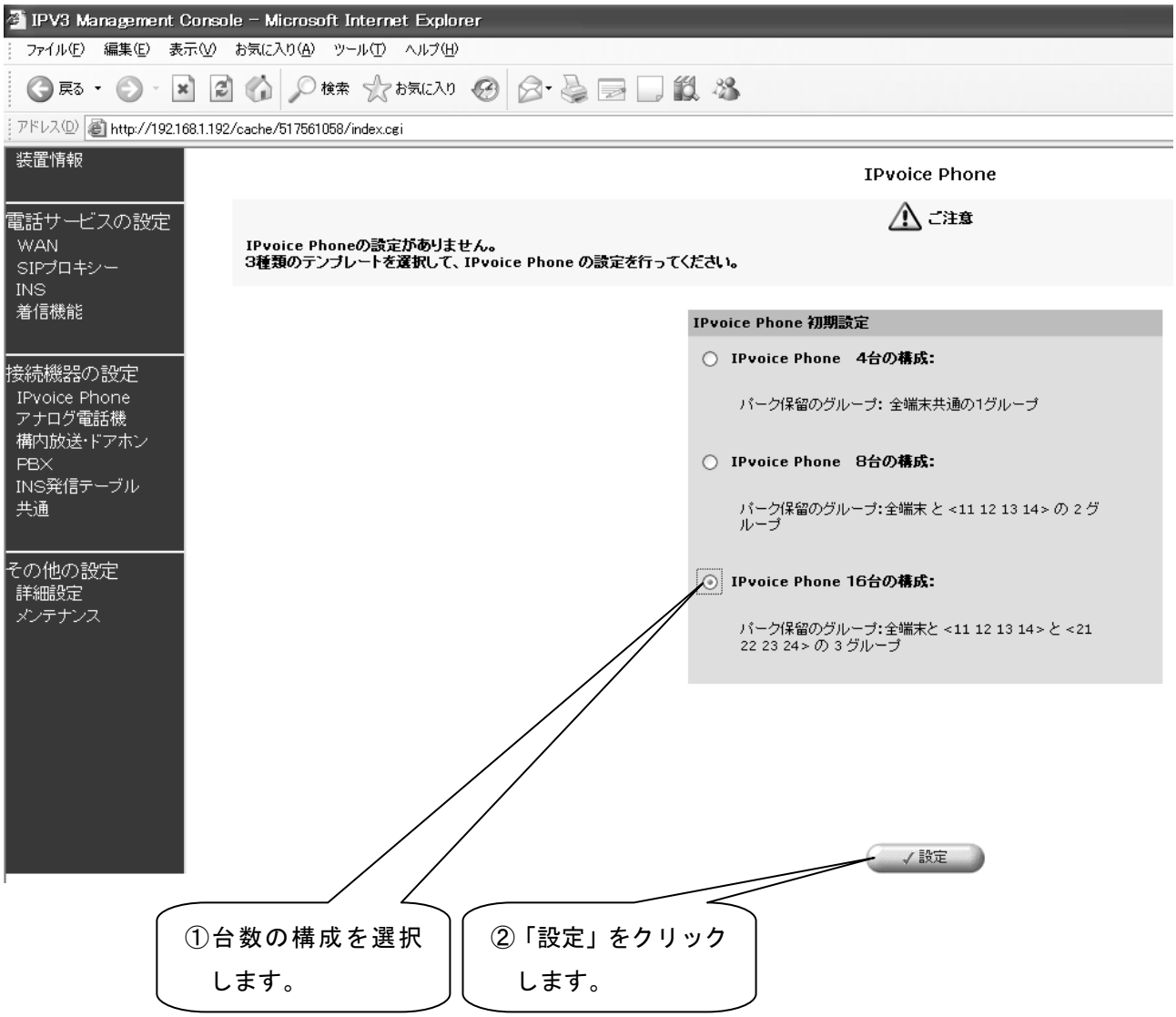


ワンポイント

●IPvoice Phone の設定は「自動設定」の他に、IP フォンマネージャ（設定用ソフト）を使用して任意の運用構成に設定する事もできます。IP フォンマネージャによる設定についてはご購入の販売店または弊社営業担当までご連絡ください。

※IP フォンマネージャによる設定では、「内線番号」、「着信音種」、「電話帳登録」「フレキシブルキー」、「短縮番号」等の設定や変更ができます。

２．前項でご説明しました運用構成（３種類）の選択画面が表示されます。設置される IPvoice Phone の台数に合わせ構成を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。



ご注意

●台数の構成設定は、設置される台数よりも多い台数構成を選択してください。

（設定例）設置台数１台～４台の場合　→　「IPvoice Phone　4 台の構成」を選択

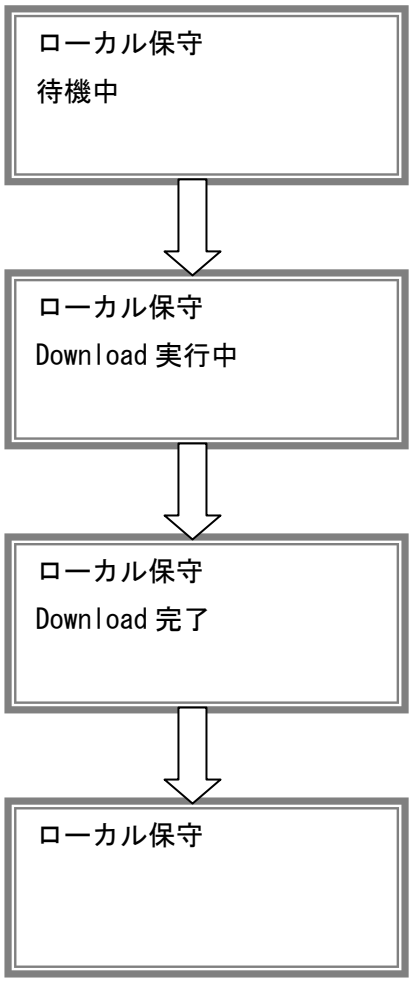
設置台数５台～８台の場合　→　「IPvoice Phone　8 台の構成」を選択

設置台数９台～１６台の場合　→　「IPvoice Phone　16 台の構成」を選択

３.「設定」ボタンをクリックすると、以下の“IPvoice Phone 設定中”画面が表示されます。
すべての IPvoice Phone の設定が完了するまでしばらくお待ちください。

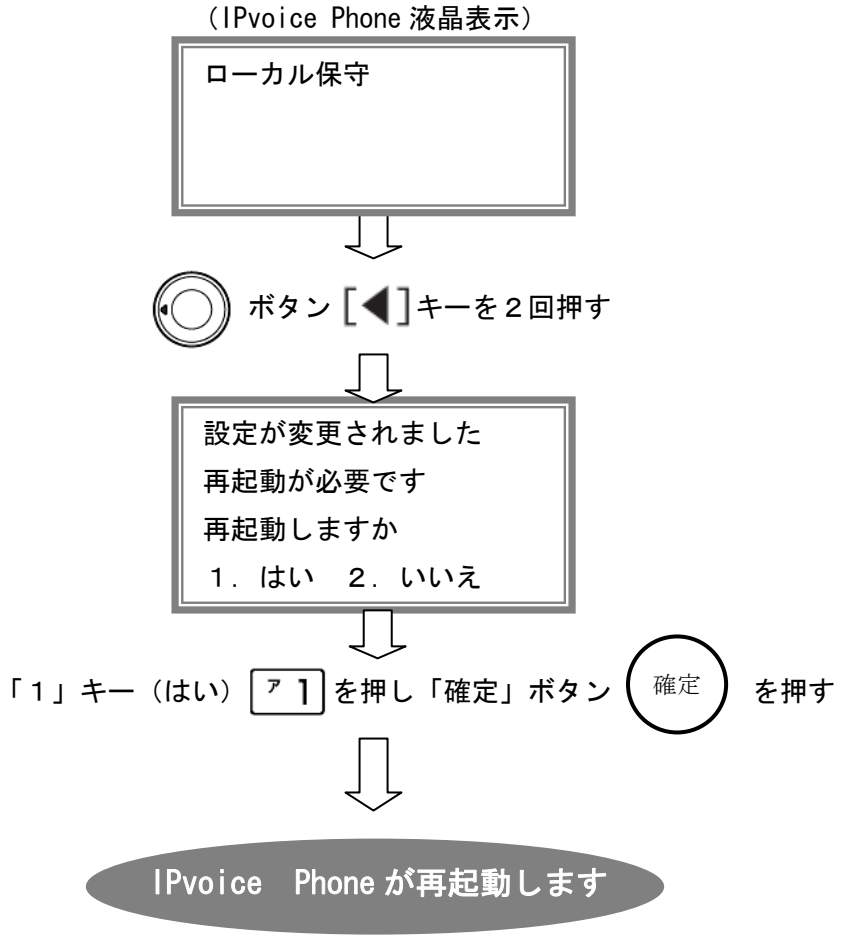
IPvoice Phone 側の液晶画面には自動設定中、以下の順で状態が表示されます。

（IPvoice Phone　自動設定中の液晶表示）



４．接続された IPvoice Phone の設定が完了すると以下の“設定完了”画面が表示されます。
「再起動」ボタンをクリックしてくだい。本機が再起動します。

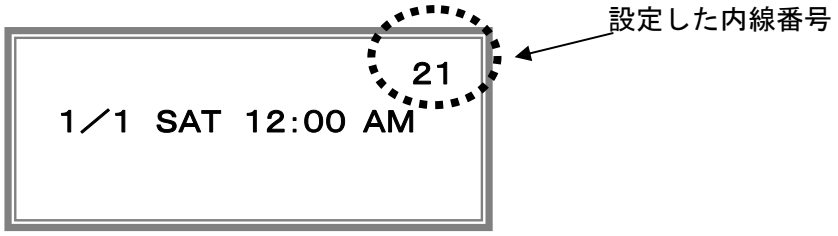
合わせて IPvoice Phone 側も以下の手順で「ローカル保守」モードを解除し、再起動してください。



５．本機及び IPvoice Phone の再起動が完了しましたら、IPvoice Phone の設定及び本機側の設定が正常に完了している事を、以下の手順で確認してください。

・IPvoice Phone 側

液晶画面に設定した内線番号と、下記の日付・曜日・時間が表示されていれば正常に設定が完了しています。

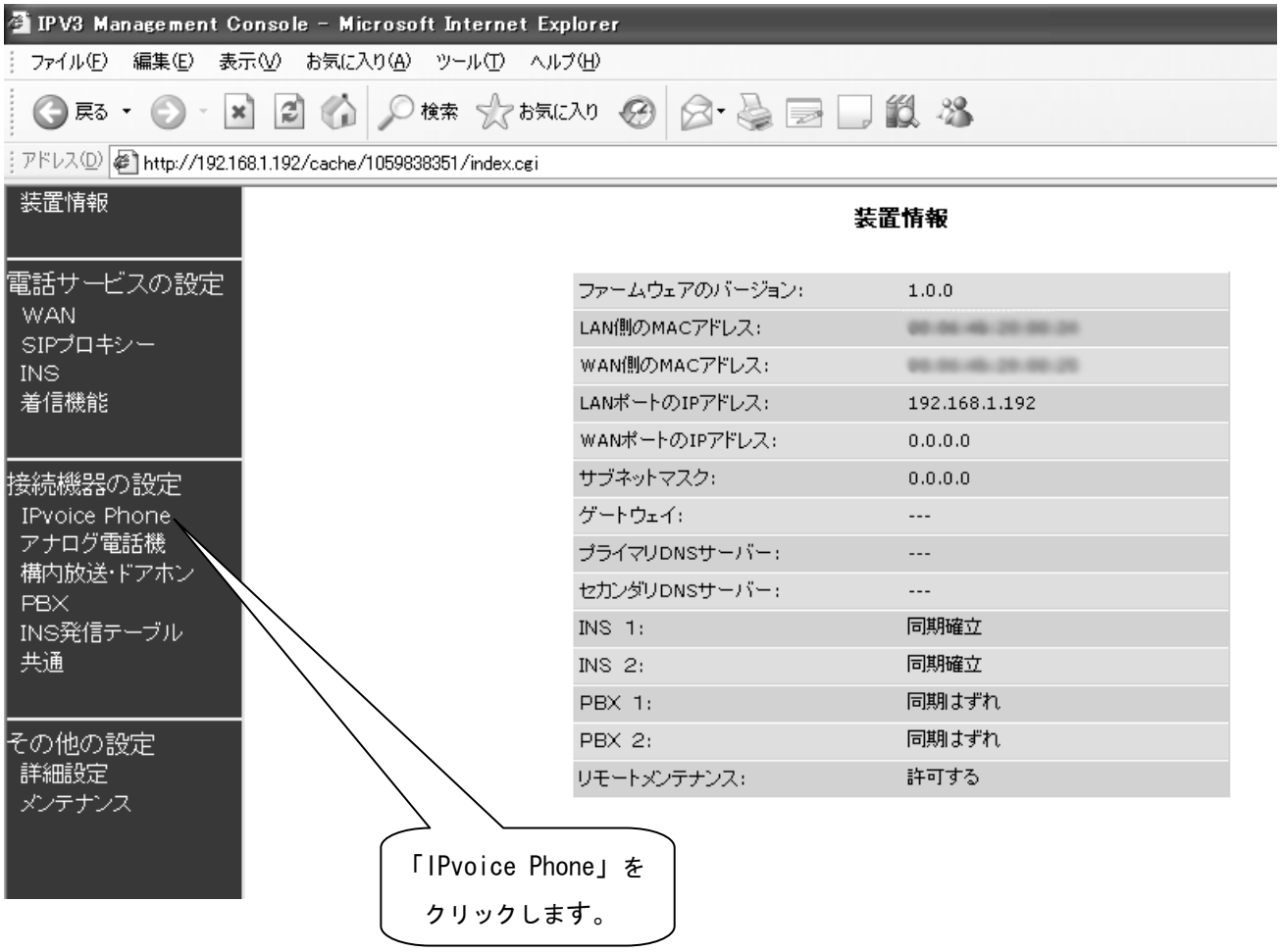


（IPvoice Phone の液晶表示）

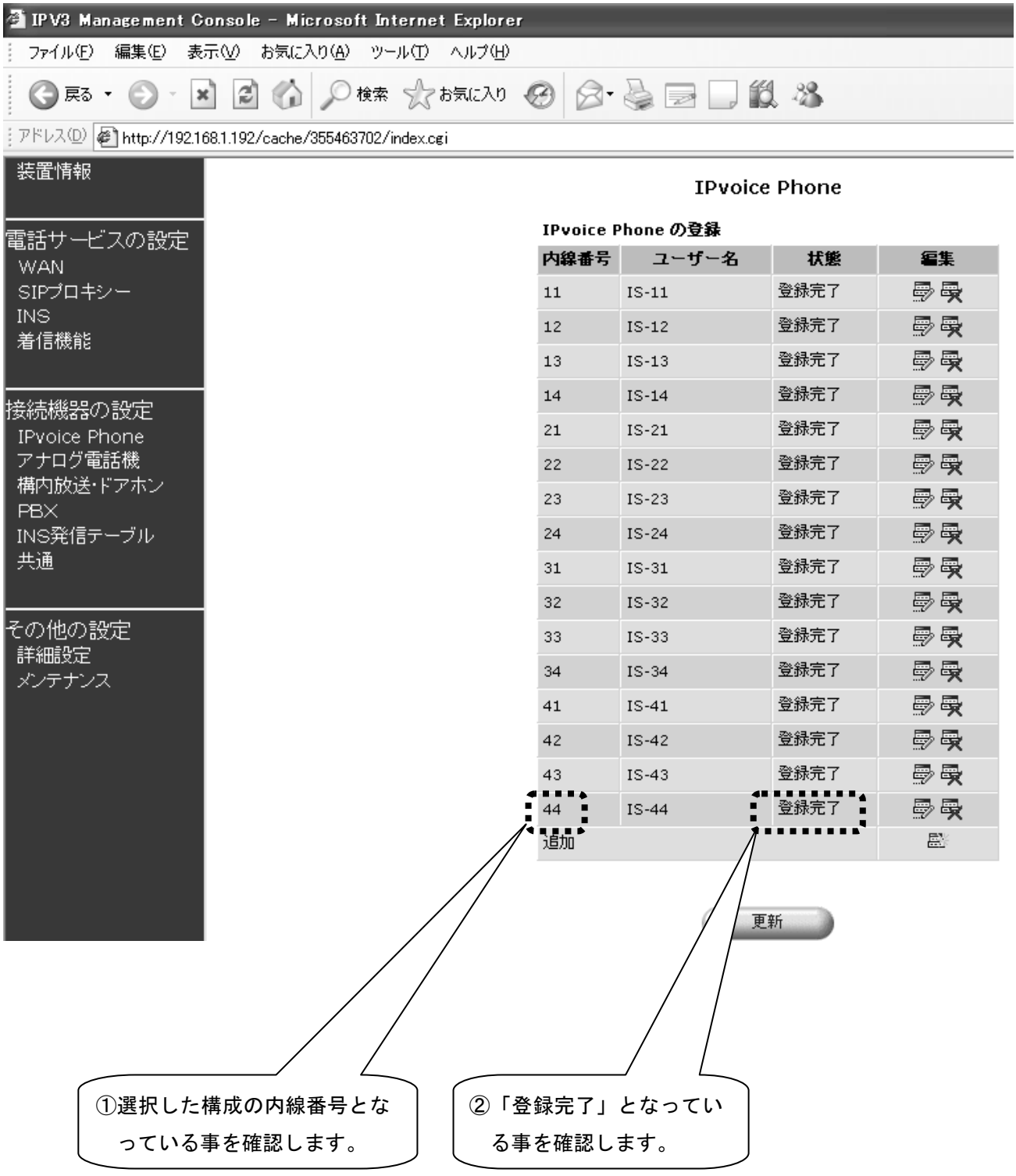
※上記の日付・曜日・時間は自動設定時の初期値が表示されます。

・本機側

再度 Web 設定画面へログインし、操作メニューの「接続機器の設定」から「IPvoice Phone」をクリックします。



以下の IPvoice Phone の登録画面が表示されますので、選択した構成の内線番号である事と、登録完了状態である事をご確認ください。以上で自動設定は完了です。



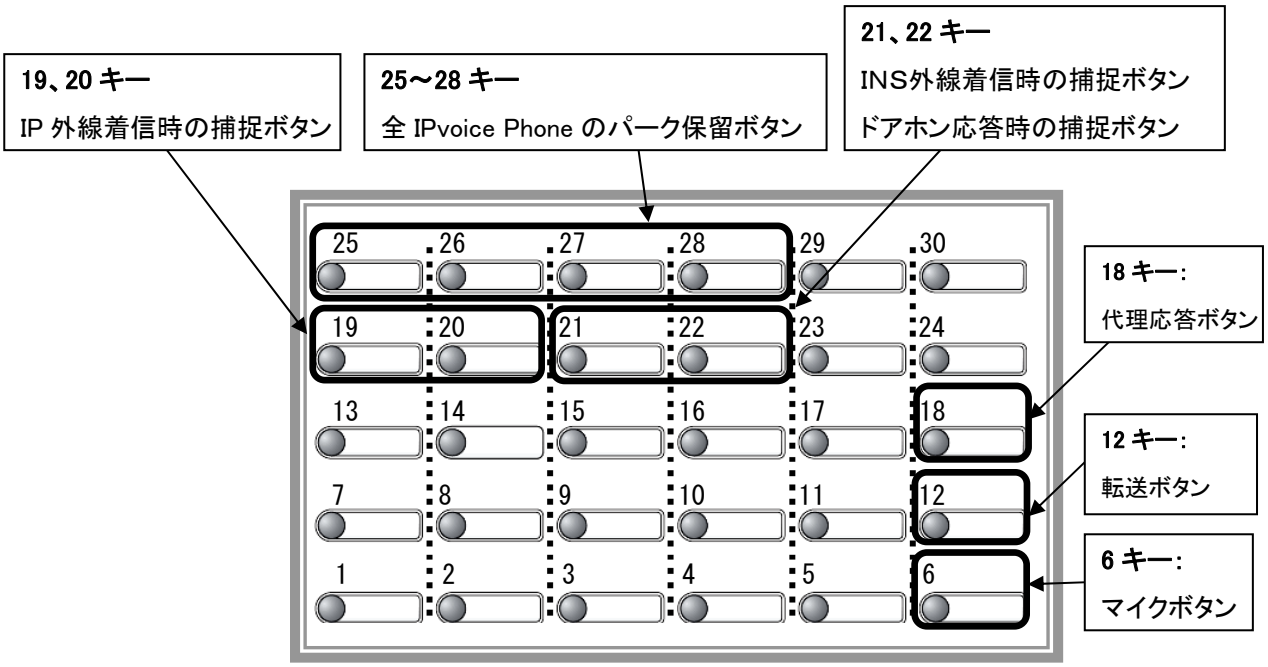
9.3.4　フレキシブルキーの割当

IPvoice Phone の運用構成を自動設定にて行うと、IPvoice Phone の 30 個のフレキシブルキーの割当は以下の様に設定されます。

1. IPvoice Phone を４台収容の自動設定時

・内線番号　　：11　12　13　14

・パークグループ　　：全 IPvoice Phone（４台）の１グループ



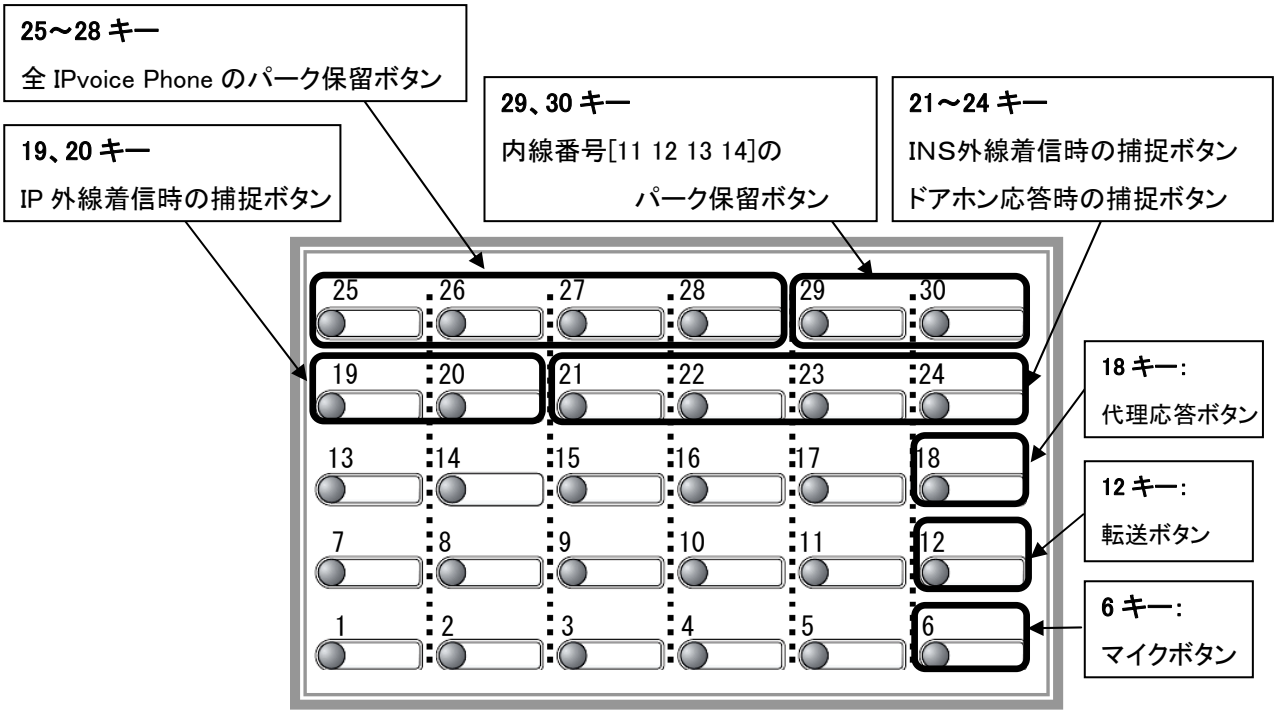
ボタン機能名称	機能・使い方
パーク保留ボタン(全 IPvoice Phone) ・25～28 キー	パークグループ(4 台すべて)保留ボタンです。通話中にパークボタンを押す事で、保留状態となり点滅します。全ての IPvoice Phone から点滅しているパークボタンを押す事により、保留呼を捕捉できます。
IP 外線着信時の捕捉ボタン ・19、20 キー	IP 電話回線からの着信時に点滅します。点滅しているボタンを押す事により、着信呼を捕捉できます。また保留呼の捕捉に使用します。
INS 外線着信時の捕捉ボタン ドアホン応答時の捕捉ボタン ・21、22 キー	INS 回線からの着信時及びドアホンからの呼び出し時に点滅します。点滅しているボタンを押す事により、ドアホン応答及び着信呼を捕捉できます。また保留呼の捕捉に使用します。
代理応答ボタン ・18 キー	代理応答ボタンを押す事で、全ての IPvoice Phone の内線着信に応答する事ができます。
転送ボタン ・12 キー	内線転送操作の際に点滅します。転送先相手呼び出し中（呼び出し音鳴動中）に転送ボタンを押し、自端末を切断する事で転送先相手との通話をする事なしに、内線転送を行います。(呼び出し中転送)
マイクボタン ・6 キー	マイクボタンを押すとマイクボタンランプが点灯し、電話機本体のマイクを使用することができます。

※上記以外のキーは「ワンタッチキー」として割り当てています。電話帳登録の際に、登録する電話番号をこれらのワンタッチキーに登録することができます。(P107 参照)

2. IPvoice Phone を８台収容の自動設定時

・内線番号　　：11　12　13　14　21　22　23　24

・パークグループ　　：全 IPvoice Phone（8 台）と[11　12　13　14]の 2 グループ



ボタン機能名称	機能・使い方
パーク保留ボタン(全 IPvoice Phone) ・25～28 キー	パークグループ(8 台すべて)保留ボタンです。通話中にパークボタンを押す事で、保留状態となり点滅します。全ての IPvoice Phone から点滅しているパークボタンを押す事により、保留呼を捕捉できます。
パーク保留ボタン(内線[11 12 13 14]の IPvoice Phone) ・29、30 キー	パークグループ(内線 11～14 のグループ)保留ボタンです。通話中にパークボタンを押す事で、保留状態となり点滅します。同じパークグループ（内線 11～14）の IPvoice Phone から、点滅しているパークボタンを押す事により、保留呼を捕捉できます。
IP 外線着信時の捕捉ボタン ・19、20 キー	IP 電話回線からの着信時に点滅します。点滅しているボタンを押す事により、着信呼を捕捉できます。また保留呼の捕捉に使用します。
INS 外線着信時の捕捉ボタン ドアホン応答時の捕捉ボタン ・21～24 キー	INS 回線からの着信時及びドアホンからの呼び出し時に点滅します。点滅しているボタンを押す事により、ドアホン応答及び着信呼を捕捉できます。また保留呼の捕捉に使用します。

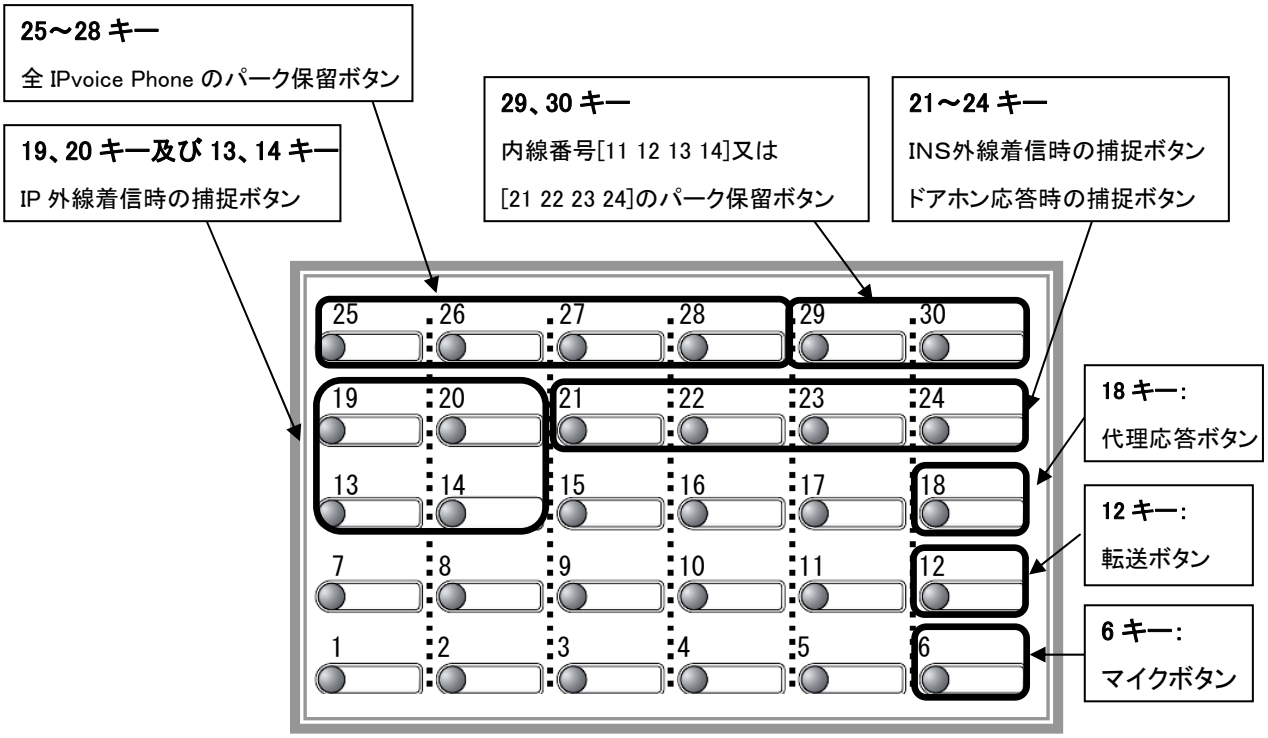
注：「代理応答ボタン」「転送ボタン」「マイクボタン」は 4 台構成時と同機能です。

※　上記以外のキーは「ワンタッチキー」として割り当てています。電話帳登録の際に、登録する電話番号をこれらのワンタッチキーに登録することができます。(P107 参照)

3. IPvoice Phone を 16 台収容の自動設定時

・内線番号　　：11　12　13　14　21　22　23　24
　　31　32　33　34　41　42　43　44

・パークグループ　　：全 IPvoice Phone（16 台）と[11　12　13　14]
　　及び[21　22　23　24]の 3 グループ



ボタン機能名称	機能・使い方
パーク保留ボタン(全 IPvoice Phone) ・25～28 キー	パークグループ(16 台すべて)保留ボタンです。通話中にパークボタンを押す事で、保留状態となり点滅します。全ての IPvoice Phone から点滅しているパークボタンを押す事により、保留呼を捕捉できます
パーク保留ボタン(内線[11 12 13 14]又は [21 22 23 24]の IPvoice Phone) ・29、30 キー	パークグループ(内線 11～14 のグループ又は 21～24 のグループ)保留ボタンです。通話中にボタンを押す事で、保留状態となり点滅します。同じパークグループ（内線 11～14 又は 21～24）の IPvoice Phone から点滅しているパークボタンを押す事により、保留呼を捕捉できます。
IP 外線着信時の捕捉ボタン ・13,14、19、20 キー	IP 電話回線からの着信時に点滅します。点滅しているボタンを押す事により、着信呼を捕捉できます。また保留呼の捕捉に使用します。
INS 外線着信時の捕捉ボタン ドアホン応答時の捕捉ボタン ・21～24 キー	INS 回線からの着信時及びドアホンからの呼び出し時に点滅します。点滅しているボタンを押す事により、ドアホン応答及び着信呼を捕捉できます。また保留呼の捕捉に使用します。

注：「代理応答ボタン」「転送ボタン」「マイクボタン」は 4 台構成時と同機能です。

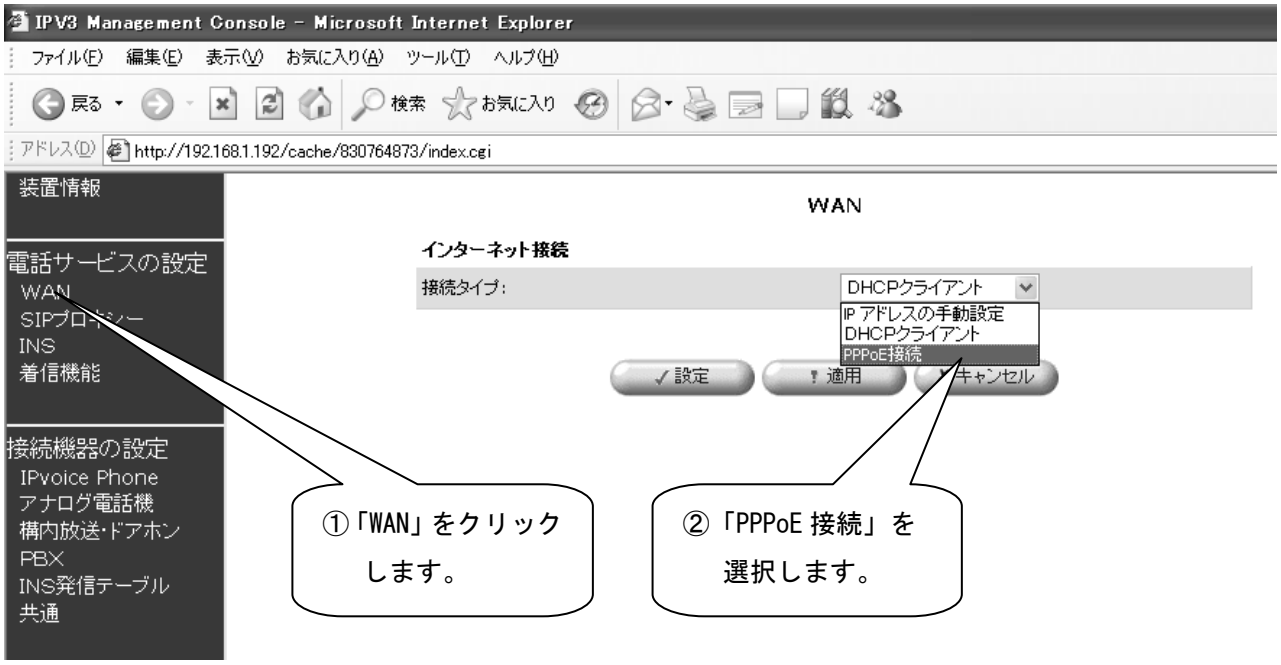
※　上記以外のキーは「ワンタッチキー」として割り当てています。電話帳登録の際に、登録する電話番号をこれらのワンタッチキーに登録することができます。(P107 参照)。

9.4 ＷＡＮの設定

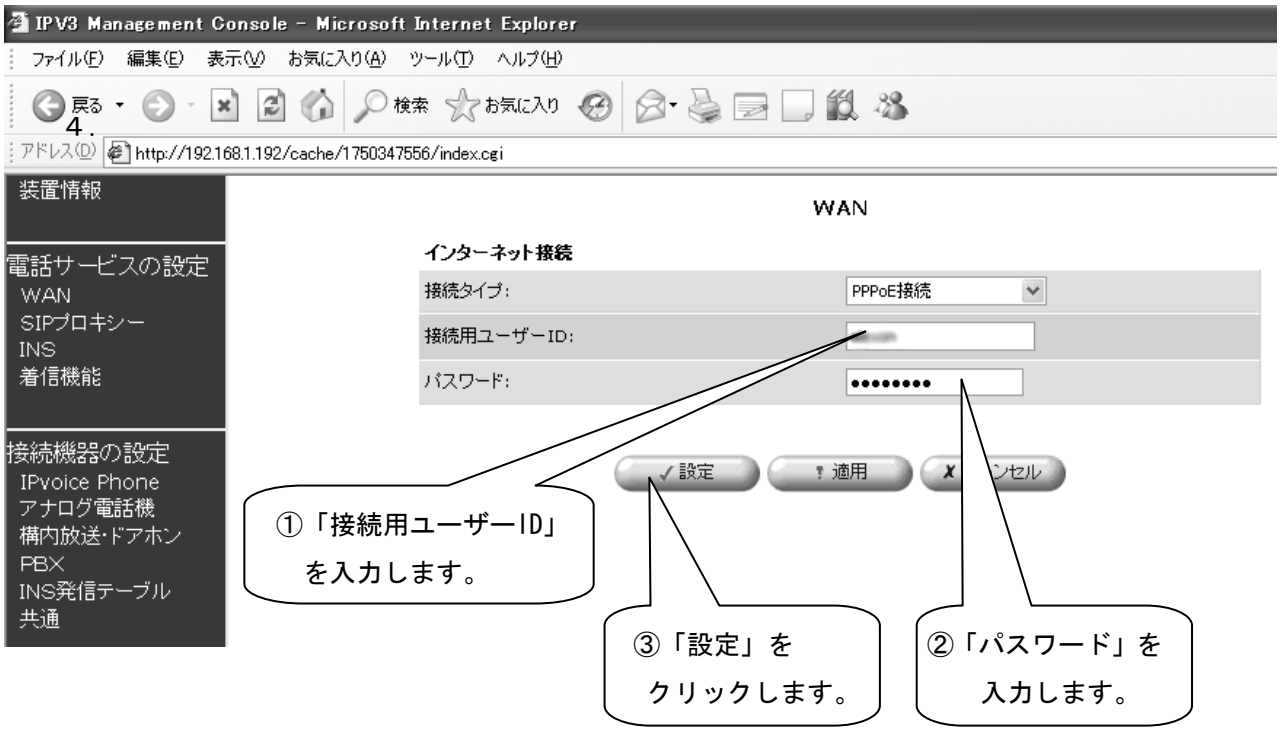
9.4.1　PPPoE 接続の設定例

1．本機のWANランプが点灯していることをご確認ください。WANランプが消灯の場合、ONU等と正常に接続できていない可能性があります。接続をご確認ください。

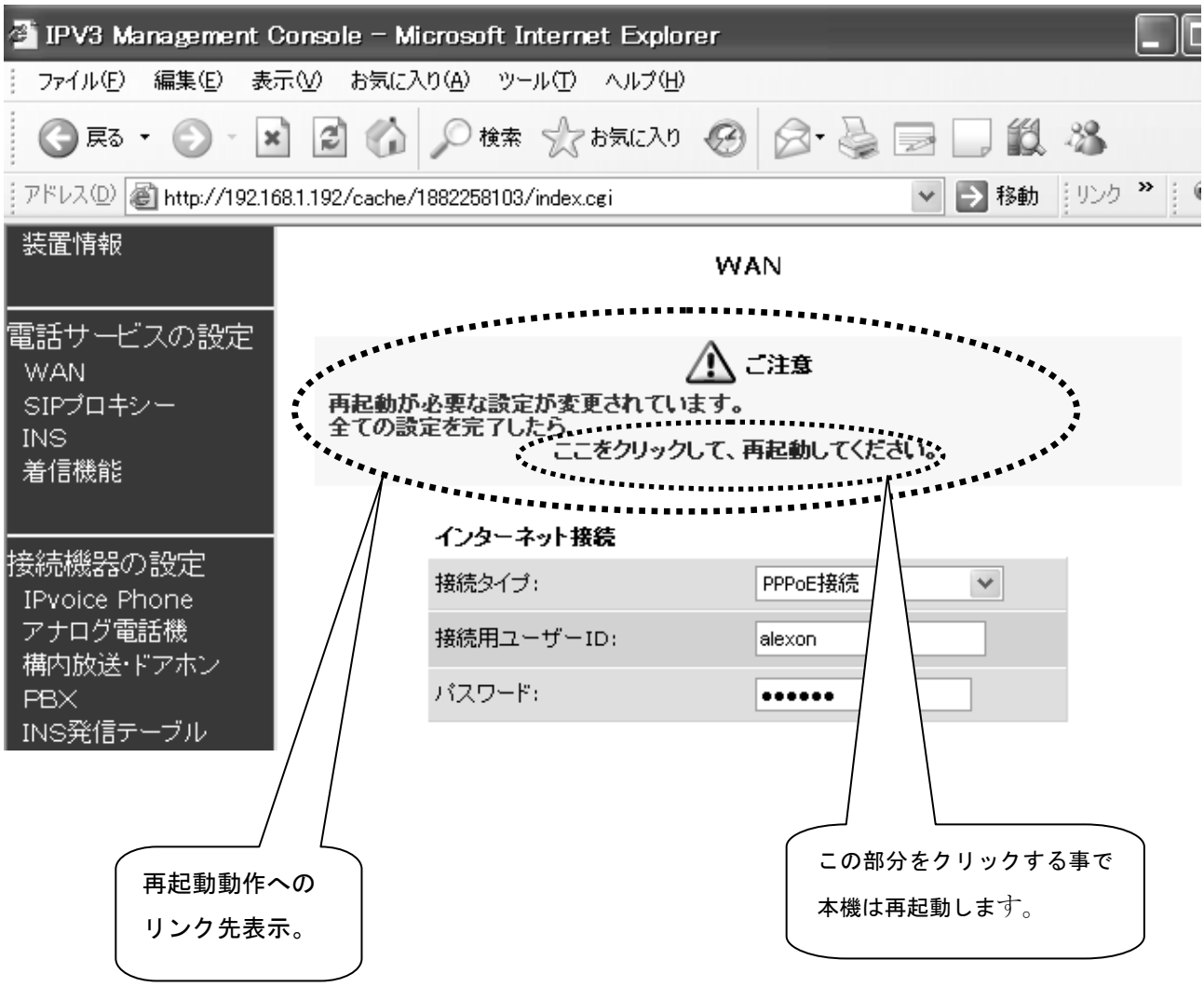
2．操作メニューの「電話サービスの設定」から「WAN」をクリックします。
「インターネット接続」の接続タイプ選択画面が表示されます。プルダウンメニューで「PPPoE 接続」を選択します。



3．「インターネット接続」画面で「接続用ユーザーID」、「パスワード」を入力し、設定ボタンをクリックします。（契約書をご用意の上、半角文字で英数字・記号・大文字・小文字の違いをよくご確認ください。）



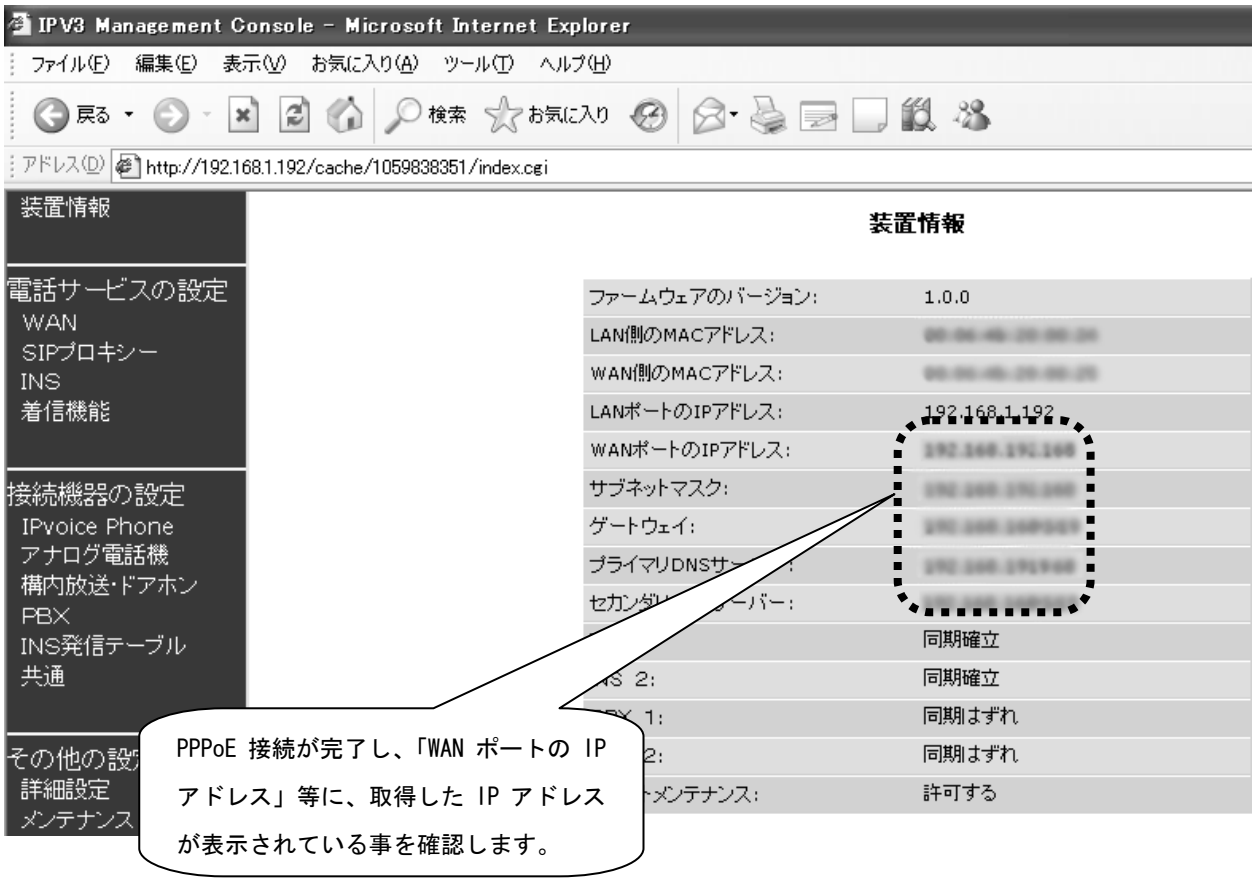
「設定」ボタンをクリックすると、設定画面上に再起動動作へのリンク先が表示されます。この表示は、本機設定項目の中で再起動が必要となる項目が変更された場合に表示され、以後再起動動作を行うまで、すべての設定画面上に表示されます。本書の手順では、すべての設定完了後に、本機の再起動を行いますので、ここでは再起動動作をせずに、以降の設定を継続して行います。



ご注意

- ●初期導入設定時以降（お客様で運用中）に設定変更を行った際、上記の再起動動作へのリンク先が表示された場合は、必ず本機の再起動を行ってください。
- ●本機の再起動を行うと、通話中の呼やパソコンでの通信が切断されます。通話中及び通信中で無い事をご確認の上、再起動を行ってください。

4． 操作メニューの「装置情報」をクリックし、装置情報画面で、PPPoE接続が完了し、取得した IP アドレス等が表示されていることを確認します。

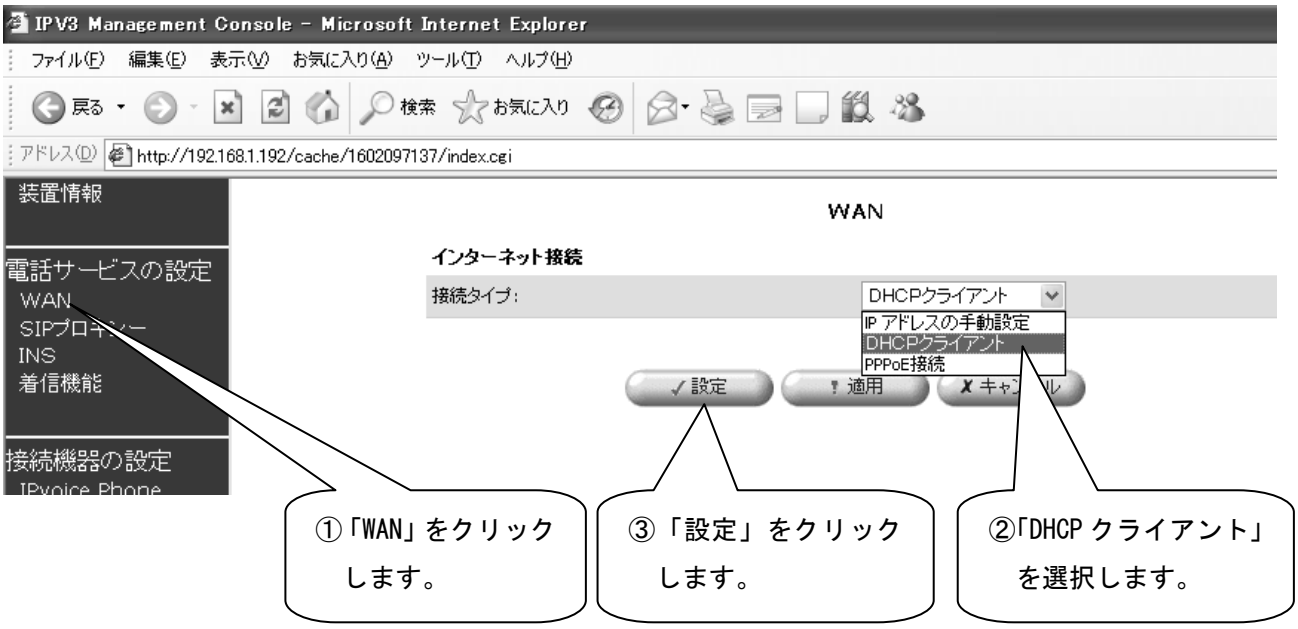


※数分が経過しても、IPアドレスが表示されない状態であれば、PPPoEの設定に間違いがある事が考えられます。
操作メニューの「電話サービスの設定」から「WAN」をクリックし、設定内容をご確認してください。

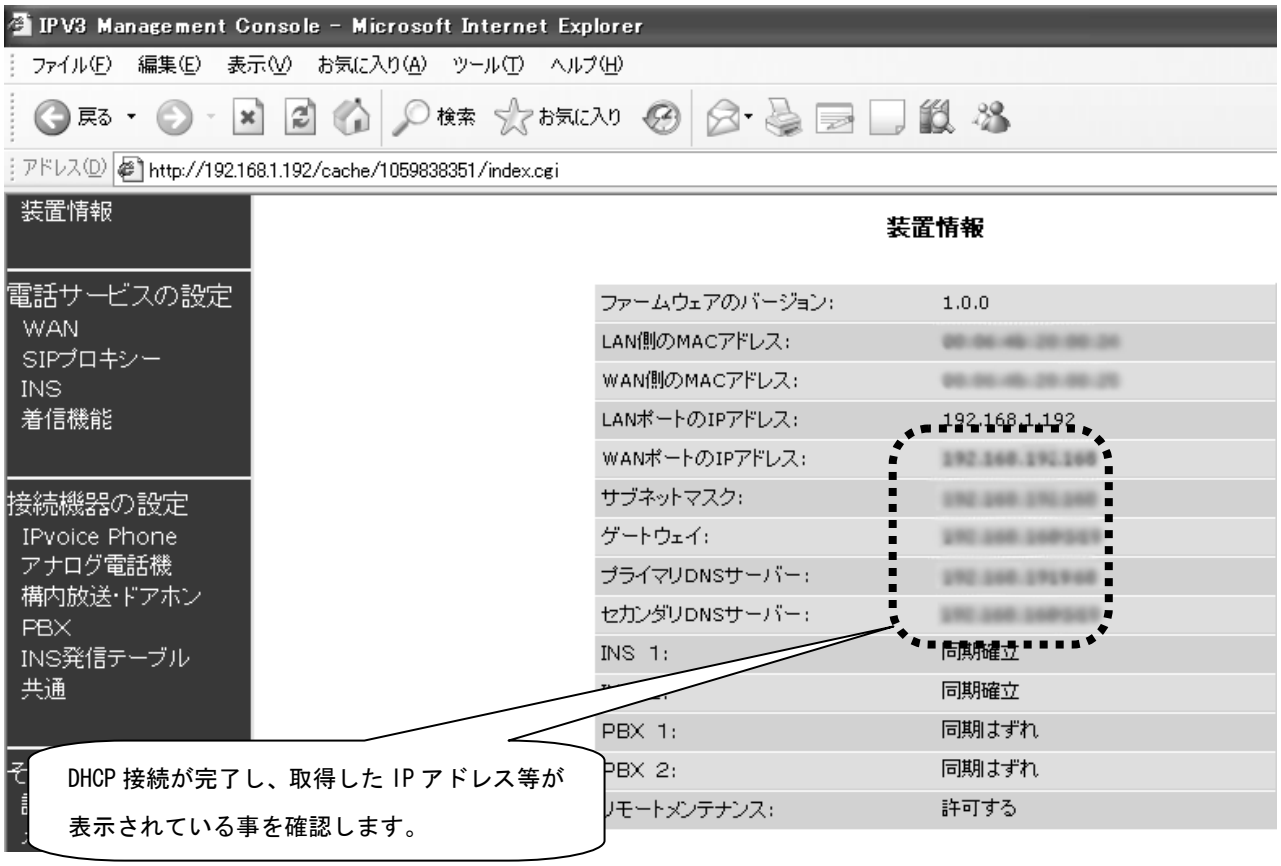
9.4.2　DHCP クライアントの設定例

1．本機のWANランプが点灯していることをご確認ください。WANランプが消灯の場合、ONU等と正常に接続できていない可能性があります。接続をご確認ください。

2．操作メニューの「電話サービスの設定」から「WAN」をクリックします。
「インターネット接続」の接続タイプ選択画面が表示されます。プルダウンメニューで「DHCP クライアント」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。



設定ボタンをクリックすると「装置情報」画面が表示されますので「WANポートのIPアドレス」にDHCP接続が完了し、取得したIPアドレス等が表示されるまでお待ちください。



9.5 SIPプロキシーの登録

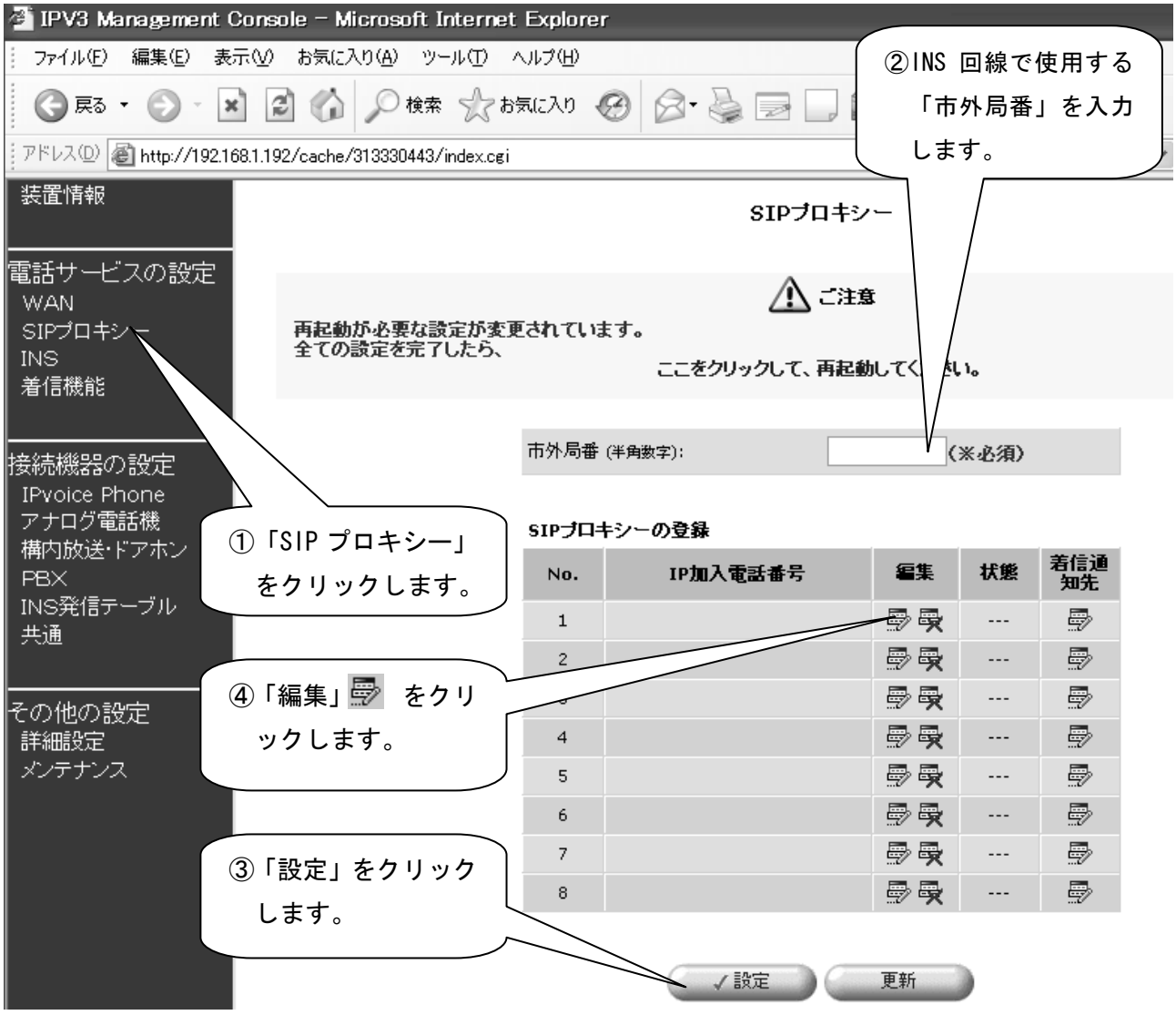
9.5.1　SIP プロキシーの設定

本機のPPPoE接続が“接続済”である事をご確認ください。“未接続”の場合は、「9.4　WANの設定」からご確認ください。（装置情報画面のWANポートのIPアドレス取得を確認：P52参照）

1．操作メニューの「電話サービスの設定」から「SIPプロキシー」をクリックします。「SIPプロキシー」設定画面が表示されます。

2．お客様がINS回線で使用する「市外局番」を入力し、設定ボタンをクリックします。

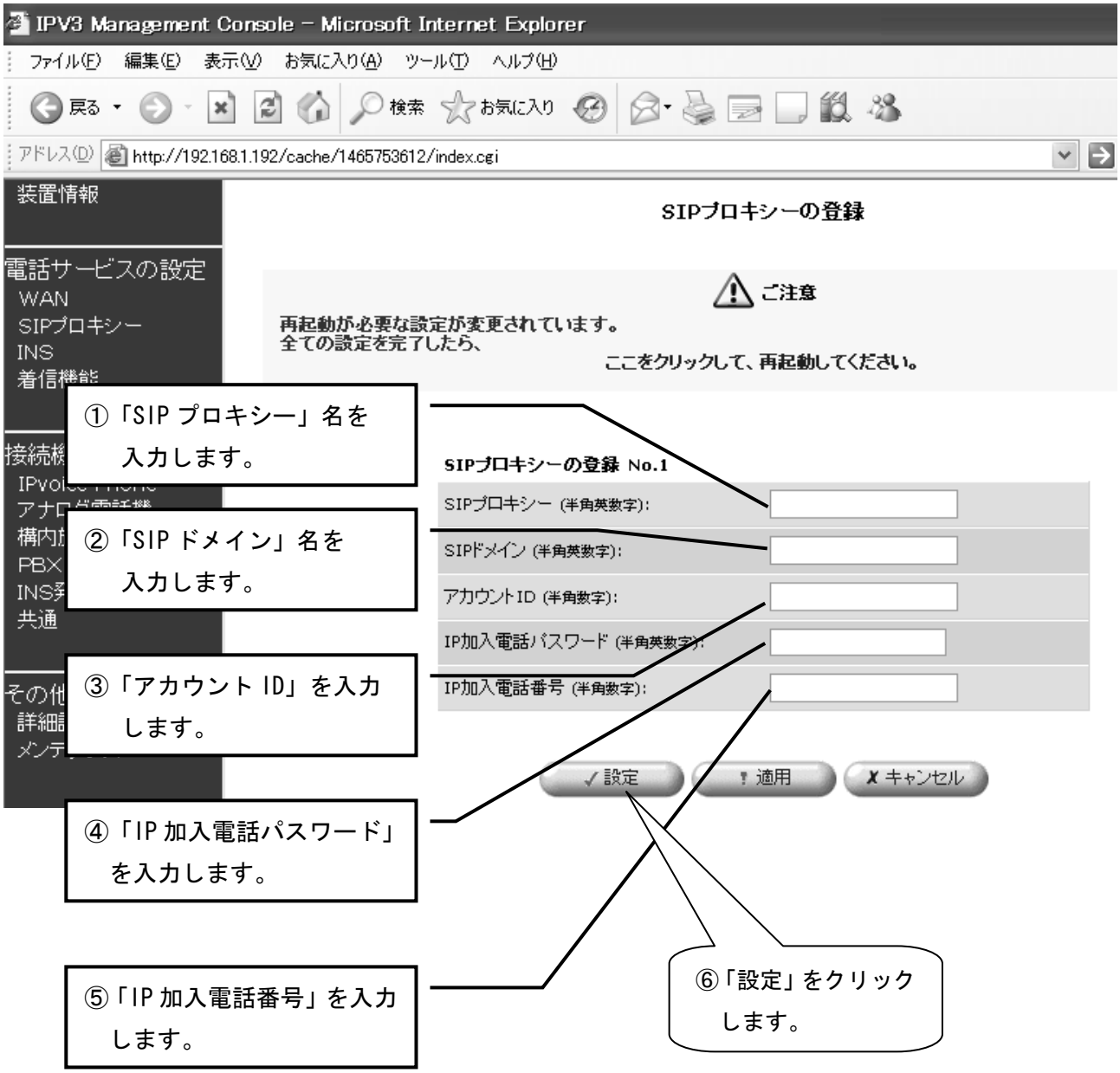
3．市外局番の設定が完了しましたら、お客様のご契約内容に合わせ、IP加入電話番号1から8(最大)までを登録します。個別に各No.（回線番号）の「編集」マーク をクリックします。



ご注意

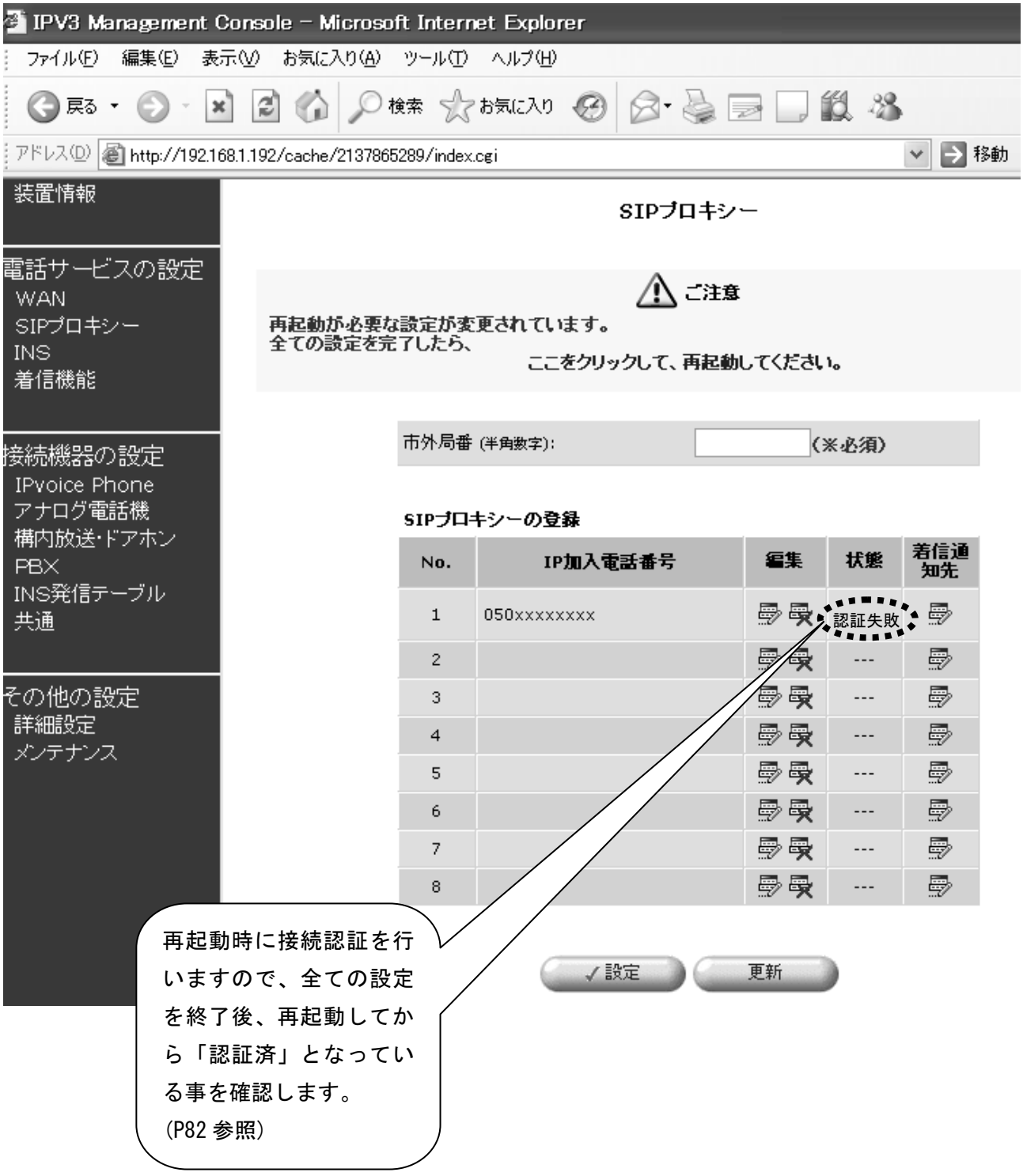
- ●市外局番は変更されることがありますので、その都度変更をお願いします。
- ●IP 加入電話番号 1 から順番に登録します。
- ●IP 加入番号 2 から 8 までは、IP 電話の契約に順じて設定します。
- ●設定時には、IP 電話サービスプロバイダーからの＜お申し込み内容のご案内＞をご用意の上、半角文字で英数字・記号・大文字・小文字の違いをよくご確認ください。

4. 下記のSIPプロキシーの登録画面が表示されますので、ご契約内容に合わせ設定してください。
全ての入力が終わりましたら、「設定」ボタンをクリックしてください。



項　目	内　容
SIP プロキシー	「SIP プロキシー」名を入力します。　設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
SIP ドメイン	「SIP ドメイン」名を入力します。　設定例　fusion.sip.0038.net
アカウント ID	「アカウント ID」を入力します。
IP 加入電話パスワード	「IP 加入電話パスワード」を入力します。
IP 加入電話番号	「IP 加入電話番号」を入力します。　設定例　050xxxxxxxx 電話番号の間にスペースや記号を入力しないでください。

５．「設定」ボタンをクリックすると「SIPプロキシー」設定画面に戻りますので、他にSIPプロキシーの登録がある場合は、ご契約されているすべての回線登録を前述の手順で行ってください。



9.5.2　IP 加入電話番号（IP 電話回線）での着信通知先設定

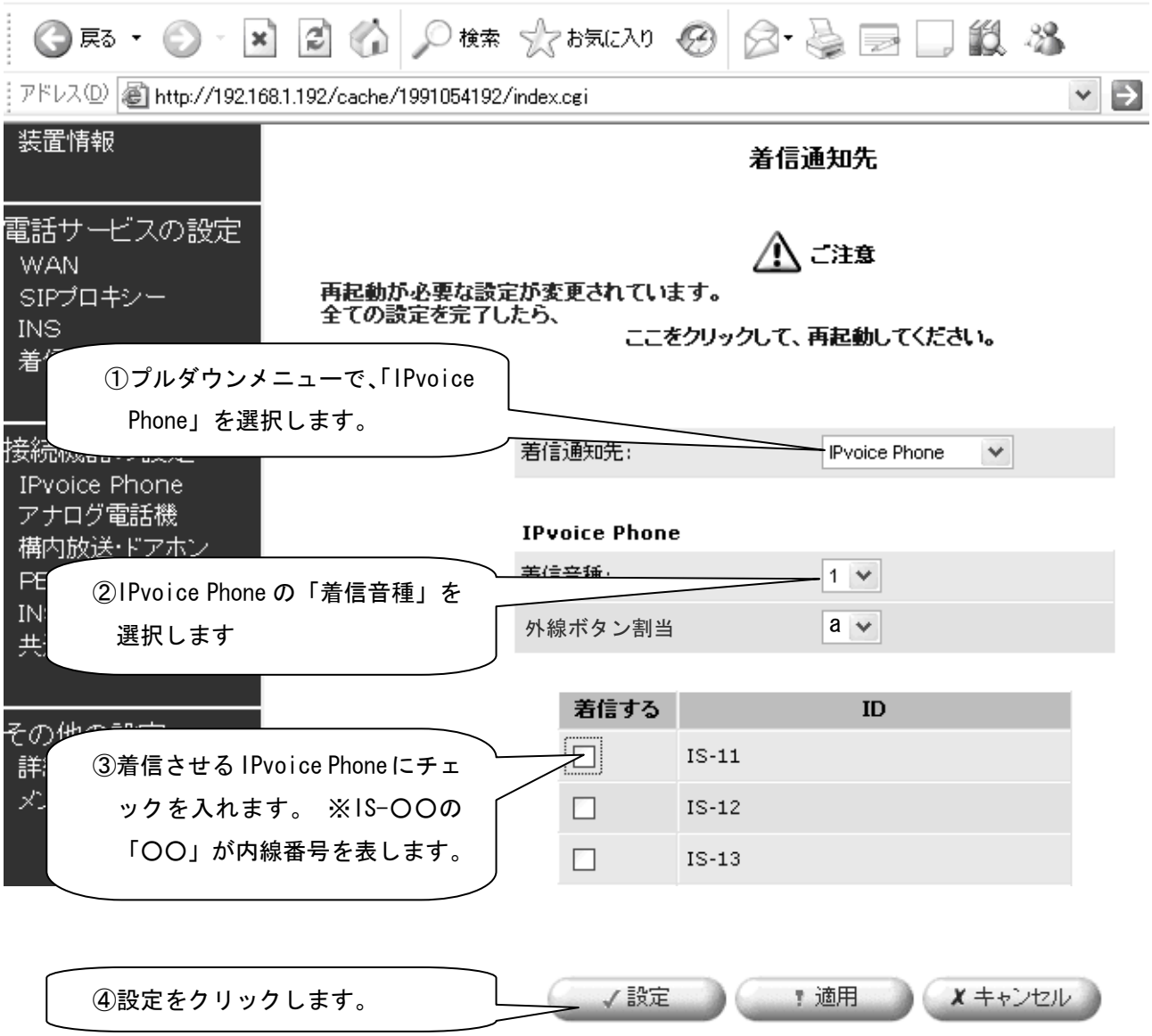
1．登録した「IP加入電話番号」での「着信通知先（着信端末）」を設定します。
設定する IP 加入電話番号の「着信通知先」の編集マーク をクリックします。

着信通知先	PBX	空き （PBX1 より）	PBX1 ポートの空きチャネルから順に着信通知します。 (PBX1 空きチャネル　→　PBX2 空きチャネル)　(P59 参照)
		PBX1	PBX1 ポートに着信通知します。(PBX1 固定)　(P59 参照)
		PBX2	PBX2 ポートに着信通知します。(PBX2 固定)　(P59 参照)
	IPvoice Phone		選択設定された IPvoice Phone に着信通知します。　(P58 参照)
	アナログ電話機		TEL ポートに着信通知します。　(P60 参照)

「着信通知先」への設定は、上記の接続機器が可能です。以降にそれぞれ場合の詳細を記します。

２．着信通知先の設定画面が表示されますので、設定画面に従って選択したIP加入電話番号での「着信通知先（着信端末）」を設定してください。

①着信通知先に「IPvoice Phone」を設定する場合



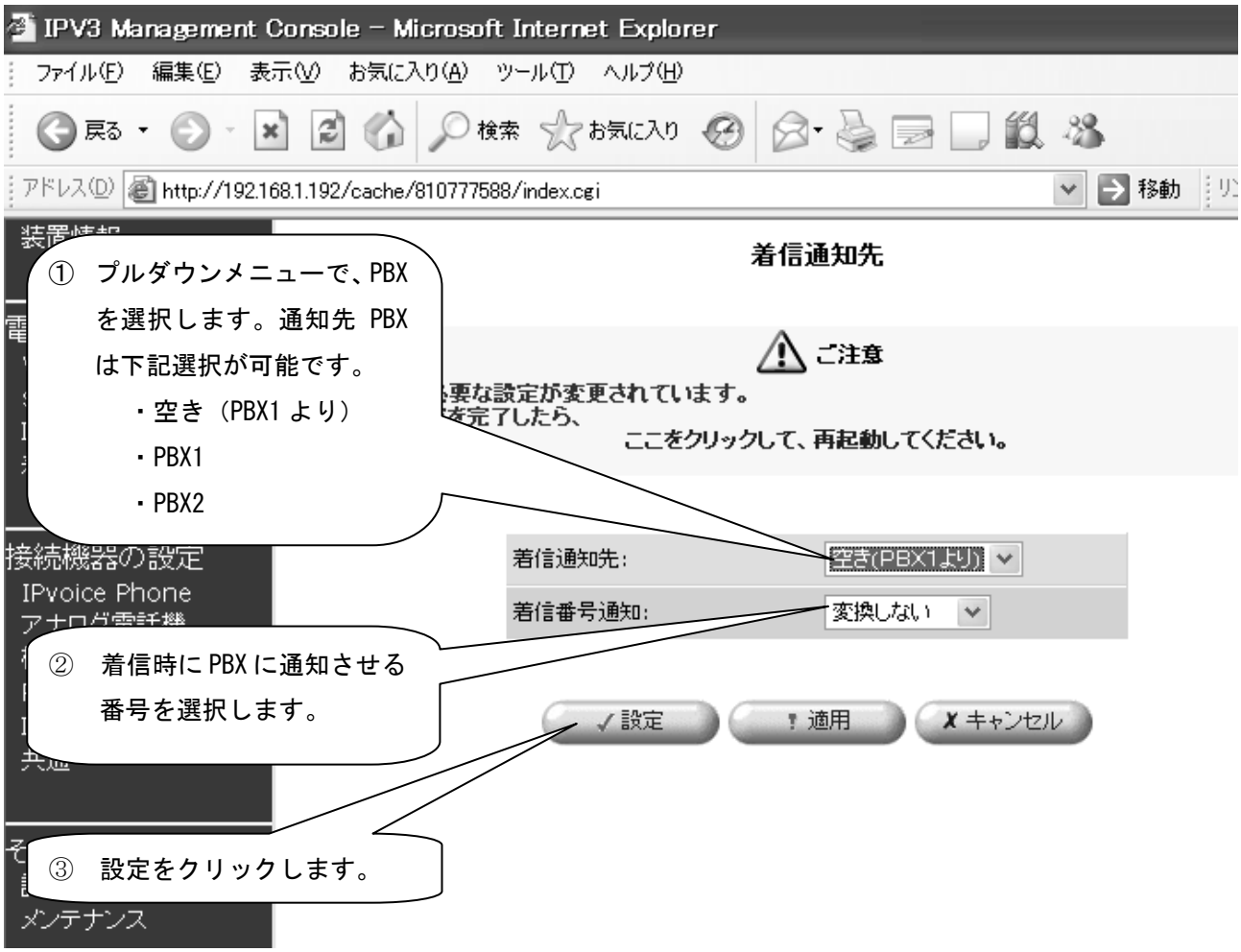
ワンポイント

●着信音種に関して
着信音種の設定は「0」が無鳴動となっています。（内線からの着信時には IPvoice Phone のランプのみ点滅します。）「１～4」の設定で４種類の着信音種選択ができます。「5～8」の設定では、「１～4」の設定音種（着信パターン）と同じですが、鳴動音を高く設定する事ができます。

ご注意

●上記の設定項目中「外線ボタン割当」は変更しないでください。変更されますと、自動設定で行った運用が行えなくなります。

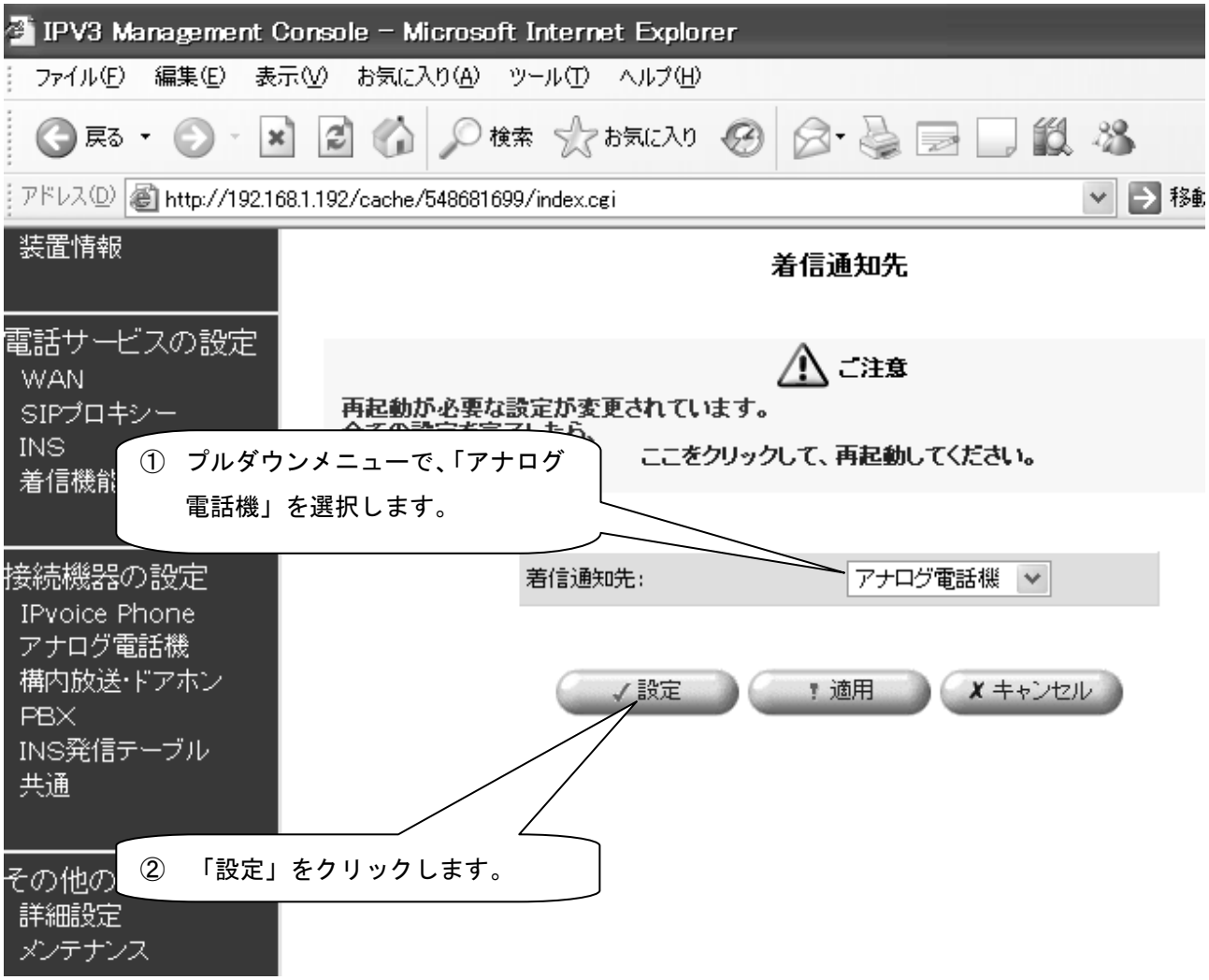
②着信通知先に「PBX（既存ビジネスホン)」を設定する場合



「着信番号通知」は下記の選択が可能です。運用形態に合わせ設定してください。

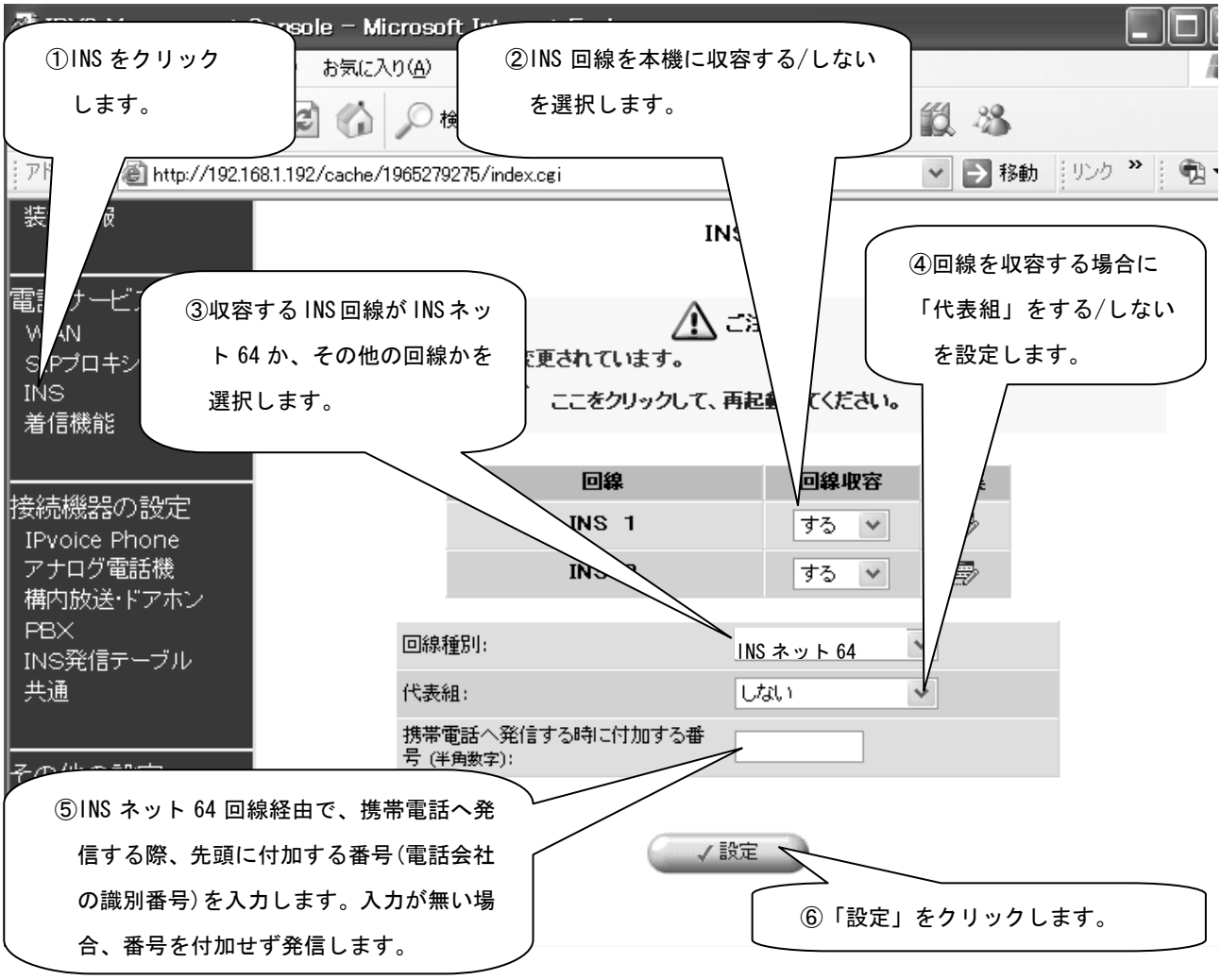
着信番号通知	変換しない	IP 加入電話番号(050 番号)がそのまま通知されます。
	契約者番号	契約者番号として通知されます。(グローバル着信)
	ダイヤルイン	設定されたダイヤルイン番号で通知されます。
	i・ナンバー1	i・ナンバー1 として通知されます。
	i・ナンバー2	i・ナンバー2 として通知されます。
	i・ナンバー3	i・ナンバー3 として通知されます。

③着信通知先に「アナログ電話機」を設定する場合



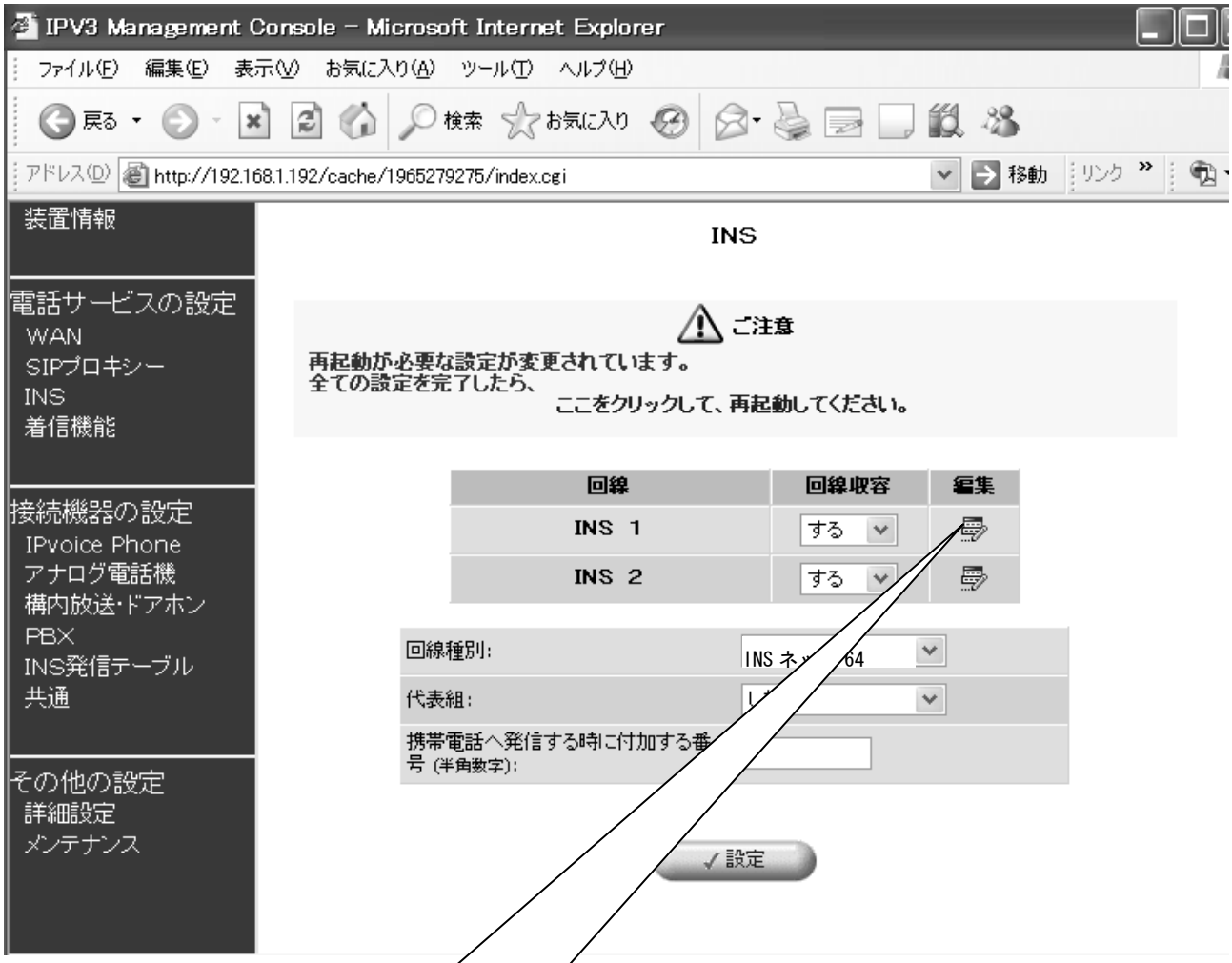
9.6　ＩＮＳの設定

1．操作メニューの「電話サービスの設定」から「INS」をクリックします。「INS」設定画面が表示されますので、運用形態に合わせ設定してください。



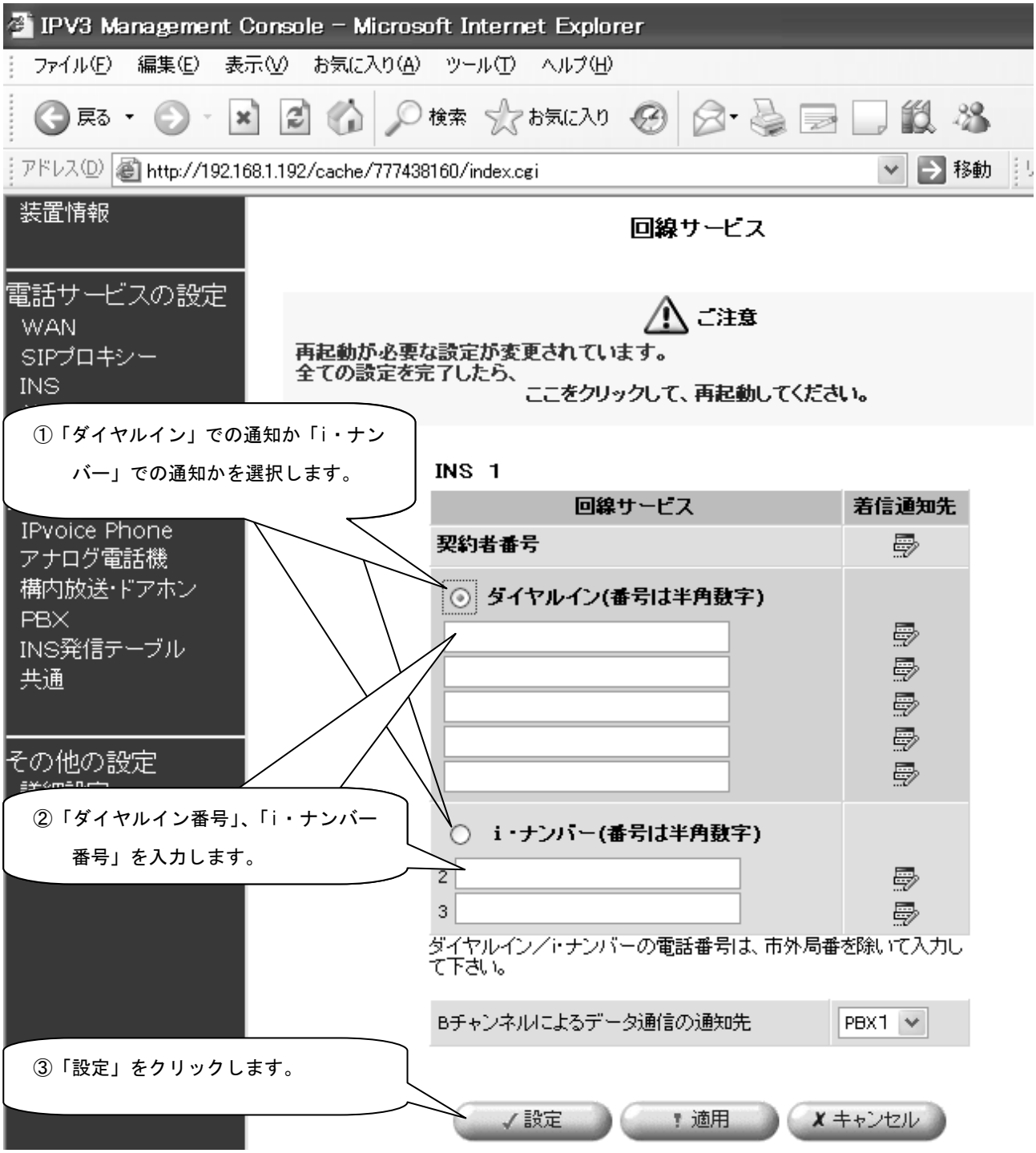
「携帯電話へ発信する時に付加する番号」		
携帯電話へ発信する際に付加する番号	接続機器から INS ネット 64 回線経由で携帯電話へ発信する際に、ここで入力した番号を電話会社の識別番号として先頭に付加します。これにより、INS ネット 64 回線経由で携帯電話への通話料を節減できます。(INS ネット 64 回線が収容されている場合のみ)	
「代表組」		
代表組	しない	収容 INS 回線で代表組を利用しない場合に選択します。
	する (IPvoice Phone)	収容 INS 回線で代表組を利用する場合に選択します。INS 回線からの着信動作は契約回線番号を通知し、着信通知先 (P64 参照) で設定された IPvoice Phone のグループに着信を通知します。
	する (ISDN・PBX)	収容 INS 回線で代表組を利用する場合に選択します。INS 回線からの着信動作は契約回線番号を通知し、着信通知先(P64 参照)で設定された PBX に着信を通知します。(INS1、INS2 又は空き(PBX1 より))
「回線種別」		
回線種別	INS ネット 64	INS ネット 64 回線を収容する場合に選択します。
	その他の回線	ひかり電話オフィスタイプの VoIP アダプター等、INS ネット 64 以外の回線 (機器) を収容する場合に選択します。

２．次に、収容ＩＮＳ回線での回線サービスを設定します。



INS 設定画面で、設定する回線の編集マーク をクリックします。

３．下記の回線サービス設定画面が表示されますので、「契約者番号での通知」、「ダイヤルイン番号での通知」、「ｉ・ナンバーでの通知」を運用形態に合わせ選択設定します。



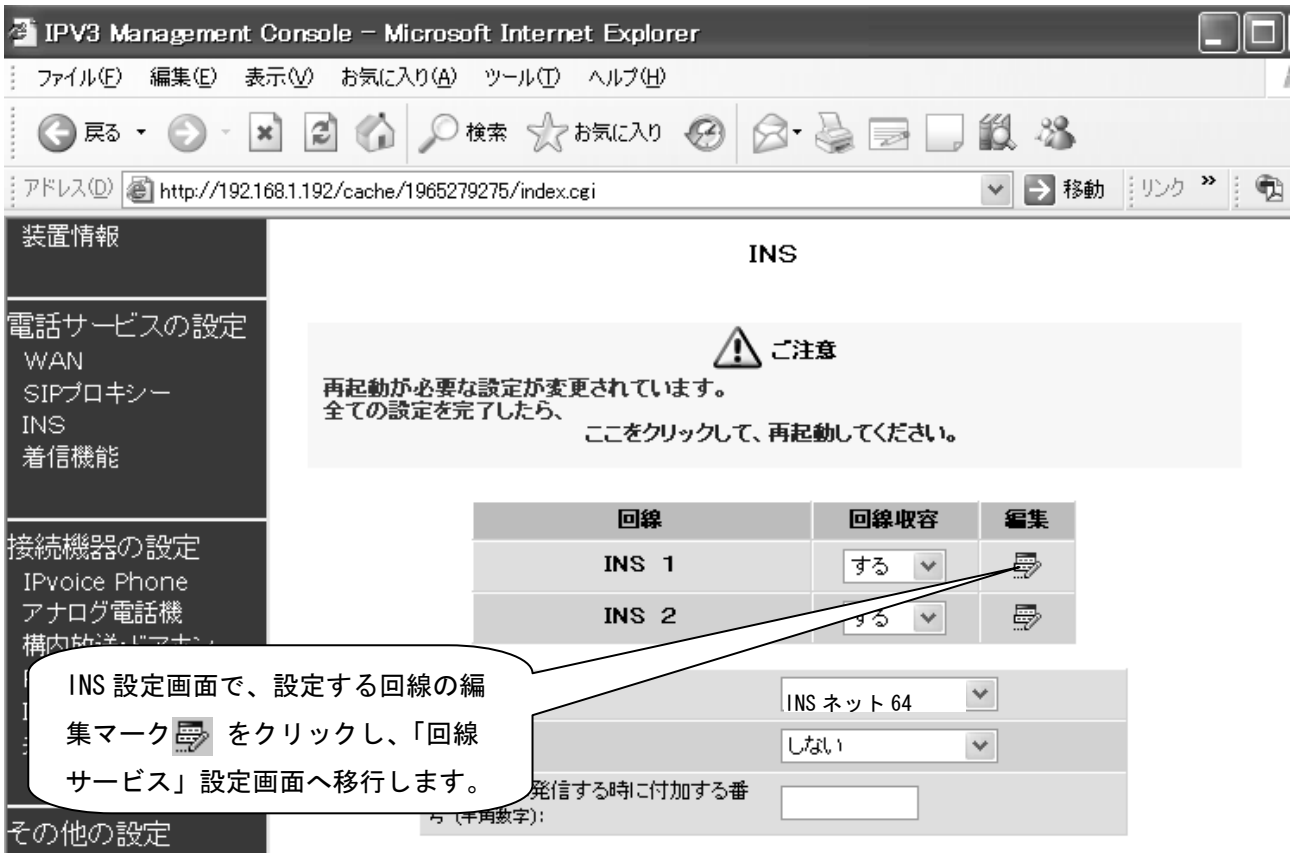
「着信通知先」に通知する番号は下記の選択が可能です。運用形態に合わせ設定してください。

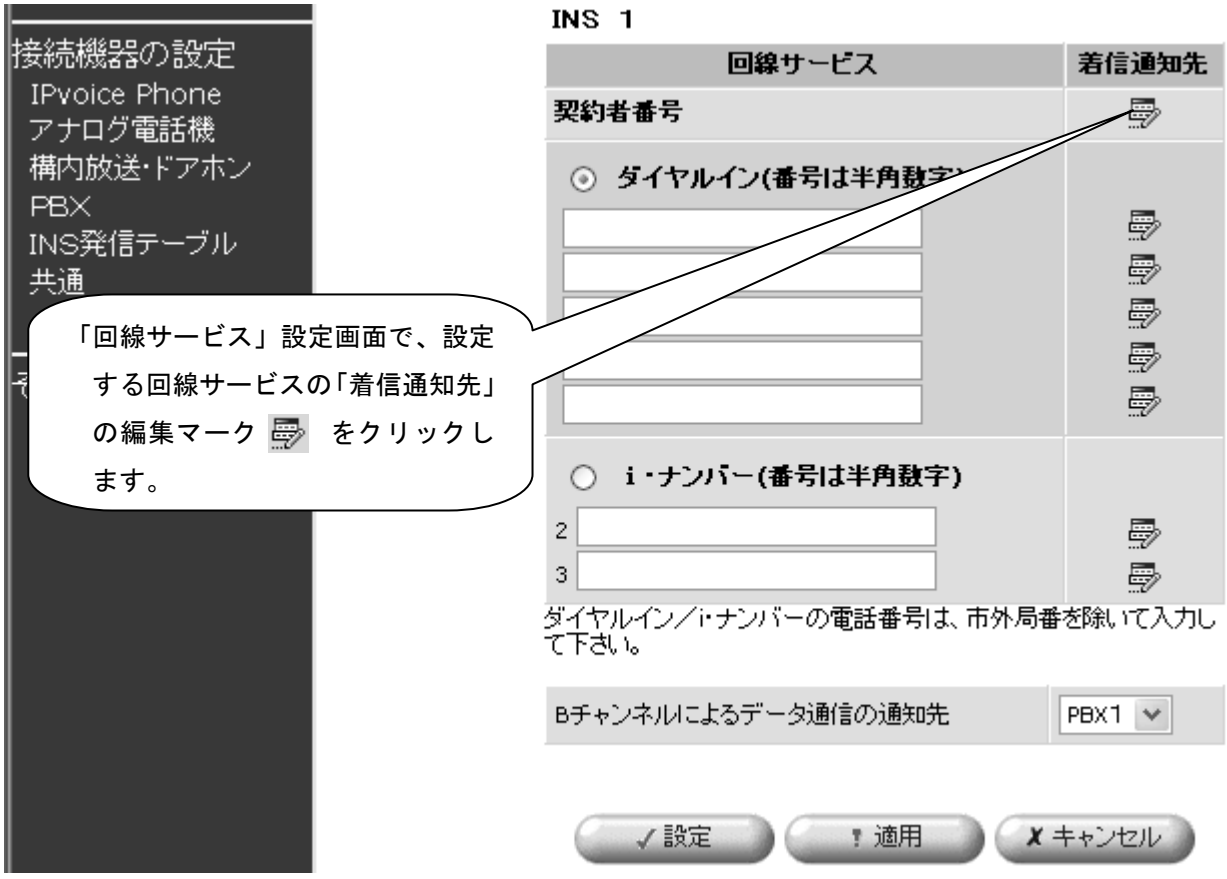
着信番号通知	契約者番号	契約者番号として通知されます。
	ダイヤルイン	設定されたダイヤルイン番号で通知されます。
	ｉ・ナンバー	設定されたｉ・ナンバー番号で通知されます。

※ダイヤルイン、ｉナンバーともに番号設定が無い場合は、契約者番号として通知されます。

4．「設定」ボタンをクリックすると、「INS」設定画面に戻ります。（INS2 側も必要に応じて、同手順で回線サービスの設定を行ってください。）

次に、設定した各回線サービスでの「着信通知先」を設定します。





５．下記の着信通知先設定画面が表示されますので、運用形態に合わせ「9.5.2　IP 加入電話番号での着信通知先の設定」で行った手順で、着信通知先（着信端末）を設定してください。(P57～60 参照)

※「着信通知先」の設定は、ご使用する回線サービス毎に設定してください。

ワンポイント

（着信通知先に IPvoice Phone を選択した場合）

●着信音種に関して
着信音種の設定は「0」が無鳴動となっています。（内線からの着信時には IPvoice Phone のランプのみ点滅します。）「１～4」の設定で４種類の着信音種選択ができます。「5～8」の設定では、「１～4」の設定音種（着信パターン）と同じですが、鳴動音を高く設定する事ができます。

ご注意

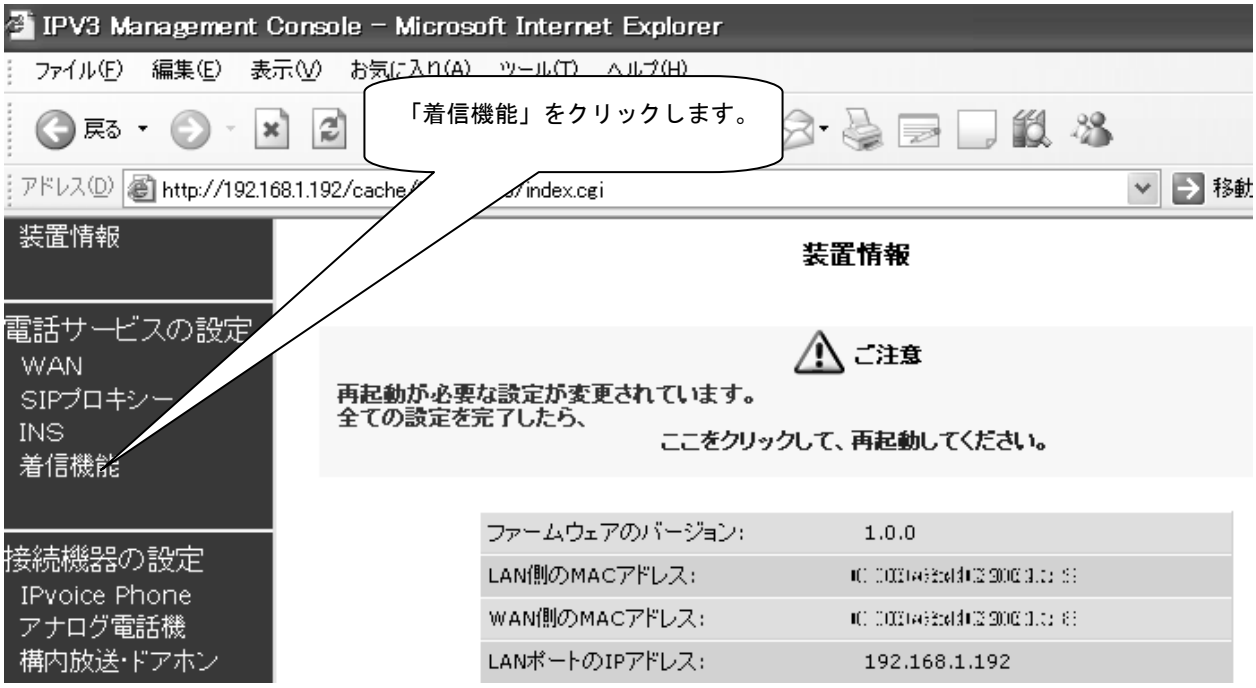
（着信通知先に IPvoice Phone を選択した場合）

●上記の設定項目中「外線ボタン割当」は変更しないでください。変更されますと、自動設定で行った運用が行えなくなります。

9.7 着信機能の設定

IP 回線及び INS 回線からの着信に関する設定を行います。

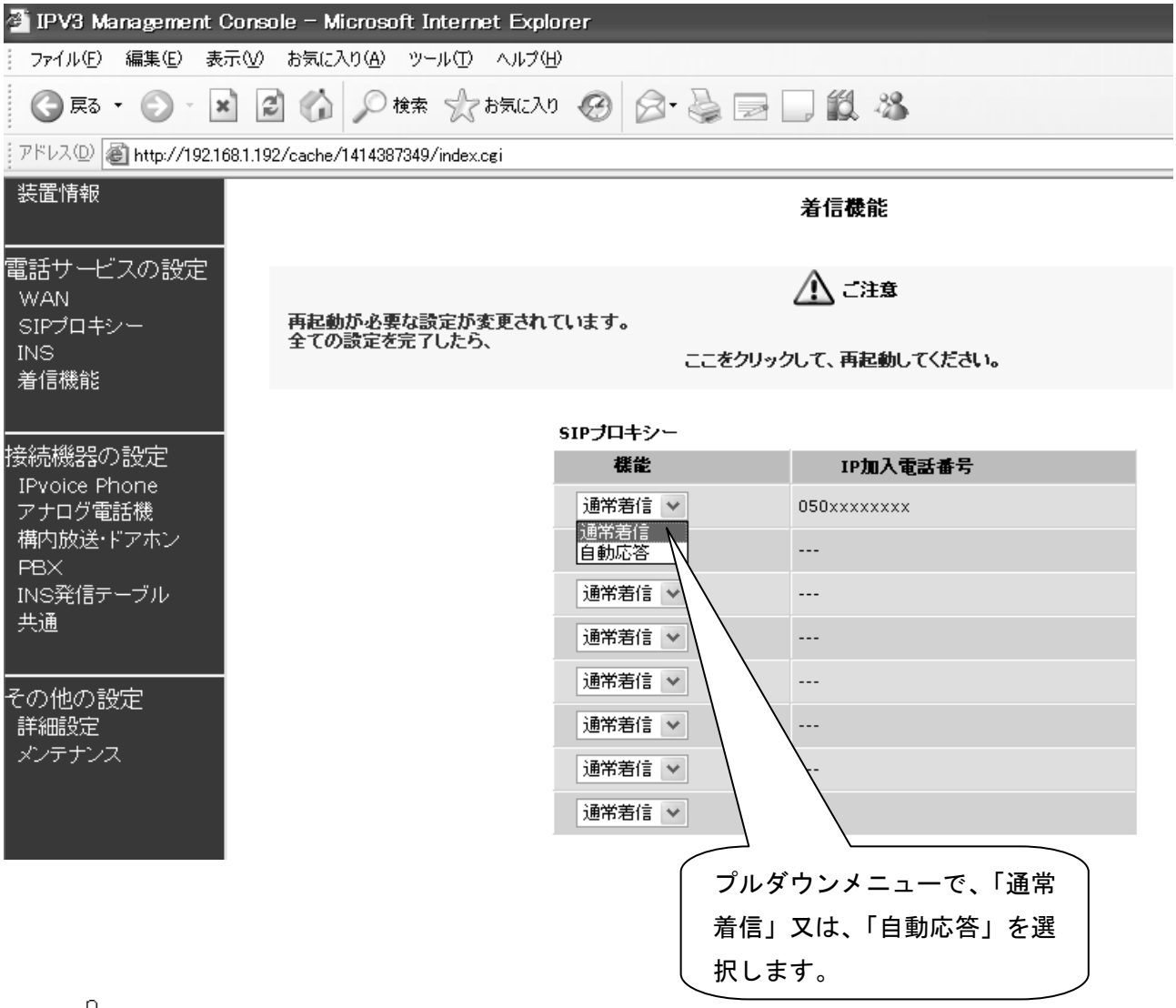
操作メニューの「電話サービスの設定」から「着信機能」をクリックします。



下記の着信機能設定画面が表示されます。SIP プロキシーで登録した各 IP 加入電話番号(IP 電話回線)からの着信及び INS1、2(収容 INS 回線)からの着信について運用方法を設定します。

9.7.1　IP 電話回線からの着信に関する設定

SIP プロキシーの登録で設定した IP 加入電話番号からの着信を、通常着信（「着信通知先」に設定した端末に着信させる）又は、自動応答（本機内蔵の音声メッセージによる自動応答）に設定する事ができます。



ワンポイント

●自動応答機能

本機は業務時間外アナウンス等の使用を目的に自動音声応答機能を有しています。工場出荷時には、以下の音声メッセージが登録されています。

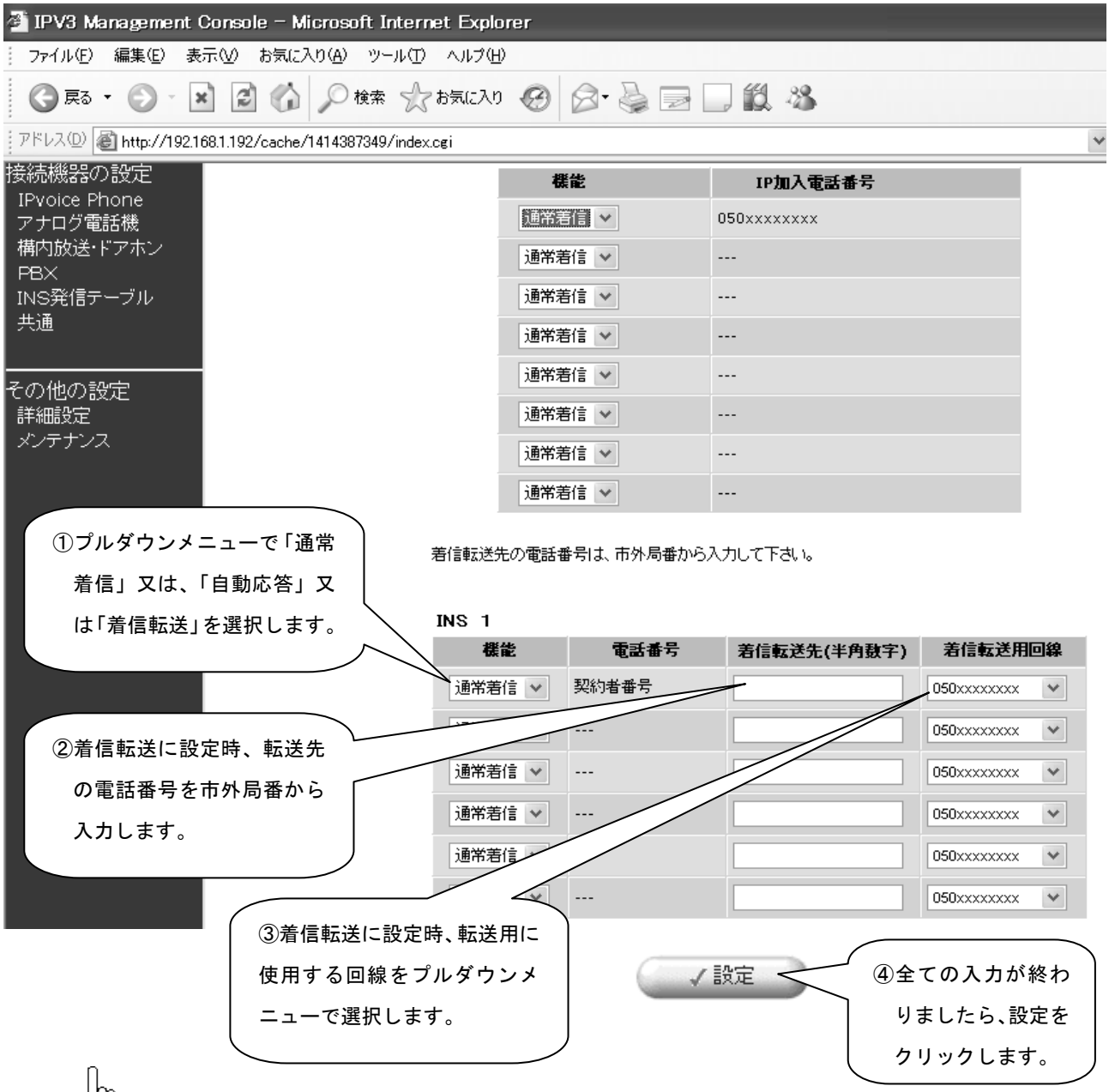
「お電話有難うございます。本日の業務は終了致しました。
またお掛け直しくださいますようお願い致します。」

音声メッセージは、Windows（サウンドレコーダー）が搭載されたパソコンにより、お客様が簡単に作成する事ができます。作成した音声メッセージは、Web 設定画面の「その他の設定」から、工場出荷時のメッセージと置き換える事ができます。

詳しくは、「11.2 内蔵メッセージと保留音の変更」（P90）をご参照ください。

9.7.2　INS 回線からの着信に関する設定

収容した INS 回線（INS1/2）らの着信を、通常着信（「着信通知先」に設定した端末に着信させる）又は、自動応答（本機内蔵の音声メッセージによる自動応答）又は、着信転送に設定する事ができます。



ワンポイント

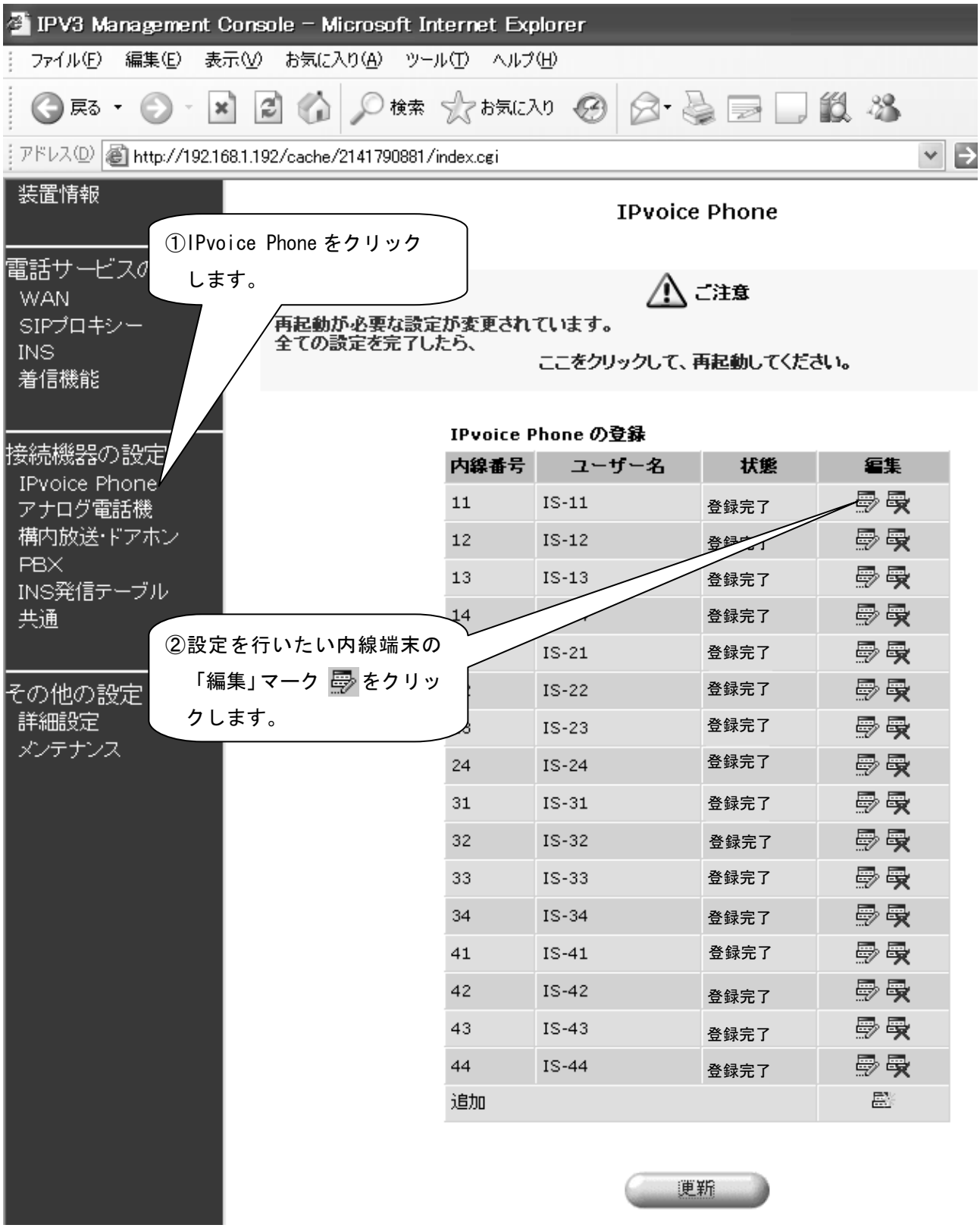
●着信転送機能
本機は収容した INS 回線からの着信を、登録した電話番号先に自動転送する機能を有しています。

●着信転送は設定により以下の転送ルートが可能です。
①収容 INS 回線（INS1 及び INS2）からの着信を、収容 INS 回線(INS1 及び INS2)の空きチャネル（INS1 の空きチャネルから順に）で転送。
②収容 INS 回線（INS 及び INS2）からの着信を、指定 IP 電話回線（FUSION IP-Phone）で転送。

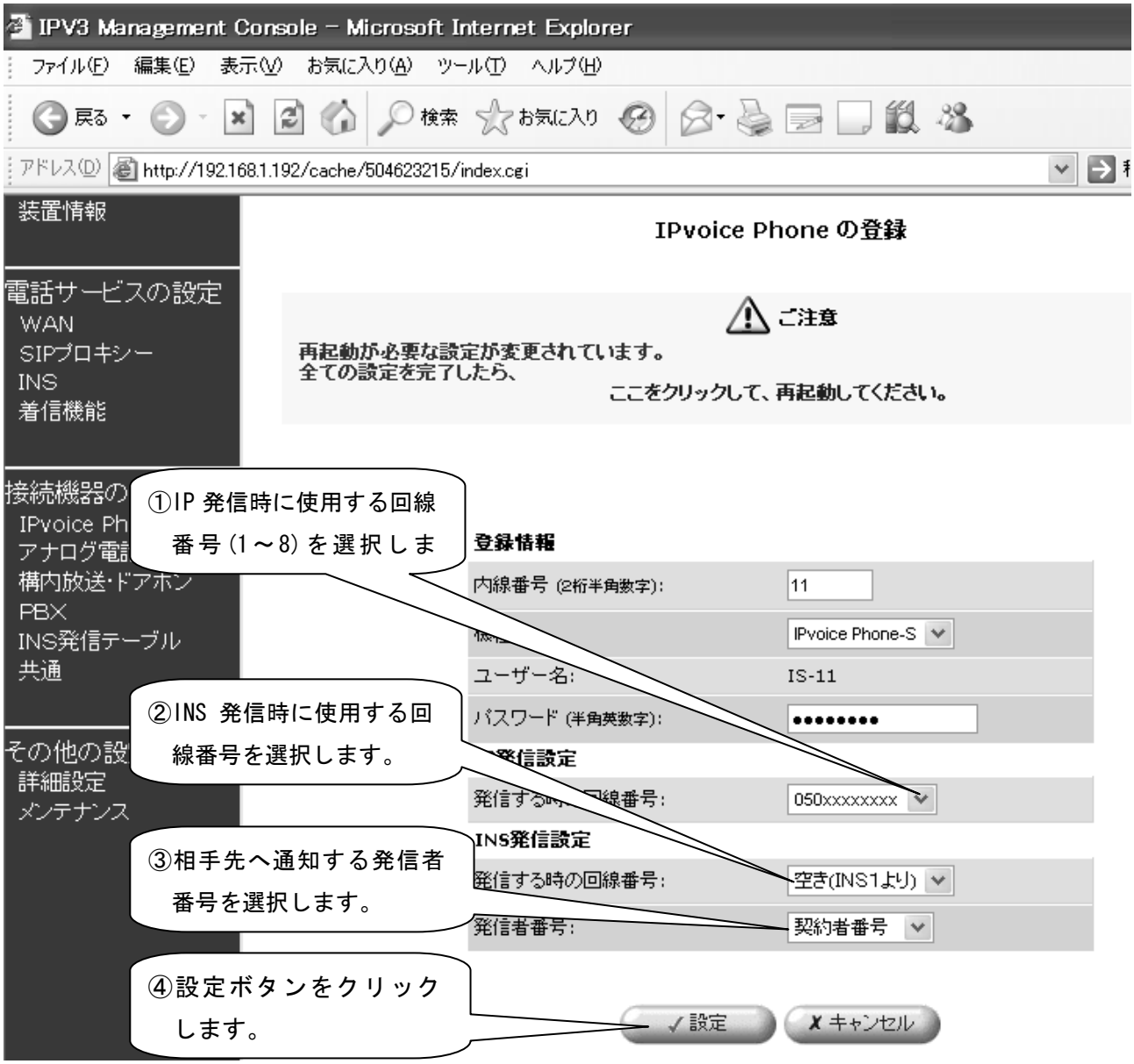
9.8 IPvoice Phoneの設定

「9.3.3　自動設定」の項で登録された IPvoice Phone の発信に関する設定を、端末毎に行います。

1．操作メニューの「接続機器の設定」から「IPvoice Phone」をクリックします。下記の「IPvoice Phone」の登録画面が表示されますので、設定を行いたい内線端末の「編集」のマーク をクリックします。



2．選択された内線番号の IPvoice Phone 登録情報画面が表示されます。
画面に従って、「IP 発信設定」、「INS 発信設定」「発信者番号」を運用形態に合わせ設定してください。



※設定ボタンをクリックすると、IPvoice Phone の登録画面に戻ります。

発信者番号	契約者番号	契約者番号として相手に通知します。
	ダイヤルイン	設定されたダイヤルイン番号で相手に通知します。
	i・ナンバー	i・ナンバー番号で相手に通知します。

ご注意

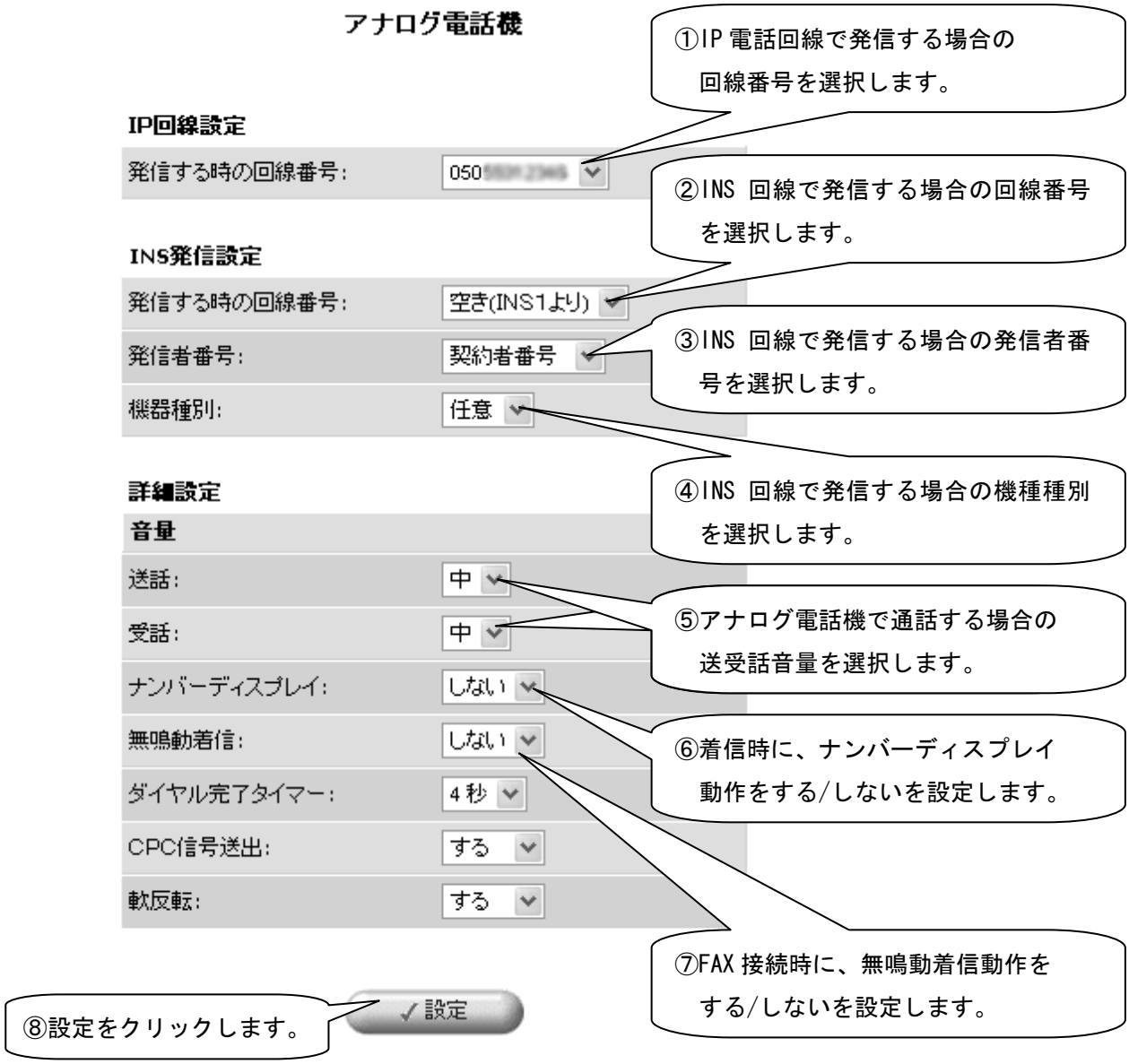
●上記の設定項目中「内線番号」「機種」「パスワード」は変更しないでください。変更されますと、自動設定で行った運用が行えなくなります。

9.9 アナログ電話機の設定

接続するアナログ端末（FAX 等）に関する設定を行います。

１．操作メニューの「接続機器の設定」から「アナログ電話機」をクリックします。

２．以下の「アナログ電話機」設定画面が表示されます。運用形態に合わせ設定してください。



発信者番号	契約者番号	契約者番号として相手に通知します。
	ダイヤルイン	設定されたダイヤルイン番号で相手に通知します。
	i・ナンバー	i・ナンバー番号で相手に通知します。

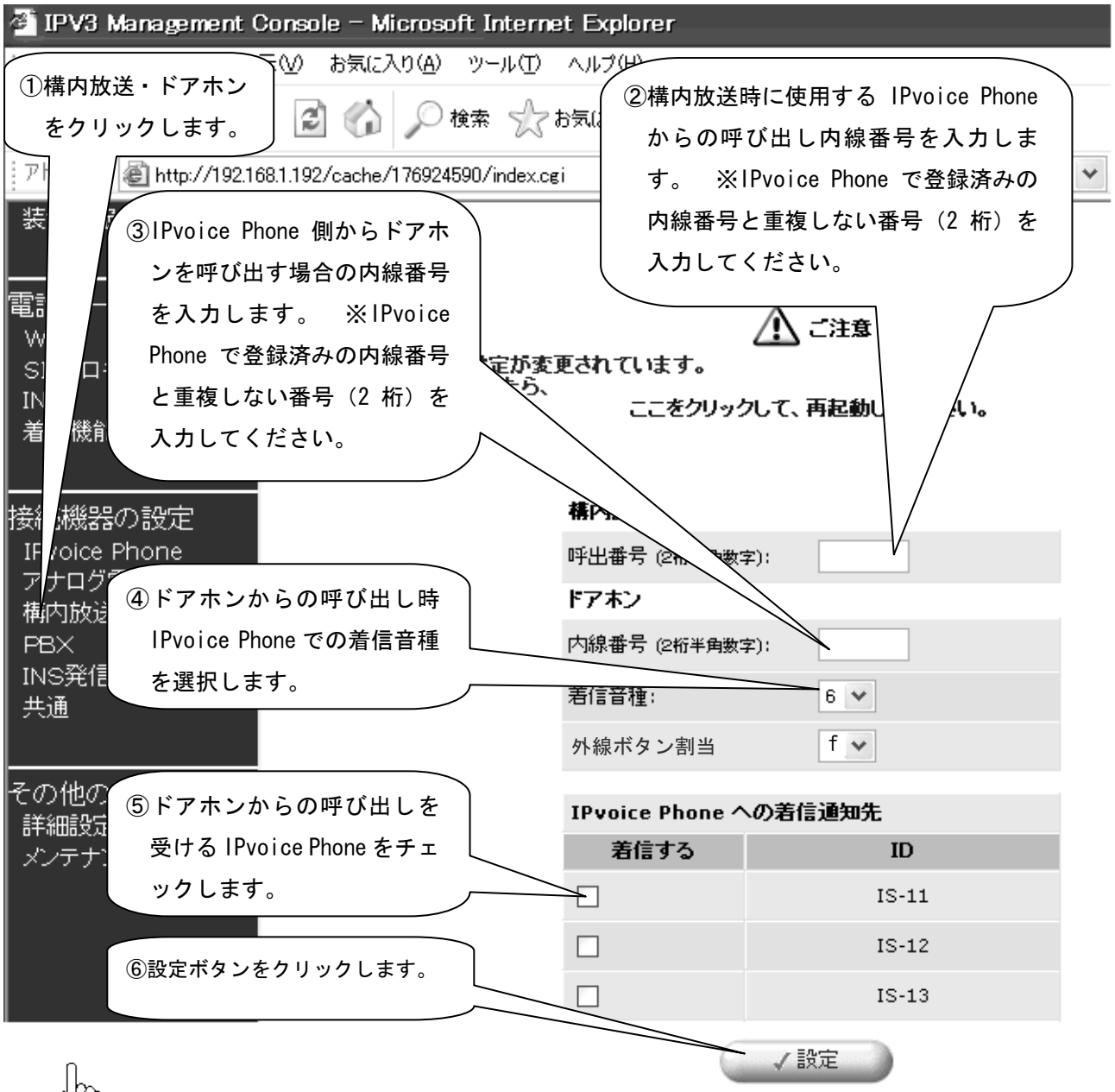
ご注意

●ナンバーディスプレイ動作は、接続された機器側もナンバーディスプレイ機能を有している必要があります。

●無鳴動着信動作は、接続された FAX 側も無鳴動着信機能を有している必要があります。

9.10 構内放送・ドアホンの設定

構内放送及びドアホン機能に関する設定を行います。操作メニューの「接続機器の設定」から「構内放送・ドアホン」をクリックします。下記の「構内放送・ドアホン」設定画面が表示されますので、運用形態に合わせ設定を行います。



ワンポイント

●着信音種に関して
着信音種の設定は「0」が無鳴動となっています。（内線からの着信時には IPvoice Phone のランプのみ点滅します。）「１～4」の設定で４種類の着信音種選択ができます。「5～8」の設定では、「１～4」の設定音種（着信パターン）と同じですが、鳴動音を高く設定する事ができます。自動設定での初期値（ドアホンから呼び出し時の着信音種）は通常の「着信通知先」とは異なる着信音種に設定されています。

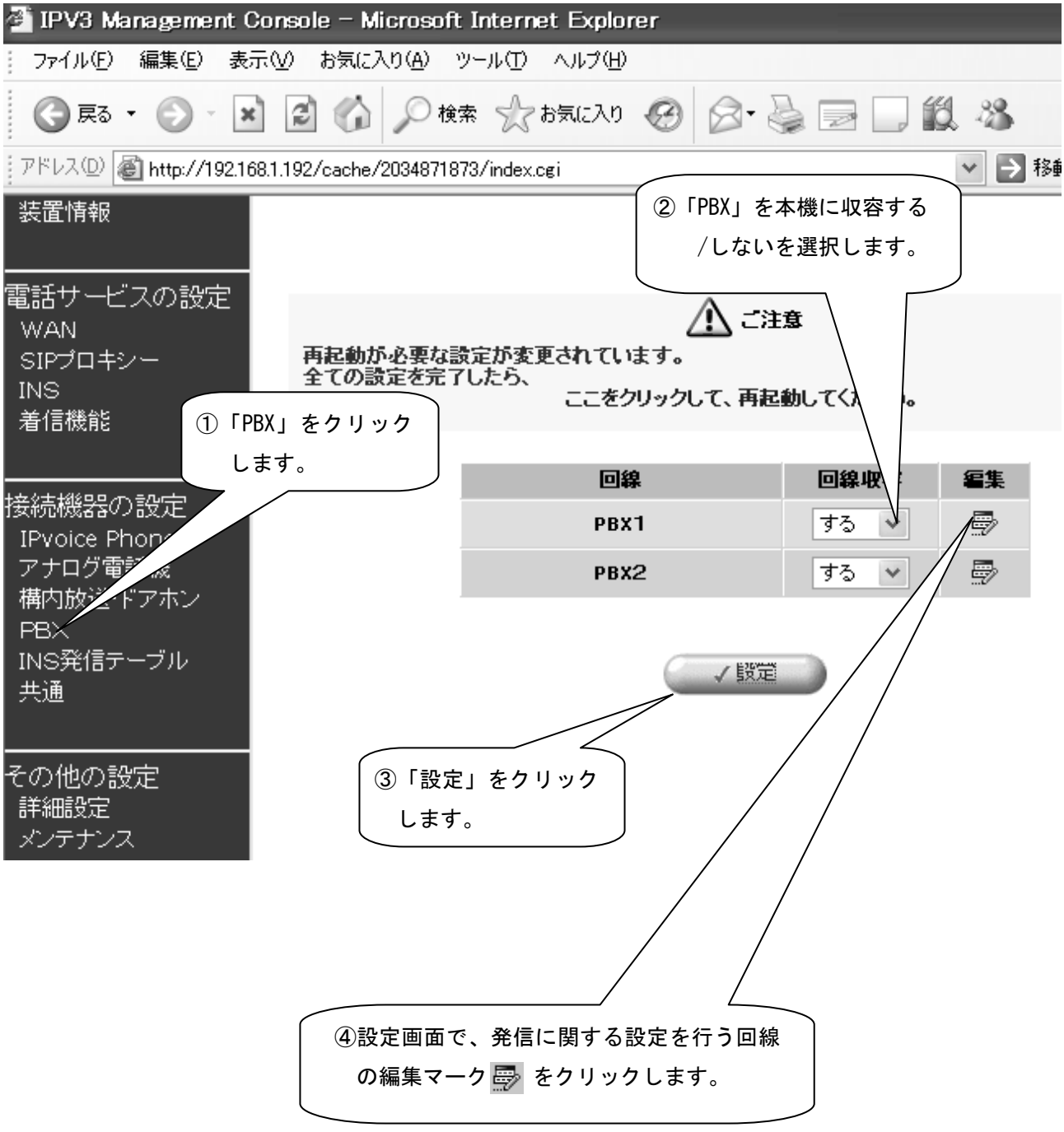
ご注意

●上記の設定項目中「外線ボタン割当」は変更しないでください。変更されますと、自動設定で行った運用が行えなくなります。

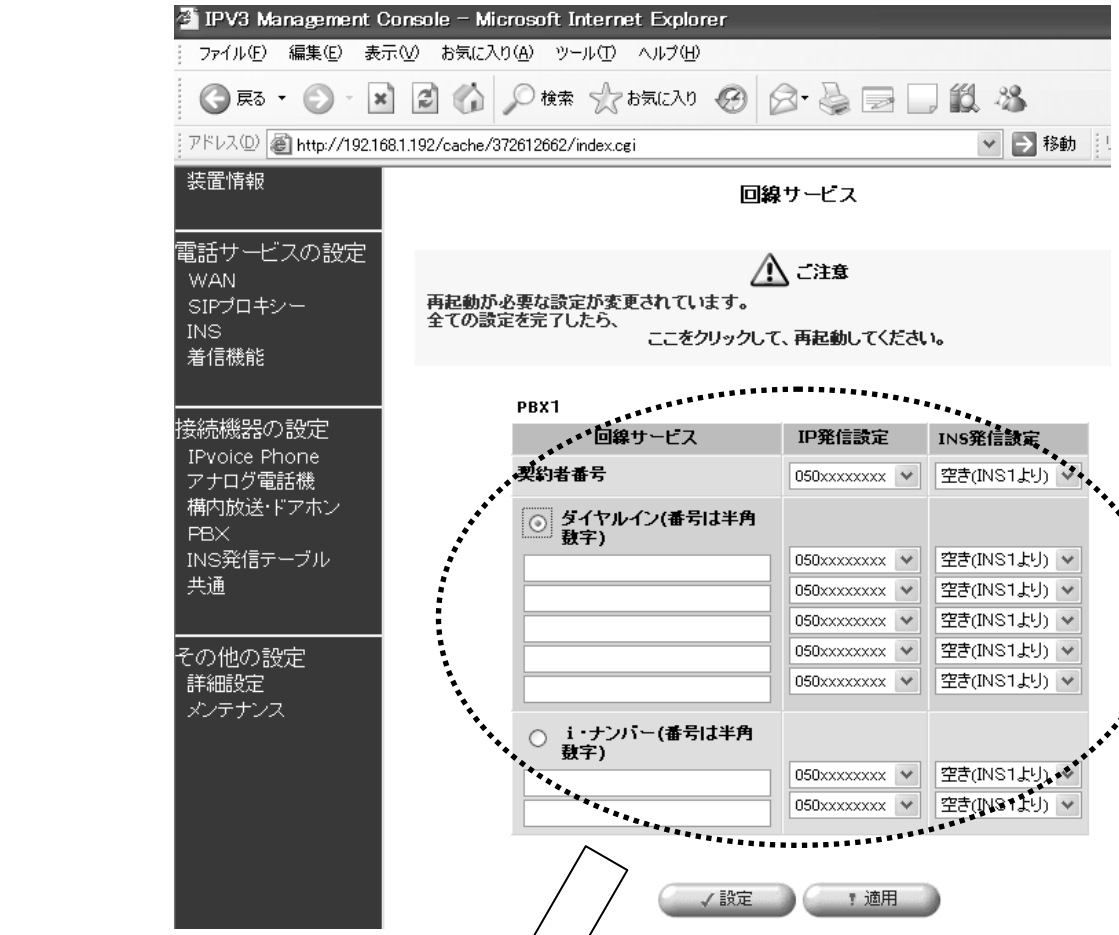
9.11 PBX(収容ビジネスホン)の設定

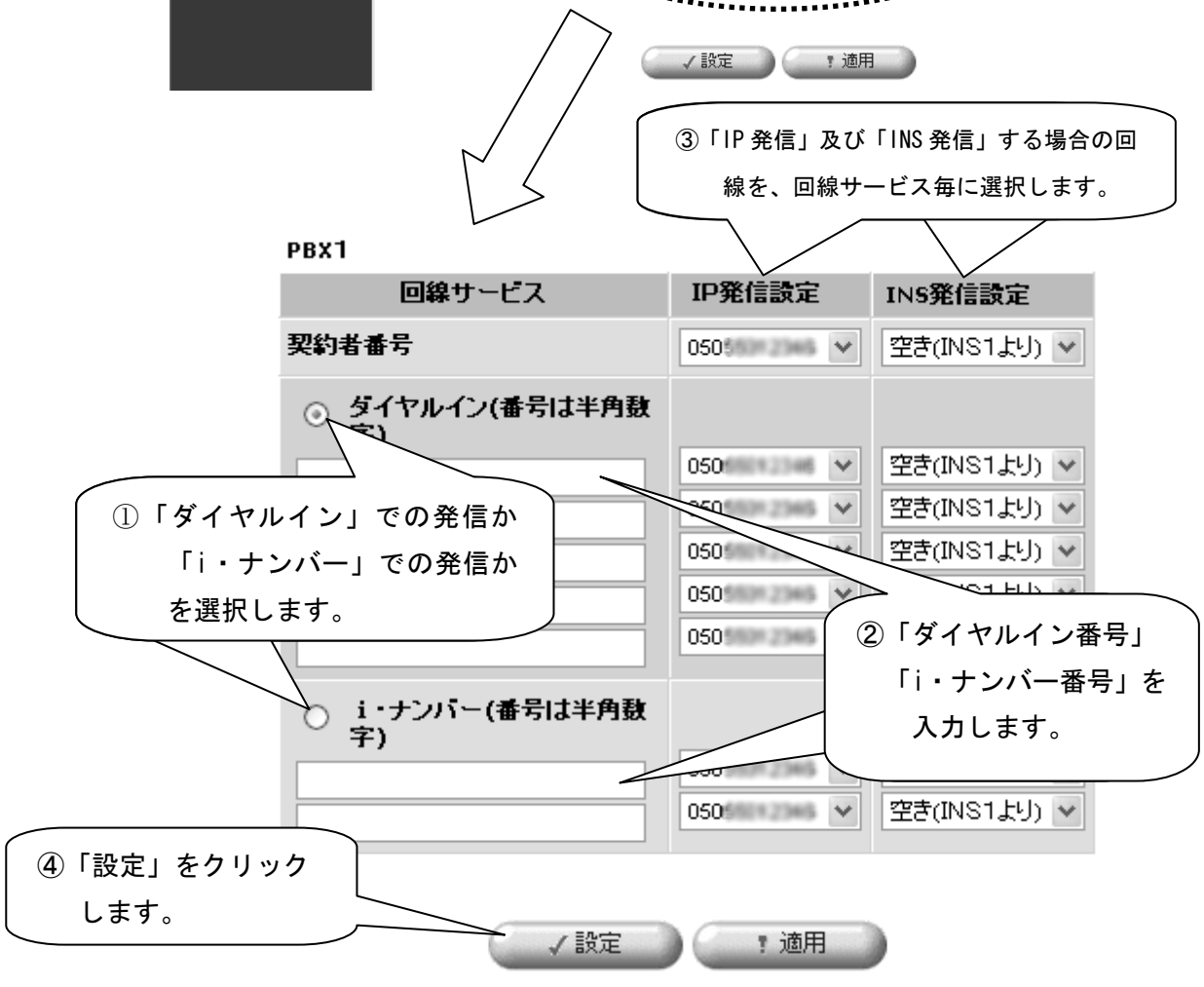
PBX（収容されたビジネスホン）との接続に関する設定を行います。

1．操作メニューの「接続機器の設定」から「PBX」クリックします。以下の「PBX」設定画面が表示されます。PBX を本機に収容する/しないを設定します。
続けて、PBX からの発信に関する「回線サービス」、「IP 発信設定」、「INS 発信設定」を設定します。



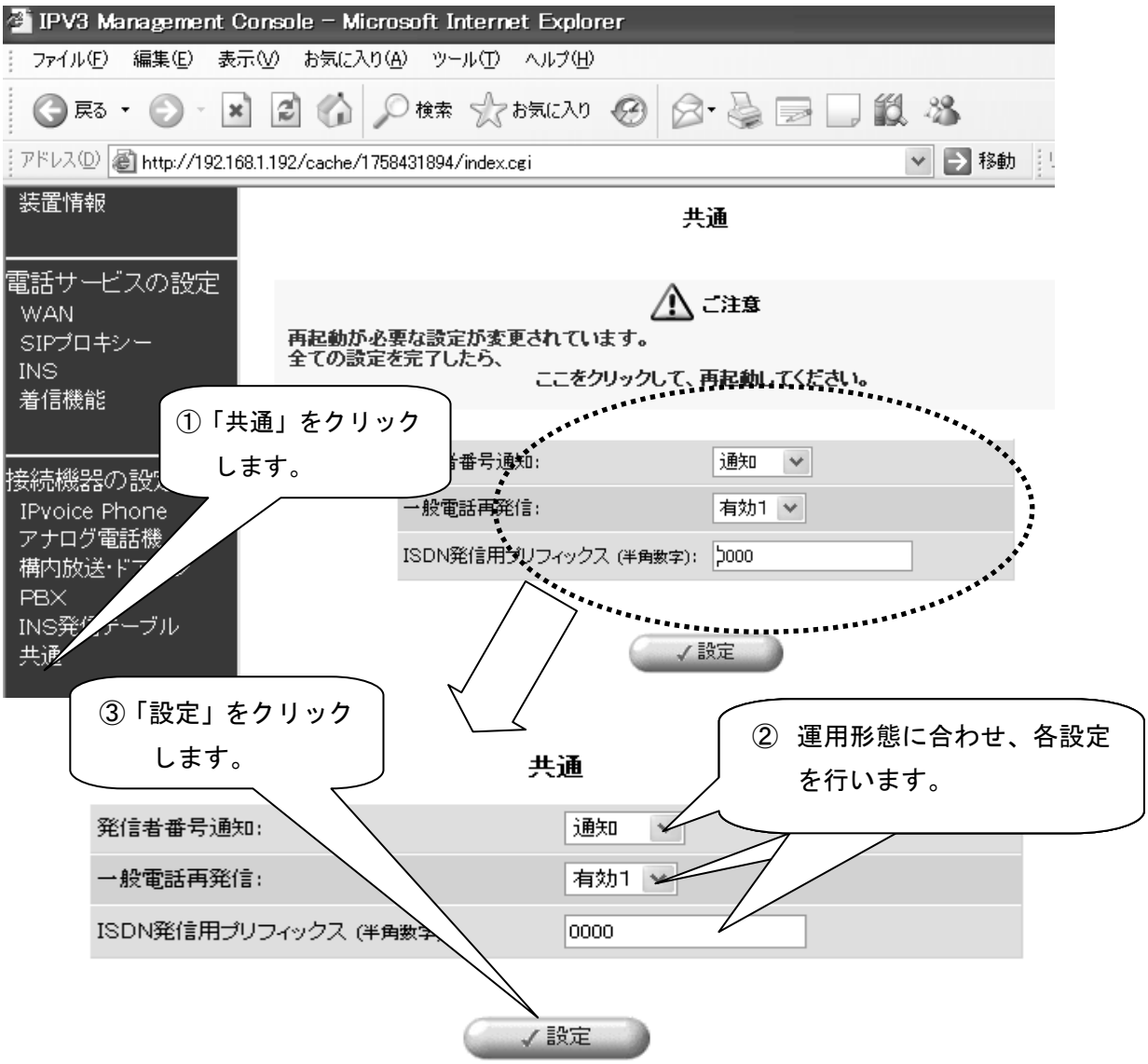
２．編集マーク をクリックすると、以下の「回線サービス」設定画面が表示されますので、運用形態に合わせ、PBX からの発信に関する設定を行ってください。





9.12 接続機器共通事項の設定

接続機器に関する共通事項を設定します。操作メニューの「接続機器の設定」から「共通」をクリックします。以下の「共通」設定画面が表示されますので、運用形態に合わせ設定してください。

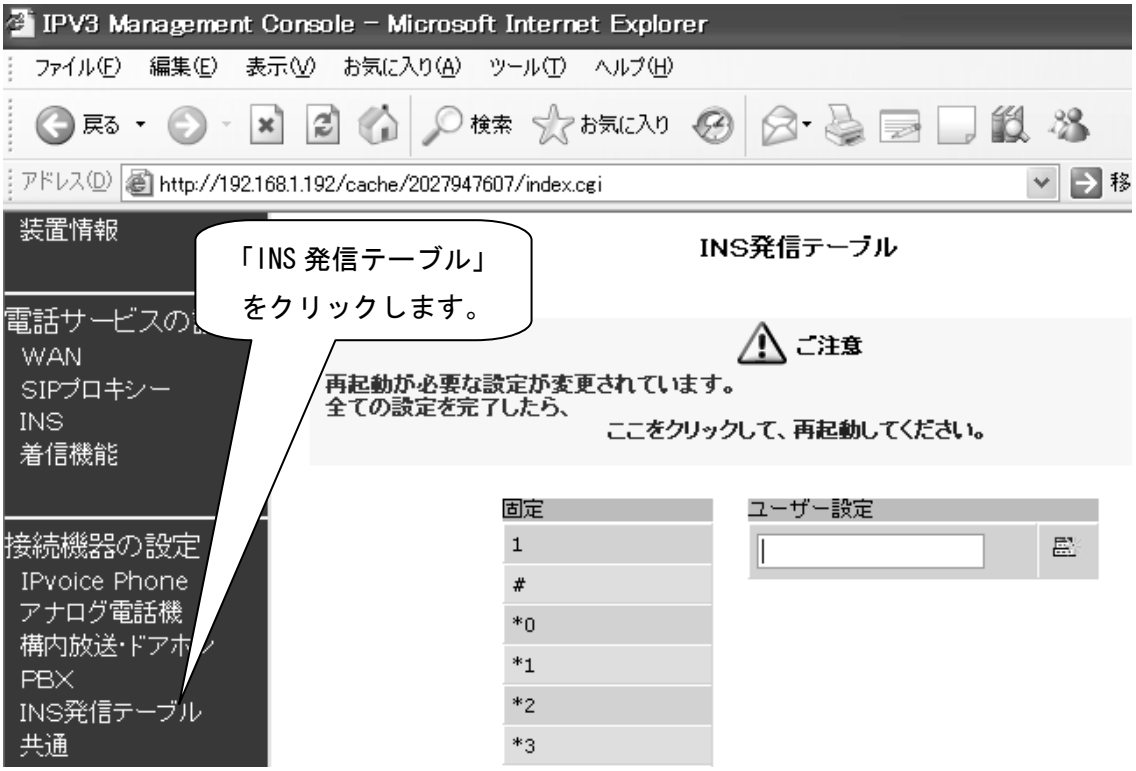


項　目	設定	内　容
発信者番号通知	通知	接続機器から発信の際、相手先に電話番号を通知します。
	非通知	接続機器から発信の際、相手先に電話番号を通知しません。
一般電話再発信	有効 1	IP電話で利用できない番号発信やIP電話で利用できないサービスの発信のときに、自動的に収容したINS回線へ発信します。
	有効 2	IP電話で利用できない番号発信のときに、自動的に収容したINS回線へ発信します。
	無効	IP 電話が利用できないときでも、収容した INS 回線には発信しません。
ISDN 発信用プリフィックス	0000（初期値）	接続機器から発信の際、ここで設定したプリフィックス番号を付加しダイヤルすると、収容した INS 回線へ発信します。

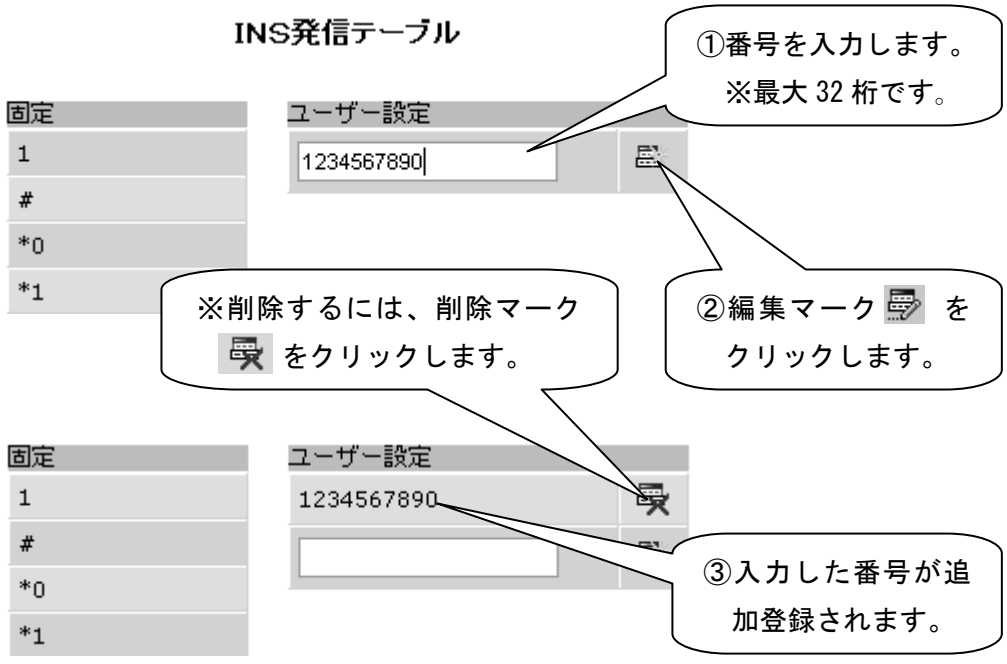
9.13 INS発信テーブル

本機には、IP 電話回線では発信できない番号を、収容した INS 回線経由で発信を行う様、「INS 発信テーブル」が固定で登録されています。「INS 発信テーブル」には、お客様で任意の番号の追加登録が可能です。（ユーザー設定による番号追加）

1．操作メニューの「接続機器の設定」から「INS 発信テーブル」をクリックします。下記の「INS 発信テーブル」設定画面が表示されます。



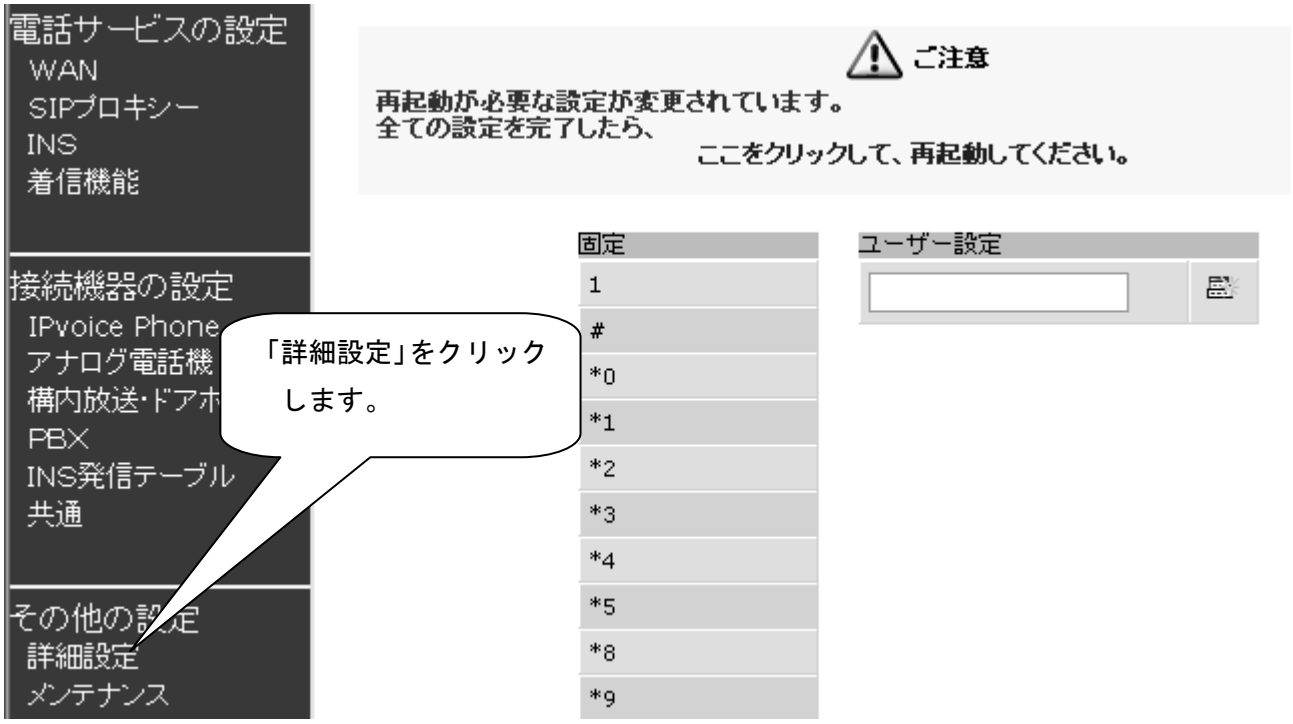
2．「ユーザー設定」の空欄に INS 発信させる番号を入力し、編集マーク をクリックします。入力した番号が、「ユーザー設定」欄に追加登録されます。追加登録した番号を削除するには、削除マーク をクリックしてください。



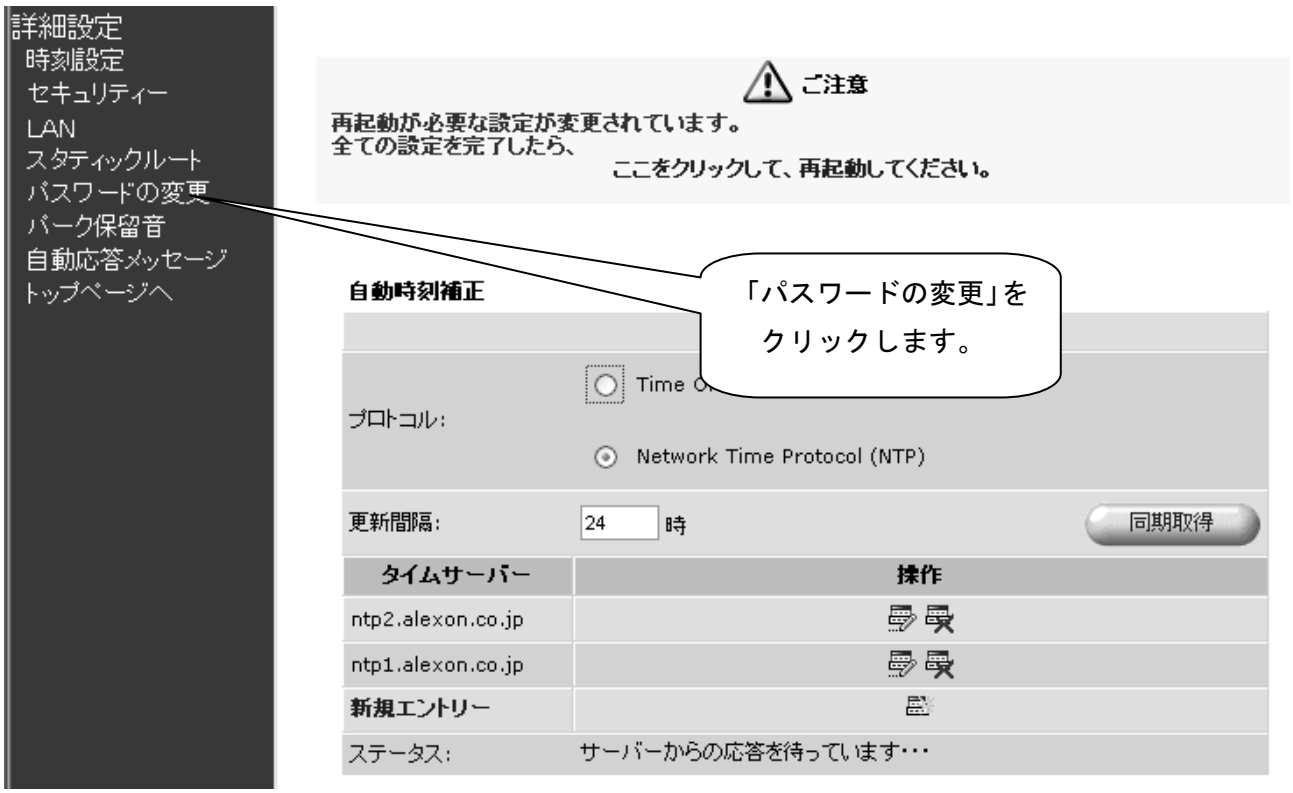
9.14　パスワードの変更

「9.1　設定画面（Web 画面）へのログイン」で記載しているログイン・パスワードを初期値（admin）から変更する事ができます。

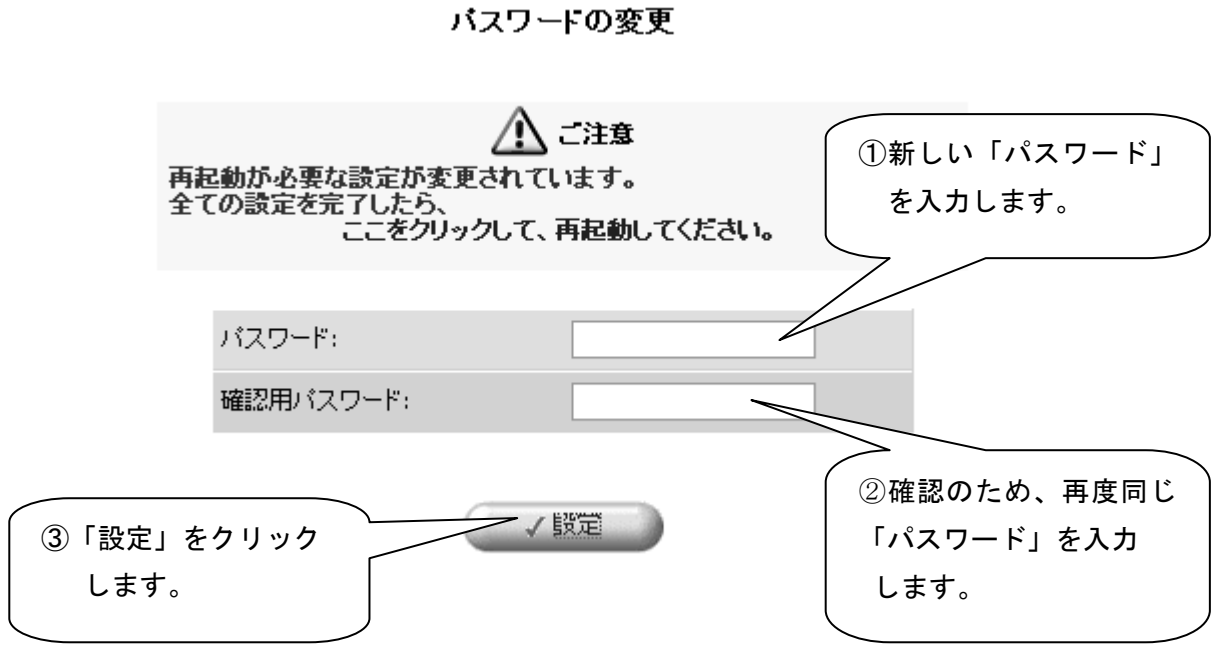
１．操作メニューの「その他の設定」から「詳細設定」をクリックします。



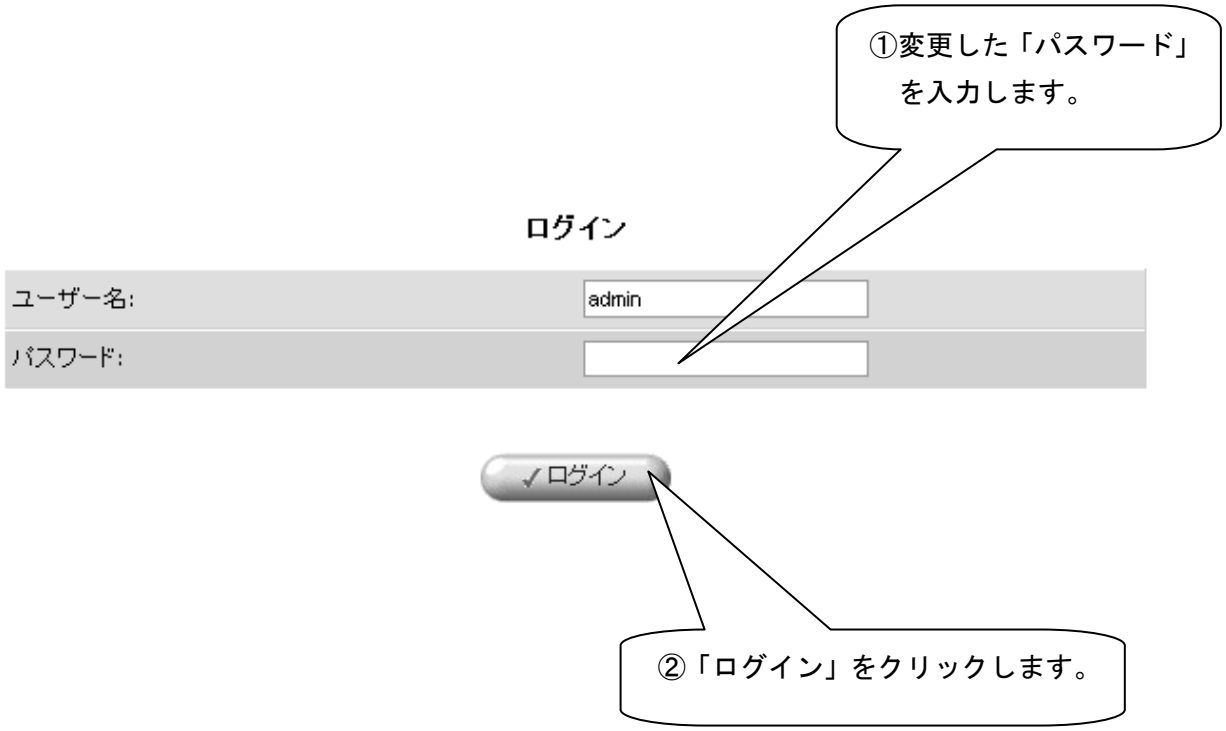
２．「詳細設定」画面が表示されますので、操作メニューから「パスワードの変更」をクリックします。



3．下記の「パスワードの変更」画面が表示されますので、「パスワード」欄に新しいパスワードを、「確認用パスワード」欄に、確認のため再度同じパスワードを入力し「設定」ボタンをクリックします。



4．設定画面（Web 画面）への「ログイン」画面が表示されますので、変更した「パスワード」を使用してログインを行ってください。



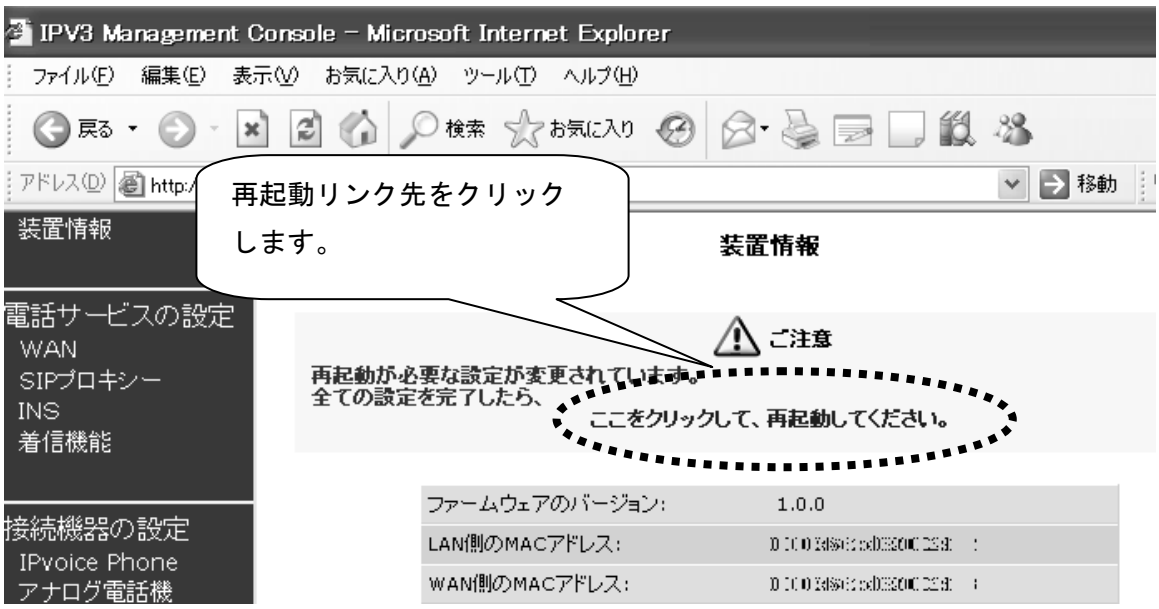
5．装置情報画面が表示されれば「パスワードの変更」が正常に完了しています。

9.15 機器の再起動

本機の設定が全て完了しましたら、本機及び IPvoice Phone を再起動します。

9.15.1 本機の再起動

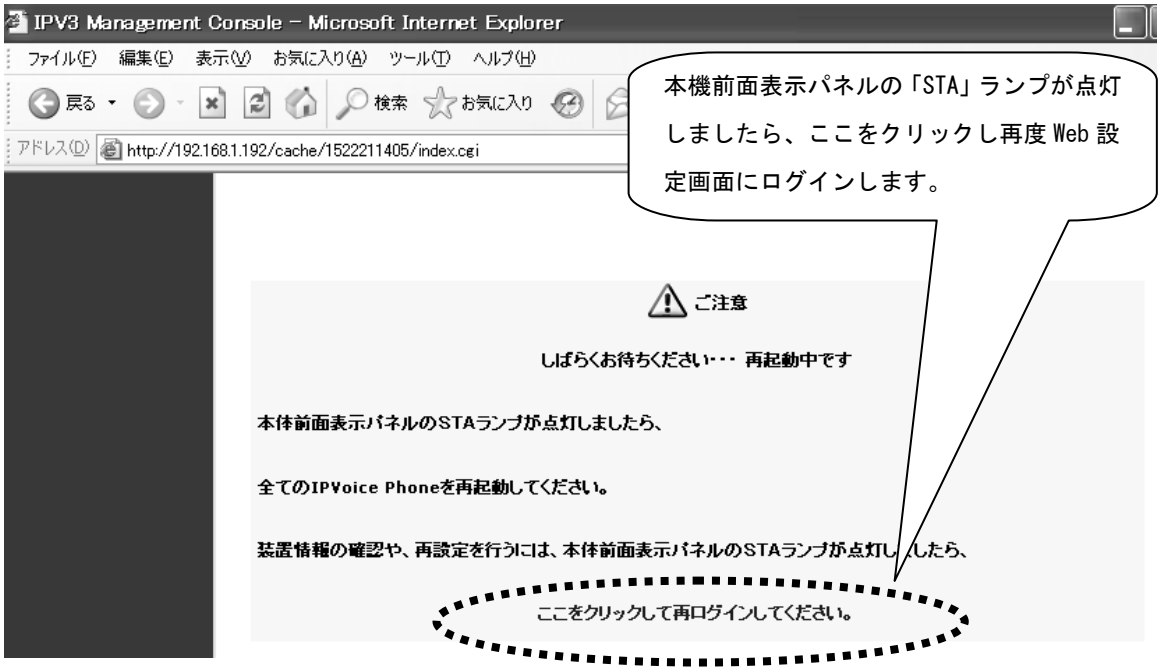
１．各設定画面の「再起動リンク先表示」から本機を再起動します。



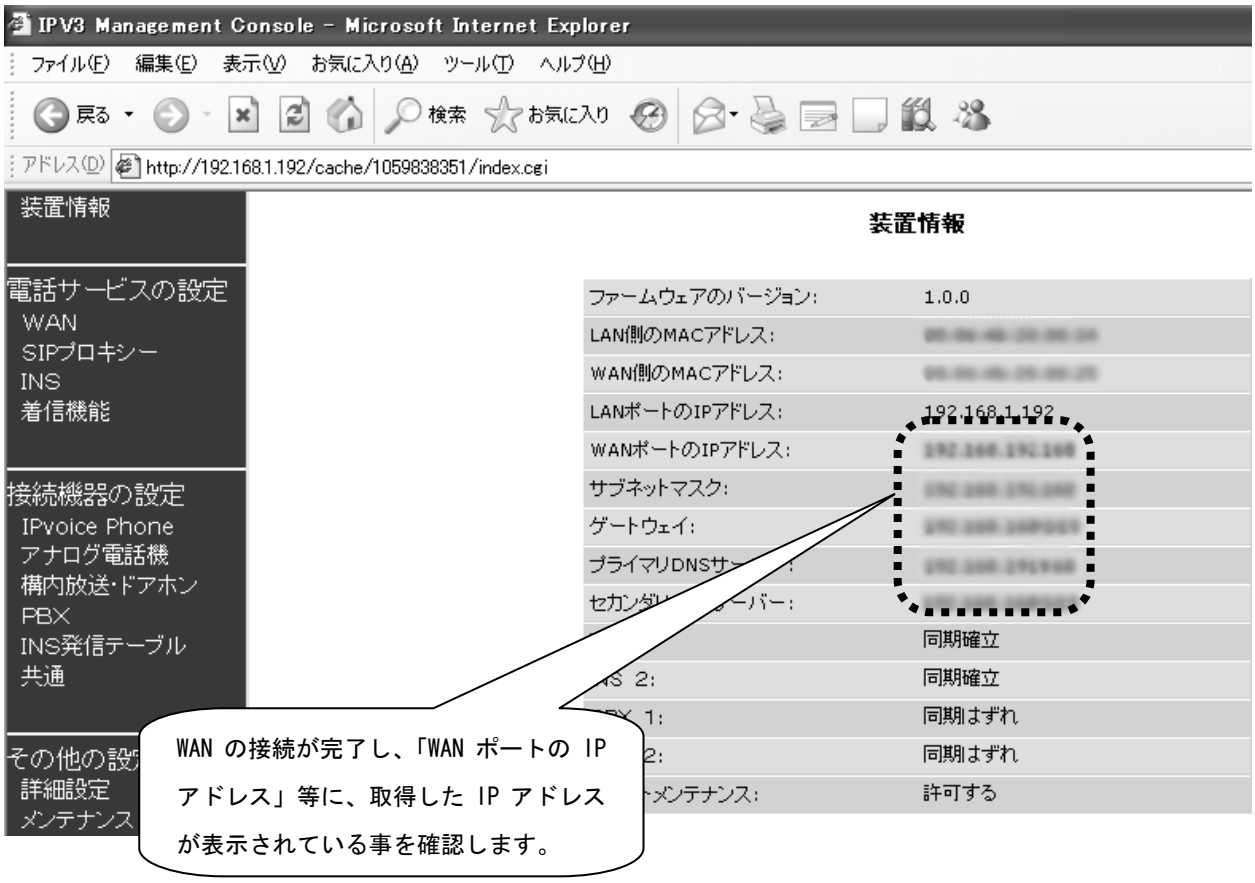
ご注意

●本機の再起動を行うと、通話中の呼やパソコンでの通信が切断されます。初期導入設定時以降（運用中）の設定変更の際は通話中及び通信中で無い事をご確認の上、再起動を行ってください。

２．以下の「再起動中」画面が表示されます。本機前面表示パネルの「STA」ランプが点灯すれば再起動が完了します。画面の「ここをクリックして再ログインしてください」をクリックし、再度Web設定画面にログインします。

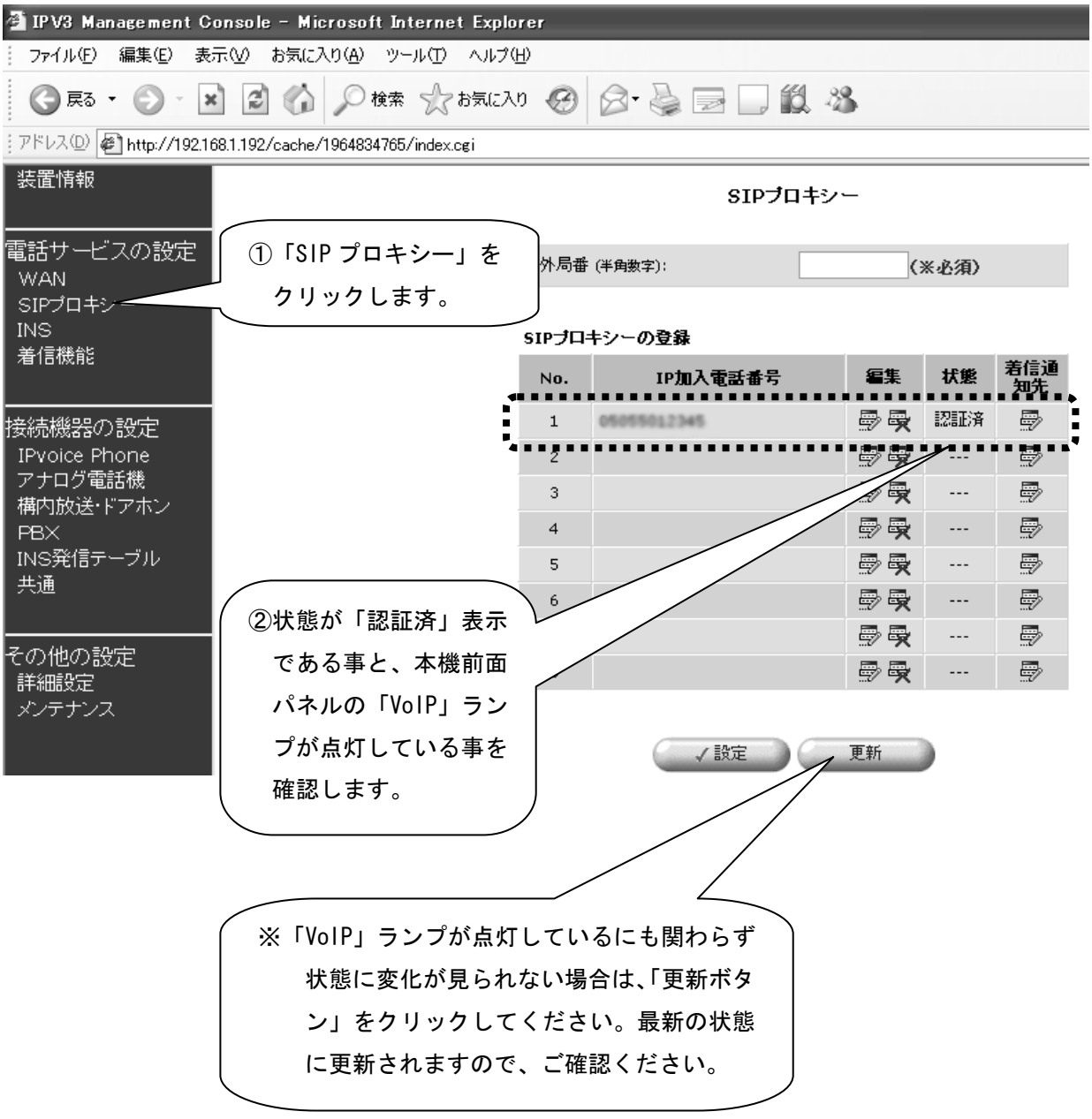


３．Web設定画面に再度ログインしましたら、「装置情報」画面で「WANポートのIPアドレス」等に、取得したIPアドレス等が表示されている事をご確認ください。



※数分が経過しても、IPアドレスが表示されない状態であれば、「WANの設定」に間違いがある事が考えられます。操作メニューの「電話サービスの設定」から「WAN」をクリックし、設定内容をご確認ください。

4．操作メニューの「電話サービスの設定」から「SIPプロキシー」をクリックします。 SIPプロキシーへの登録が完了し、状態が「認証済」となっている事をご確認ください。合わせて本機前面表示パネルの「VoIP」ランプが点灯している事をご確認ください。「VoIP」ランプが点滅の状態であれば、SIPプロキシーへの登録エラーです。SIPプロキシーの登録情報に間違いがある事が考えられます。操作メニューの「電話サービスの設定」から「SIPプロキシー」をクリックし、設定内容をご確認ください。



9.15.2　IPvoice Phone の再起動

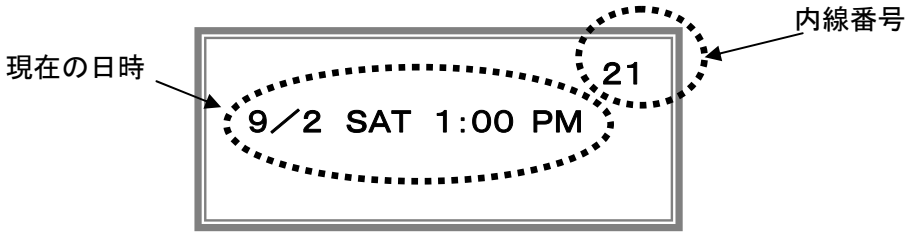
PoE ハブをご使用の場合、PoE ハブの電源を一旦切り、再投入してください。PoE ハブに接続された IPvoice Phone が一括で再起動します。

IPvoice Phone 付属の AC アダプターをご使用の場合、個々に AC アダプタープラグの抜き差しを行い、再起動させてください。

9.15.3　再起動後の確認

本機前面表示パネルの、「PWR」「WAN」「LAN」「STA」「VoIP」の各ランプが点灯していれば設定が正常に完了しています。「INS1」「INS2」「PBX1」「PBX2」の各ランプは、運用形態（設定内容）により点灯、あるいは消灯となりますのでご確認ください。

IPvoice Phone 側は液晶表示に設定した「内線番号」と現在の「日付」「曜日」「時間」が表示されていれば、正常に設定が完了しています。



（再起動後の IPvoice　Phone 液晶表示）

以上の確認ができましたら、接続機器から収容した IP 電話回線、INS 回線経由での発着信が可能な状態となっています。

ご注意

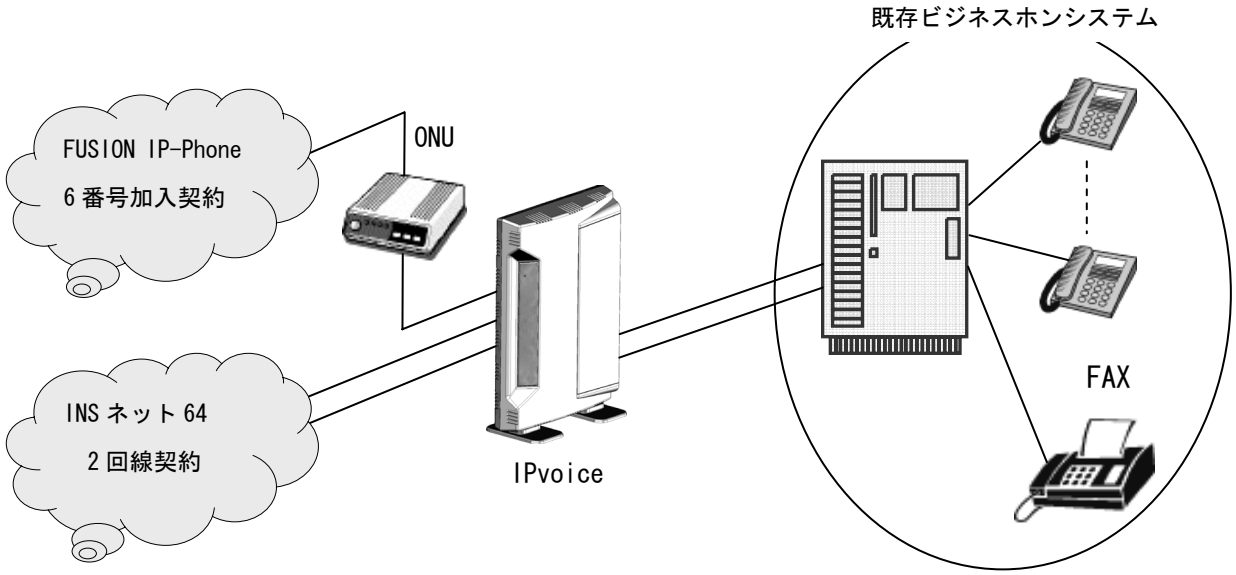
- ●初期導入設定時以降（お客様で運用中）に設定変更を行った際、Web 設定画面に再起動リンク先が表示がされた場合は、必ず本機の再起動を行ってください。
- ●初期導入設定時以降（お客様で運用中）に本機の再起動を行う場合、本機電源スイッチの ON OFF による再起動を行いますと、IPvoice Phone 側の再起動も必要となります。再起動を行う場合は Web 設定画面から行ってください。（Web 設定画面からの再起動時は IPvoice Phone 側の再起動は必要ありません。）
- ●本機の再起動を行うと、通話中の呼やパソコンでの通信が切断されます。通話中及び通信中で無い事をご確認の上、再起動を行ってください。

10　代表的な運用形態での設定例

本章では代表的な運用形態で本機をご使用する場合の、設定例をご説明します。本機を「VoIP ゲートウェイとして運用する場合」及び「IP-PBX として運用する場合」についてそれぞれ、代表組み、ダイヤルイン、i・ナンバーを使った運用形態の設定例を記載します。

10.1　VoIPゲートウェイとしての運用形態

お客様が設置されている既存ビジネスホン（PBX）システムをそのまま使用し、IP 加入番号を 6 加入契約、INS ネット 64 を 2 回線契約とし、本機を VoIP ゲートウェイとして IP 電話回線に収容する場合の運用形態例を記載します。



発信側の運用	着信側の運用
①IP 電話回線優先発信 ②一般電話再発信＝有効	①IP 加入者番号＝6 番号契約 xxx-xxxx-xx21～26 ②i・ナンバー運用(2 回線×3 番号) ・INS ネット 64 回線 1 xxx-xxx-xx11（契約者番号） xxx-xxx-xx12（追加番号） xxx-xxx-xx13（追加番号） ・INS ネット 64 回線 2 xxx-xxx-xx14（契約者番号） xxx-xxx-xx15（追加番号） xxx-xxx-xx16（追加番号）

（運用条件での設定内容）

設定項目	設　定　内　容

電話サービスの設定

WAN

インターネット接続:

接続タイプ	PPPoE 接続
接続用ユーザーID	XXXXXX
パスワード	XXXXXX

SIP プロキシー

市外局番：XXX

IP 加入電話番号	設定		着信通知先	
Line1	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	PBX1
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx	着信番号通知	i・ナンバー1
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx		
	IP 加入電話パスワード	XXXXXX		
	IP 加入電話番号	xxxxxxxxx21		
Line2	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	PBX1
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx	着信番号通知	i・ナンバー2
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx		
	IP 加入電話パスワード	XXXXXX		
	IP 加入電話番号	xxxxxxxxx22		
Line3	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	PBX1
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx	着信番号通知	i・ナンバー3
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx		
	IP 加入電話パスワード	XXXXXX		
	IP 加入電話番号	xxxxxxxxx23		
Line4	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	PBX2
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx	着信番号通知	i・ナンバー1
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx		
	IP 加入電話パスワード	XXXXXX		
	IP 加入電話番号	xxxxxxxxx24		
Line5	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	PBX2
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx	着信番号通知	i・ナンバー2
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx		
	IP 加入電話パスワード	XXXXXX		
	IP 加入電話番号	xxxxxxxxx25		
Line6	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	PBX2
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx	着信番号通知	i・ナンバー3
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx		
	IP 加入電話パスワード	XXXXXX		
	IP 加入電話番号	xxxxxxxxx26		

INS

回線	回線収容	回線内容		
INS1	する	回線サービス	電話番号	着信通知先
		契約者回線	xxxxxxxx11	PBX1
		i・ナンバー	xxxxxxxx12	PBX1
		追加番号	xxxxxxxx13	PBX1
INS2	する	回線サービス	電話番号	着信通知先
		契約者回線	xxxxxxxx14	PBX2
		i・ナンバー	xxxxxxxx15	PBX2
		追加番号	xxxxxxxx16	PBX2

代表組	しない
携帯電話へ発信する時に付加する番号	XXXX

着信機能

接続機器の設定

IPvoice Phone	
アナログ電話機	
構内放送ドアホン	

PBX

回線	回線収容	回線内容			
PBX1	する	回線サービス	電話番号	IP 発信設定	INS 発信設定
		契約者回線	xxxxxxxx11	xxxxxxxxx21	INS1
		i・ナンバー	xxxxxxxx12	xxxxxxxxx22	INS1
		追加番号	xxxxxxxx13	xxxxxxxxx23	INS1
PBX2	する	回線サービス	電話番号	IP 発信設定	INS 発信設定
		契約者回線	xxxxxxxx14	xxxxxxxxx24	INS2
		i・ナンバー	xxxxxxxx15	xxxxxxxxx25	INS2
		追加番号	xxxxxxxx16	xxxxxxxxx26	INS2

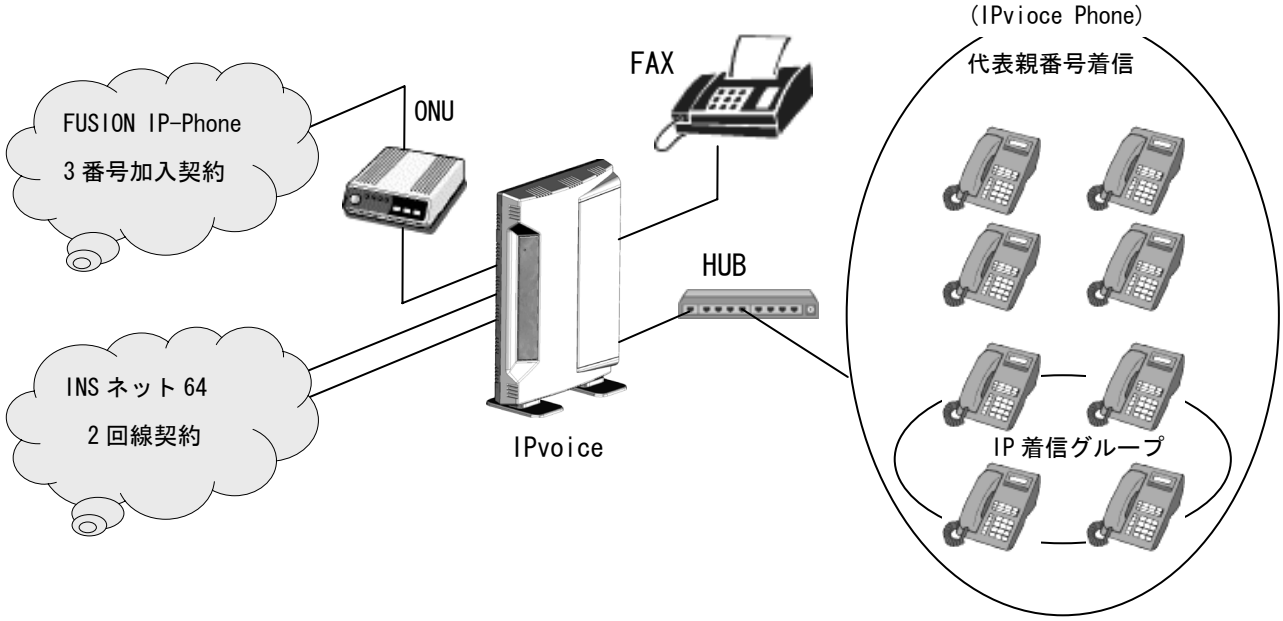
INS 発信テーブル	

共通

発信者番号通知	通知
一般電話再発信	有効 1
ISDN 発信用プリフィックス	0000

10.2　IP-PBXとしての運用形態

内線電話端末として IP 電話機（IPvoice Phone）8 台、アナログ FAX（G3FAX）1 台を収容、IP 加入番号を 3 加入契約、INS ネット 64 を 2 回線契約し、本機を IP-PBX として使用する場合の運用形態の設定例を記載します。



発　信　運　用	着　信　運　用
①IP 電話回線優先発信 ②一般電話再発信＝有効	①IP 加入者番号＝3 番号契約 xxx-xxxx-xx21～23 ②INS ネット 64 回線＝2 回線の代表組,代表ダイヤルイン ・xxx-xxx-xx11:代表親番号着信 ・xxx-xxx-xx12:代表ダイヤルイン(FAX)

※本設定例では、接続されたFAX（お客様がTELポートにFAXを接続して使用される場合）の発着信について、IP電話回線及びINSネット64回線共に可能な設定としています。(発信はIP電話回線優先）FUSION IP-PhoneではFAXでの通信品質を保証しておりませんので、通信品質が必要とされる使い方をされる場合は、IP加入番号1（Line1）の着信通知先を他のIPvoice Phoneに割り当て、「接続機器の設定」→「アナログ電話機」→「IP発信設定」→「発信する時の回線番号」の選択を「IP発信しない」に設定してください。

この設定により、FAXでの発着信は、収容されたINSネット64回線からとなります。(FAXはご契約INSネット64の電話番号での運用となります。）

（運用条件での設定内容）

設定項目	設定内容
電話サービスの設定	

WAN

インターネット接続:

接続タイプ	PPPoE 接続
接続用ユーザーID	XXXXXX
パスワード	XXXXXX

SIP プロキシー

市外局番	XXX

IP 加入電話番号	設定		着信通知先	
Line1	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	アナログ電話機
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx		
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx		
	IP加入電話パスワード	XXXXXX		
	IP 加入電話番号	xxxxxxxx21		
Line2	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	IPvoice Phone
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx	着信音種	1
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx	着信グループ	0
	IP加入電話パスワード	XXXXXX	着信する IPvoice Phone	IS-11, IS-12 IS-13, IS-14 IS-21, IS-22 IS-23, IS-24
	IP 加入電話番号	xxxxxxxx22		
Line3	SIP プロキシー	XXX.XXX.XXX.XXX	着信通知先	IPvoice Phone
	SIP ドメイン	xxxxxx.xxx.xxxx.xxx	着信音種	3
	アカウント ID	xxxxxxxxxxxx	着信グループ	0
	IP加入電話パスワード	XXXXXX	着信する IPvoice Phone	IS-21, IS-22 IS-23, IS-24
	IP 加入電話番号	xxxxxxxx23		

INS

代表組	する(IPvoice Phone)

回線	回線収容	回線内容		
INS1	する	回線サービス	電話番号	着信通知先
		契約者回線	xxxxxxxx11	IPvoice Phone
		着信する IPvoice Phone	IS-11, IS-12, IS-13, IS-14 IS-21, IS-22, IS-23, IS-24	
		ダイヤルイン	xxxxxxxx12	アナログ電話機
INS2	する	INS1 と同じ回線内容		
携帯電話へ発信する時に付加する番号		XXXX		

着信機能

接続機器の設定

IPvoice Phone

端末	発信回線	
IS-11, IS-12 IS-13, IS-14	IP 回線発信	xxxxxxxx22
	INS 回線発信	INS1
	回線サービス	契約者番号
IS-21, IS-22 IS-23, IS-24	IP 回線発信	xxxxxxxx23
	INS 回線発信	INS2
	回線サービス	契約者番号

アナログ電話機

IP 発信設定

発信する時の回線番号	xxxxxxxxx21

音量

送話	中
受話	中

INS 発信設定

発信する時の回線番号	INS1
回線サービス	ダイヤルイン
ダイヤルイン番号	xxxxxxxx12
機器種別	FAX

詳細設定

ナンバーディスプレイ	しない
無鳴動着信	しない
ダイヤル完了タイマー	4 秒
ＣＰＣ信号送出	しない
軟反転	しない

構内放送 ドアホン

PBX

回線	回線収容
PBX1	しない
PBX2	しない

INS 発信テーブル

共通

発信者番号通知	通知
一般電話再発信	有効 1
ISDN 発信用プリフィックス	0000

11　その他の機能

本機は、オートダウンロード機能（AD 機能）、内蔵音声メッセージ・保留音変更機能、設定ファイルの保存・復元機能及び装置初期化の機能を有しています。

11.1　オートダウンロード機能（ＡＤ機能）

最新のファームウェア（本機を制御するプログラム）を自動的にダウンロードして、装置状態を最新に保つ機能です。

本機は周期的に、弊社が運用するファームウェア管理用サーバーに対し、最新のファームウェアバージョン提供の有無を問い合わせます。最新のバージョンが提供されている場合、ファームウェアの更新をお客様にお知らせするために、本機 AD ランプが点滅（0.5 秒間点灯・0.5 秒間消灯）します。AD ランプが点滅しましたら、本機前面の ADS（オートダウンロード）スイッチを押して下さい。自動的に弊社ファームウェア管理用サーバーから最新ファームウェアを取り込み、本機を最新の状態に更新します。

ご注意

- ＡＤランプ点灯中は絶対電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 通信中及び通話中は AD 機能を使用しないで下さい。本機は自動的に再起動動作を行いますので通信や通話が切断されます。

11.2　内蔵メッセージと保留音の変更

本機は内蔵する「自動応答音声メッセージ」及び「保留音（パーク保留音）」を工場出荷時のものから、お客様が作成されたものに変更する事ができます。

メッセージ、保留音を Windows（サウンドレコーダー）が搭載されたパソコンにより、簡単な操作で作成する事ができます。作成したメッセージ及び保留音は、Web 設定画面の「その他の設定」から、工場出荷時のものと置き換える事ができます。以下に、変更手順を記します。

「変更の手順」

１．メッセージや保留音の置換用データファイルを作成する

↓

２．作成したファイルを本機にアップロードする

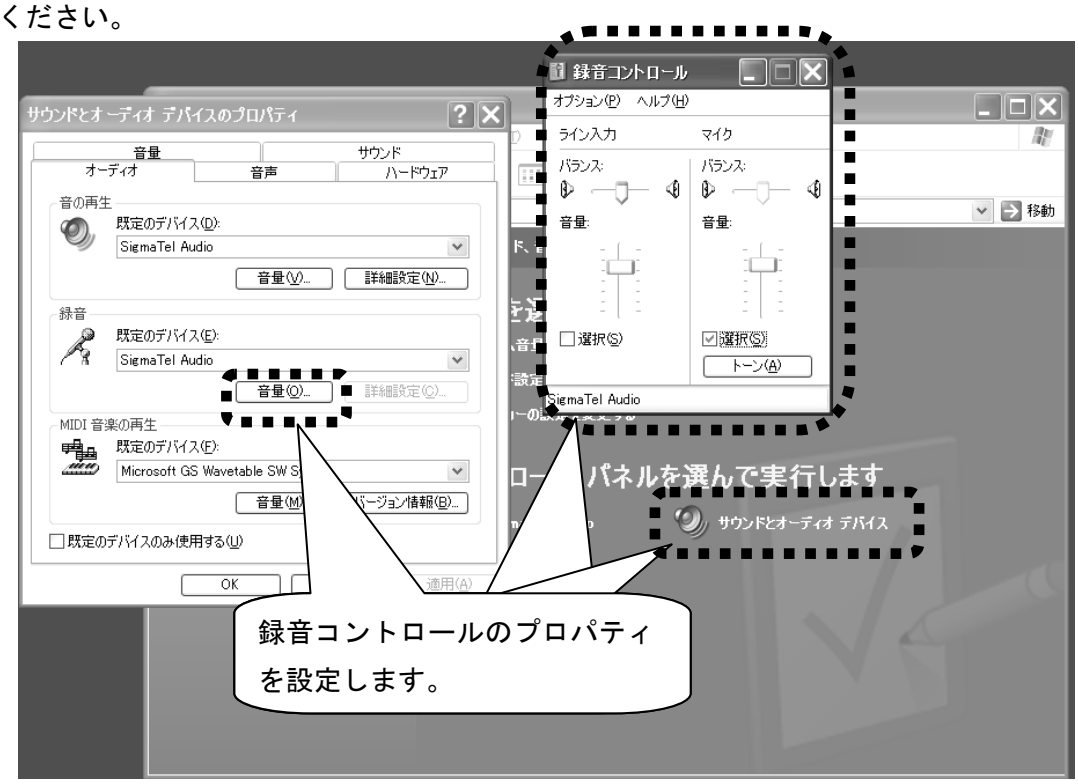
↓

３．本機を再起動する

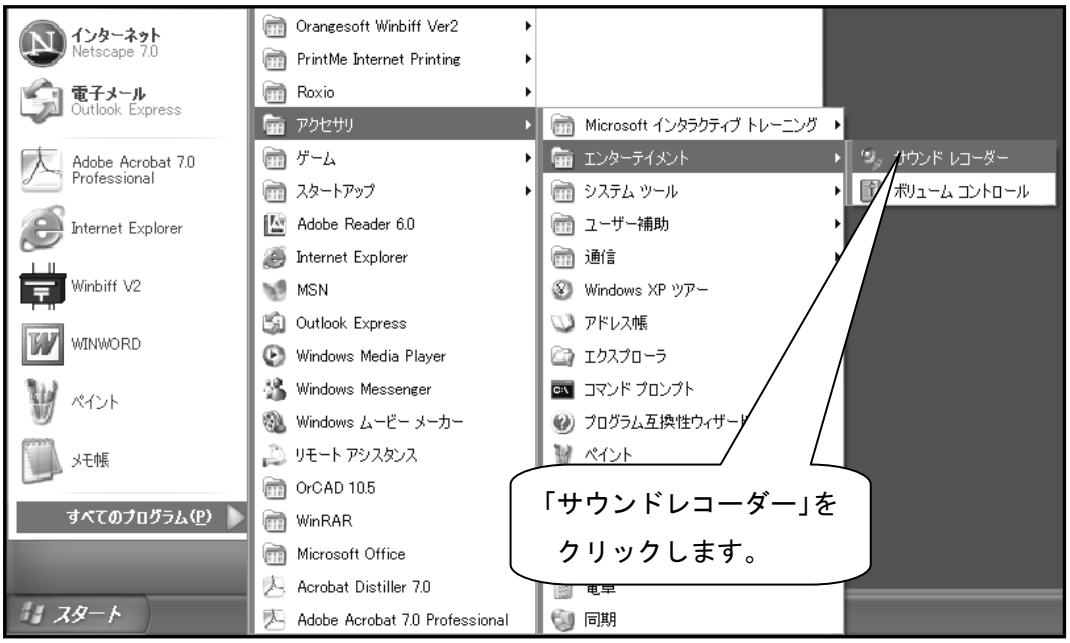
11.2.1　メッセージや保留音の置換用データファイルを作成する

最初に、工場出荷時に内蔵されている「自動応答メッセージ」や、「パーク保留音」と置き換える為のデータファイルを作成します。ファイル作成に必要な機器は、Windows を搭載したノートパソコン等（マイク機能やライン入力機能を内蔵している汎用の PC）のみです。

1．事前準備として、Windows の「コントロールパネル」から「サウンドとオーディオデバイス」をクリックし、「オーディオ」タブで、マイクまたはライン入力の録音に関する設定を行ってください。



2．Windows ディスクトップ画面のスタートボタンから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「サウンドレコーダー」を選択しクリックします。



３.「サウンドレコーダー」が起動します。録音ボタンを押して、自動応答用メッセージや、パーク保留音を録音します。本機で使用するメッセージやパーク保留音の時間は、30 秒以内での録音としてください。30 秒以上の録音で作成したファイルは置き換える事はできません。

ご注意

●マイクが搭載されていないパソコンの場合はマイクを別途用意する等、サウンドレコーダーを使用して、録音ファイルを作成できる環境を整えてください。

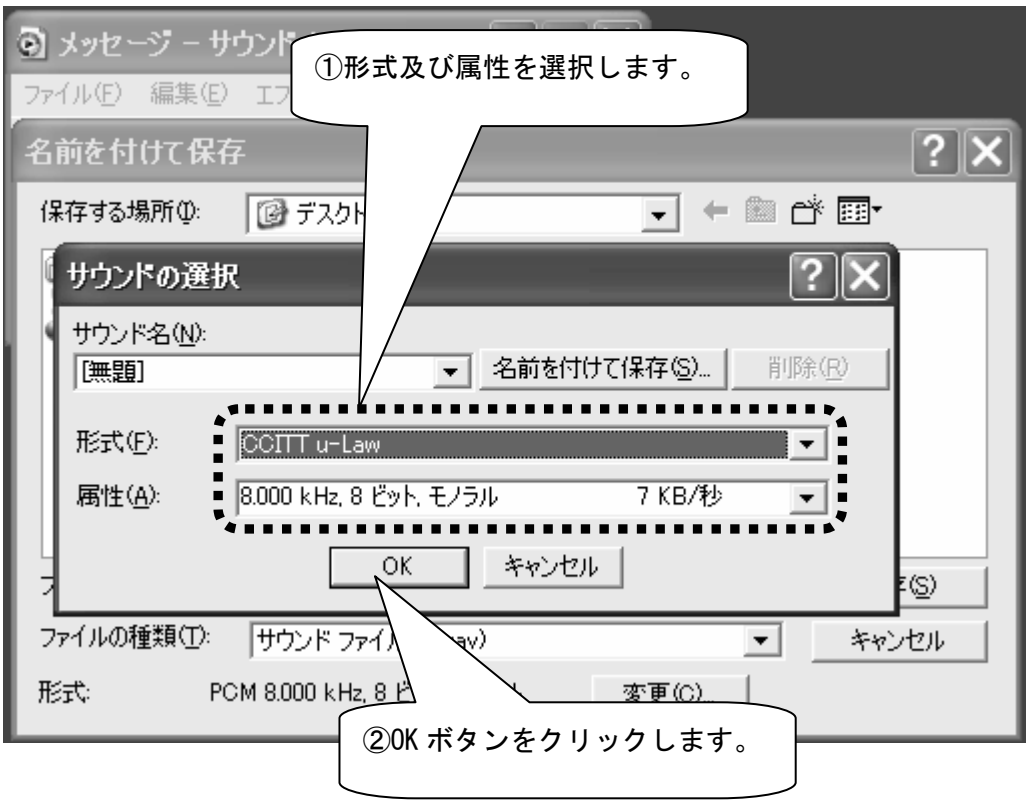
●録音時間は 30 秒以内としてください。30 秒以上の録音で作成したファイルを、本機にアップロードしますと、正常に置き換える事ができません。本機でのメッセージや保留音再生は録音作成したファイル（30 秒）の繰り返しとなります。

４．メッセージ等の音声入力が終わったら、停止ボタンを押して録音を停止します。
※録音時間が 30 秒以内である事をご確認してください。

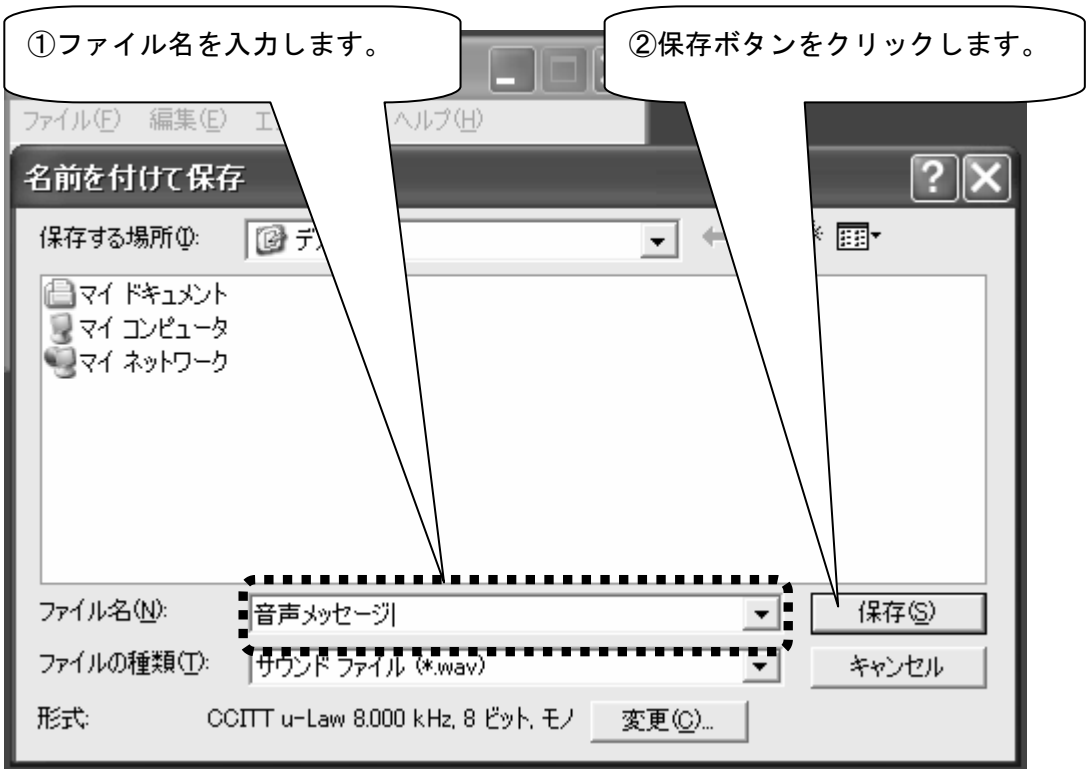
５．録音したメッセージ等を保存します。「サウンドレコーダー」のファイルタブから「名前を付けて保存」を選択しクリックします。

６．ファイル保存する場所を選択し、ファイル保存形式の「変更」ボタンをクリックします。

7．サウンドの選択画面が表示されますので、形式に「CCITT μ-Law」を、属性に「8.000kHz,8 ビット,モノラル　7KB/秒」を選択し、OK ボタンをクリックします。



8．ファイル名を入力し「保存」ボタンをクリックします。



９．選択した保存場所に、指定した形式、属性、ファイル名で録音ファイルが作成されます。マウスの右クリックで、作成したファイルのプロパティを選択し、「概要タブ」を開いて指定した内容で作成されている事をご確認ください。以上でファイルの作成が終了です。

作成したファイル上でマウスを右クリックしプロパティを選択します。プロパティの概要タブを開いて、指定した内容で作成されている事をご確認ください。

ご注意

●ファイル作成の形式は、必ず上記の形式・属性を指定してください。上記の形式・属性以外で作成されたファイルを本機にアップロードしても、正常に置き換える事ができません。

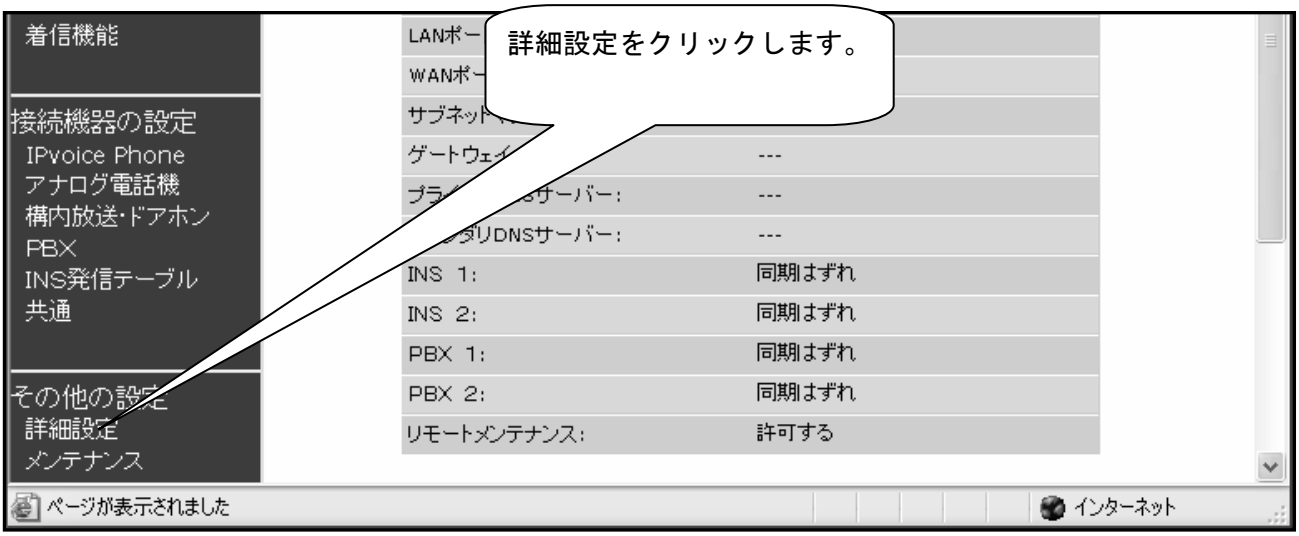
・形式：CCITT μ-Law
・属性：8.000kHz,8 ビット,モノラル　7KB/秒

11.2.2　作成したファイルを本機にアップロードする

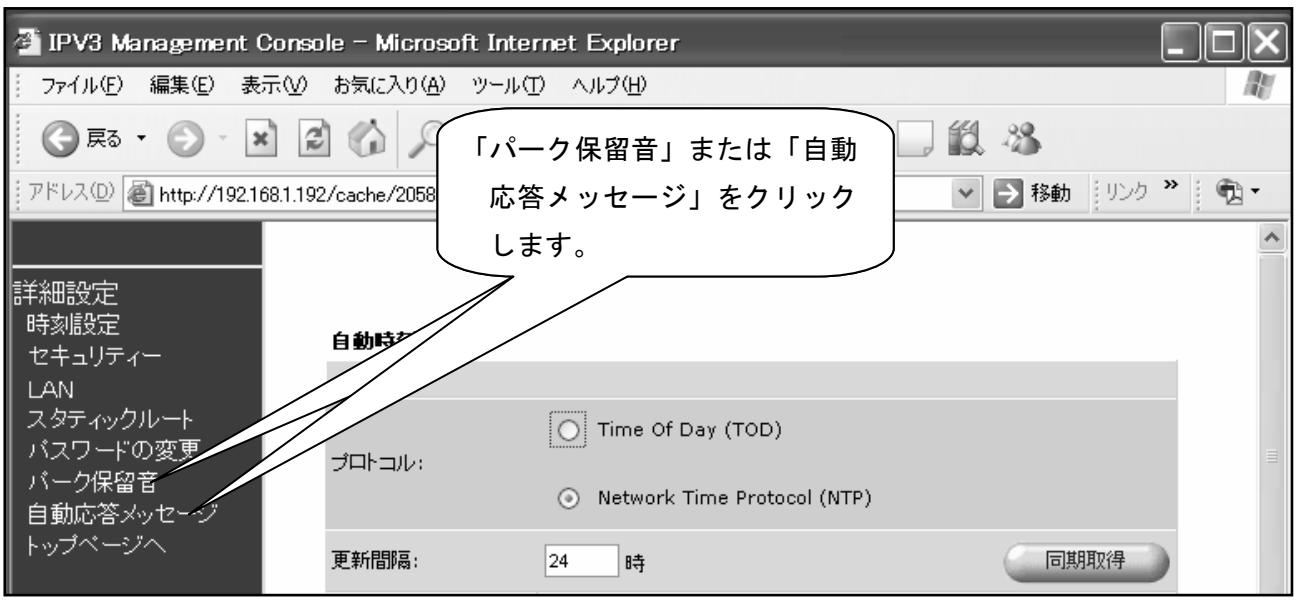
次に、作成したデータファイルを Web 設定画面から本機にアップロードします。

1．Web 設定画面にログインします。（ログインするには 34 ページをご参照ください。）

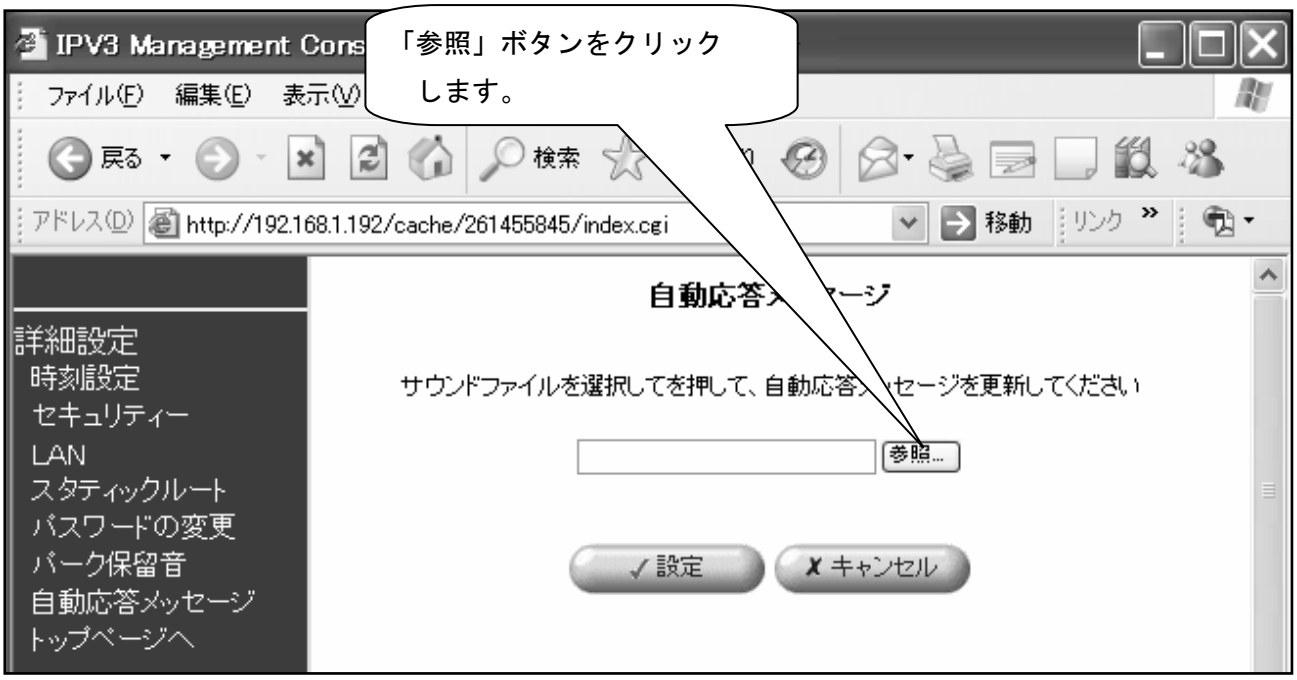
2．Web 設定画面にログインしましたら、操作メニュー「その他の設定」から「詳細設定」をクリックします。



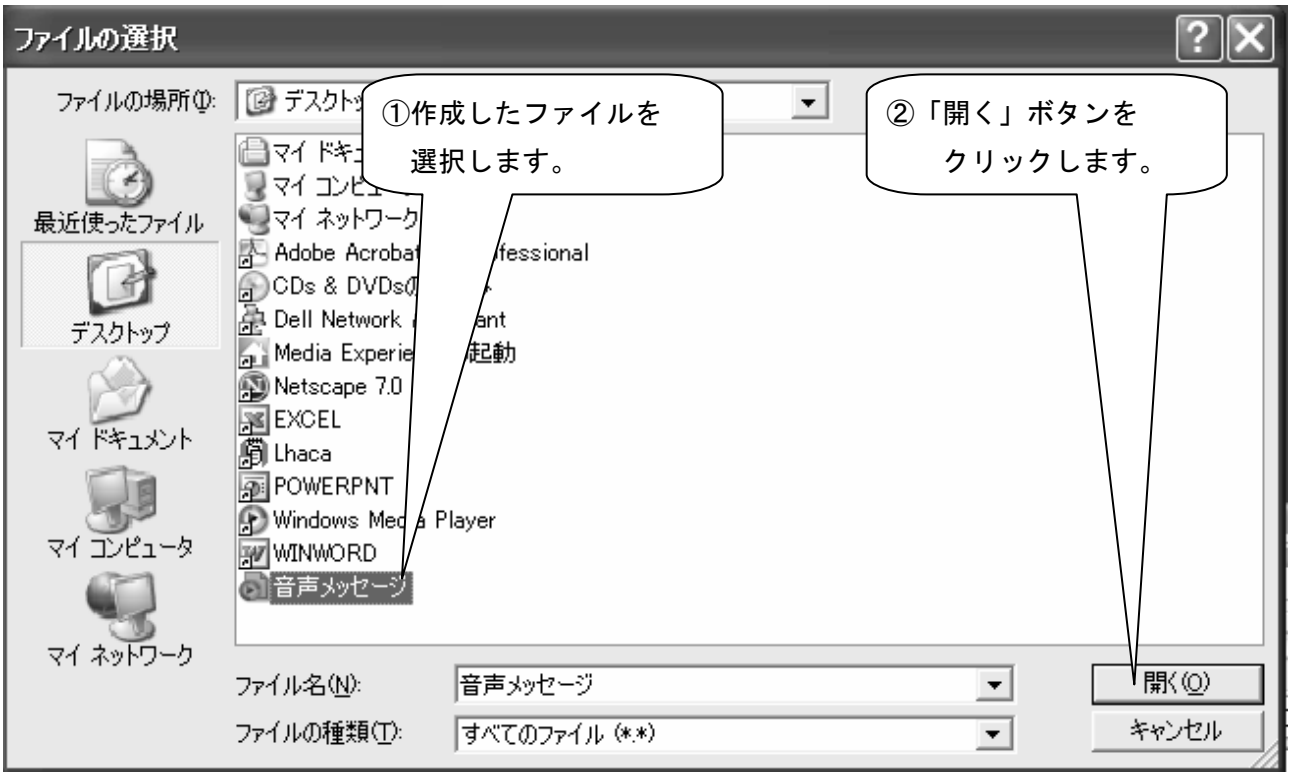
3．詳細設定画面が表示されますので操作メニューから「パーク保留音」または「自動応答メッセージ」をクリックします。



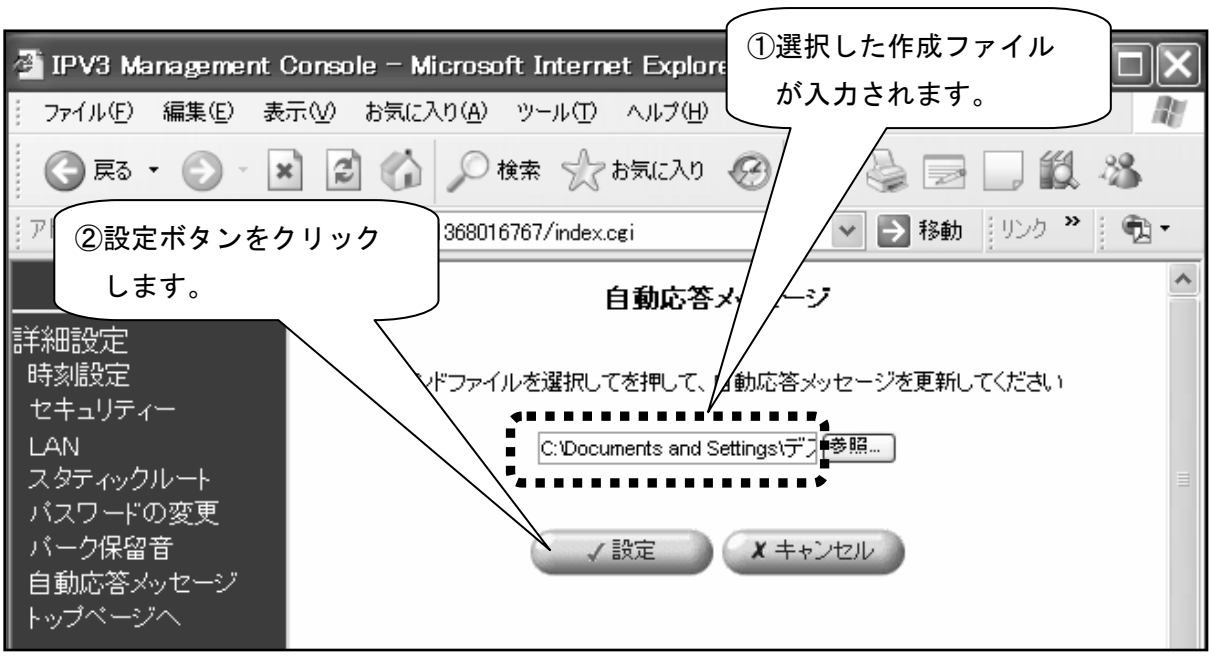
4．「自動応答メッセージ」の設定画面が表示されますので、参照ボタンをクリックします。
※「パーク保留音」を選択した場合も同じ書式の設定画面が表示されます。



5．ファイルの選択画面が表示されますので、作成したファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



６．参照ボタン左側に、選択したファイルが入力されますので、設定ボタンをクリックし本機にアップロードします。



アップロードが終了すると、以下の完了画面が表示されます。

ご注意

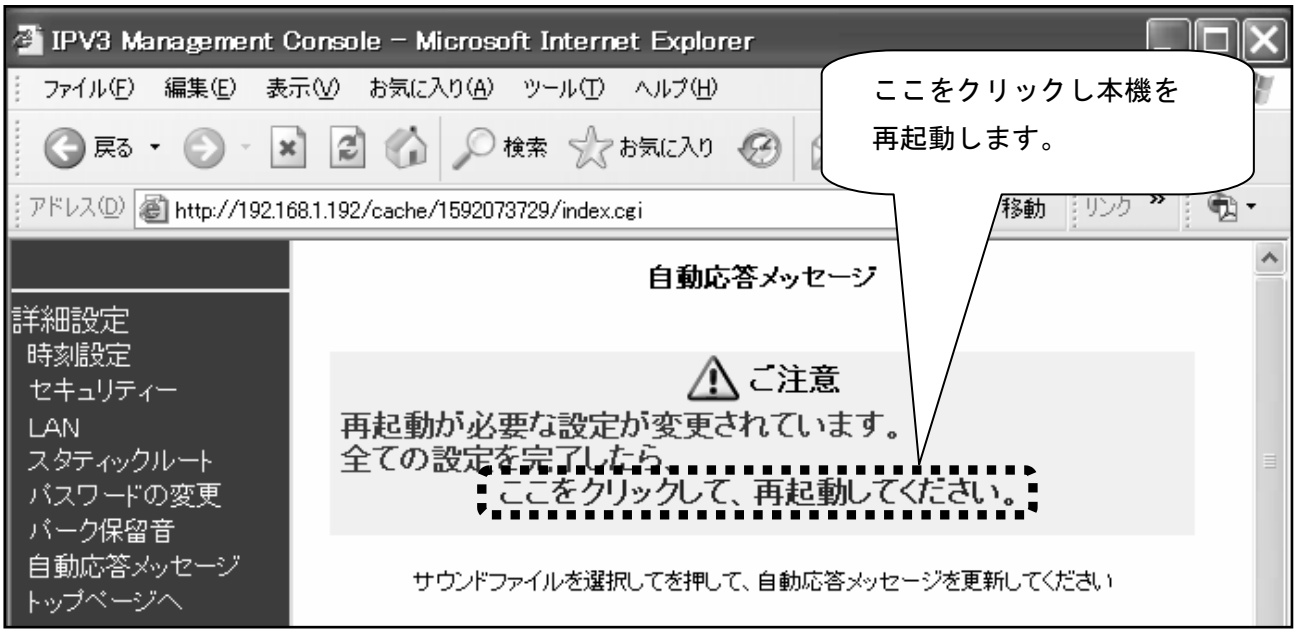
●指定以外の形式・属性・時間で作成されたファイルをアップロードした場合でも、上記の完了画面が表示される事がありますが、正常な置き換えはできませんのでご注意ください。

11.2.3　本機を再起動する

変更を有効にするため、本機を再起動します。

1．「閉じる」ボタンをクリックします。

2．以下の画面が表示されますので「再起動リンク先」をクリックし本機を再起動します。再起動後に置き換えたメッセージが有効となります。



以上で、「自動応答メッセージ」の置き換えが完了します。「パーク保留音」の場合も同様な手順で行ってください。

11.2.4　パーク保留音・自動応答メッセージを工場出荷時に戻すには

パーク保留音や自動応答メッセージを、お客様ご自身が作成されたものと置き換えてご使用されている場合、本機の初期化機能（11.4　本機の初期化：106 ページを参照ください）を使って全ての設定を工場出荷値に戻しても、置き換えられたデータは保持するようになっています。

置き換えられたあとに、再度工場出荷時のデータに戻される場合は、弊社ホームページの「IPV3」商品ページより「パーク保留音」及び「自動応答メッセージ」のデータファイルをダウンロードして頂き、同様な手順で本機にアップロードしてご使用ください。

また、指定のファイル形式・属性・時間以外の作成ファイルをアップロードした為に、各機能時に正常な再生ができなくなった場合も、データファイルをダウンロードして頂き、同様な手順で本機にアップロードしてご使用ください。

弊社ホームページアドレス

http://www.alexon.co.jp

11.3　本機設定の保存と復元

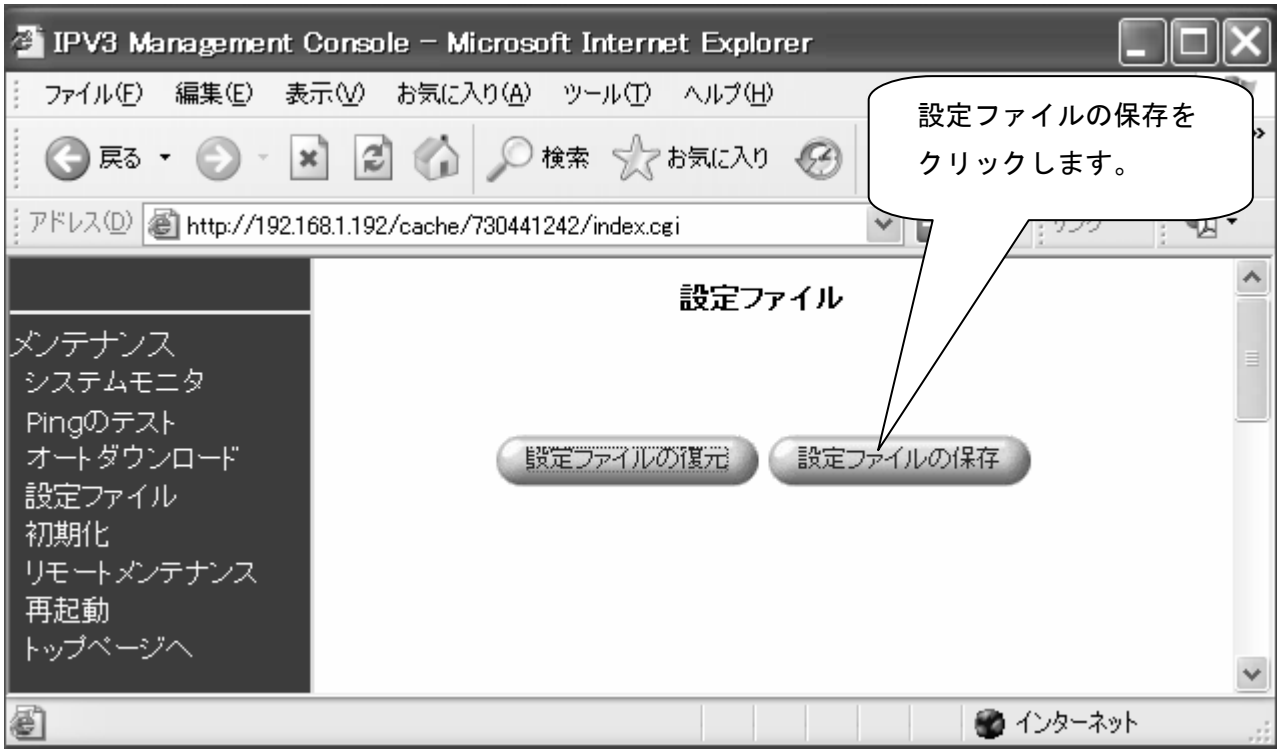
本機の各設定を、設定用ファイルとして一括で保存します。また保存した設定用ファイルを、本機にアップロードすることで、設定を一括復元します。

1．Web 設定画面の操作メニュー「その他の設定」から「メンテナンス」をクリックします。

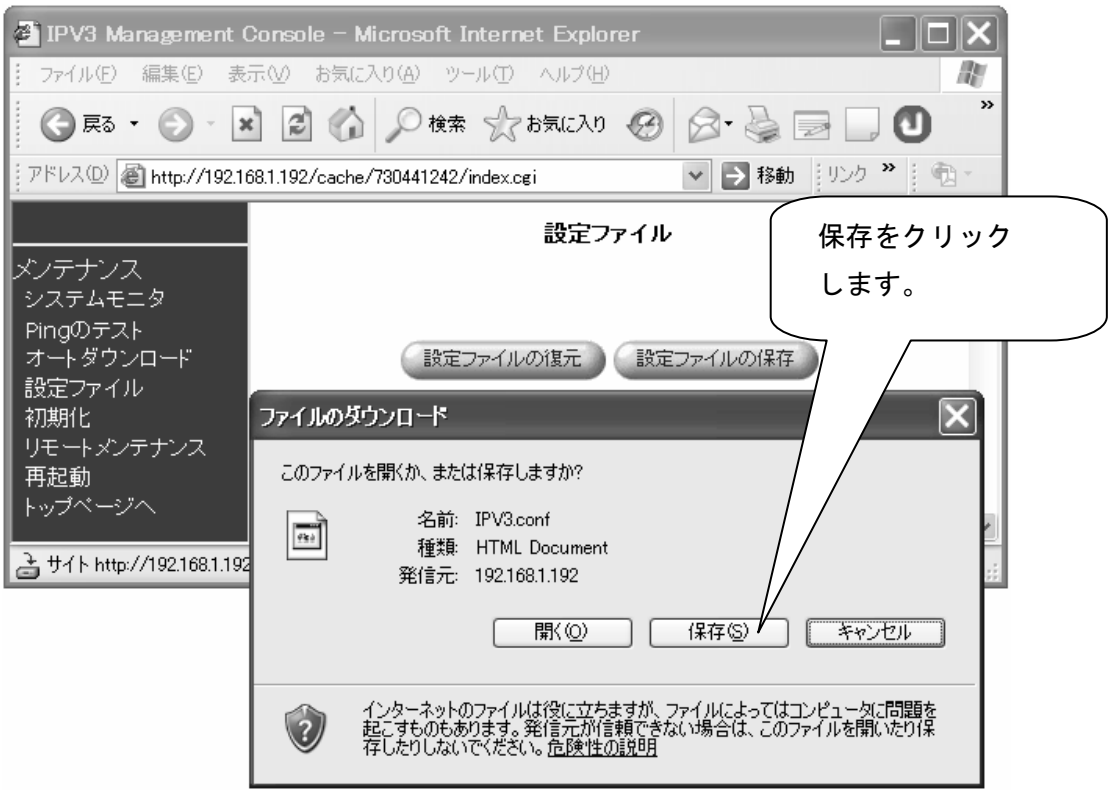
2．システムモニタ画面が表示されますので、操作メニューから「設定ファイル」をクリックします。

３．設定ファイルの操作画面が表示されます。「設定ファイルの保存」ボタンで、現在の設定を一括保存します。また、「設定ファイルの復元」ボタンで保存された設定ファイルを本機にアップロードし、全ての設定を復元します。

「設定ファイルの保存」をクリックします。



４．ファイルダウンロードの画面が表示されますので、「保存」をクリックします。

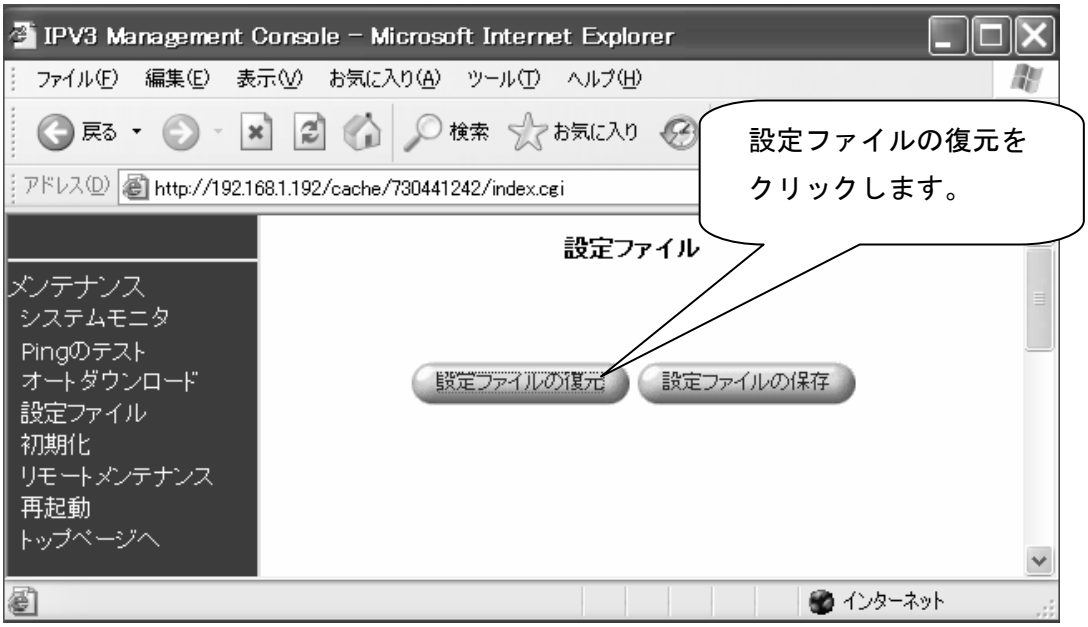


５．ファイルの保存場所を選択し、「保存」をクリックします。

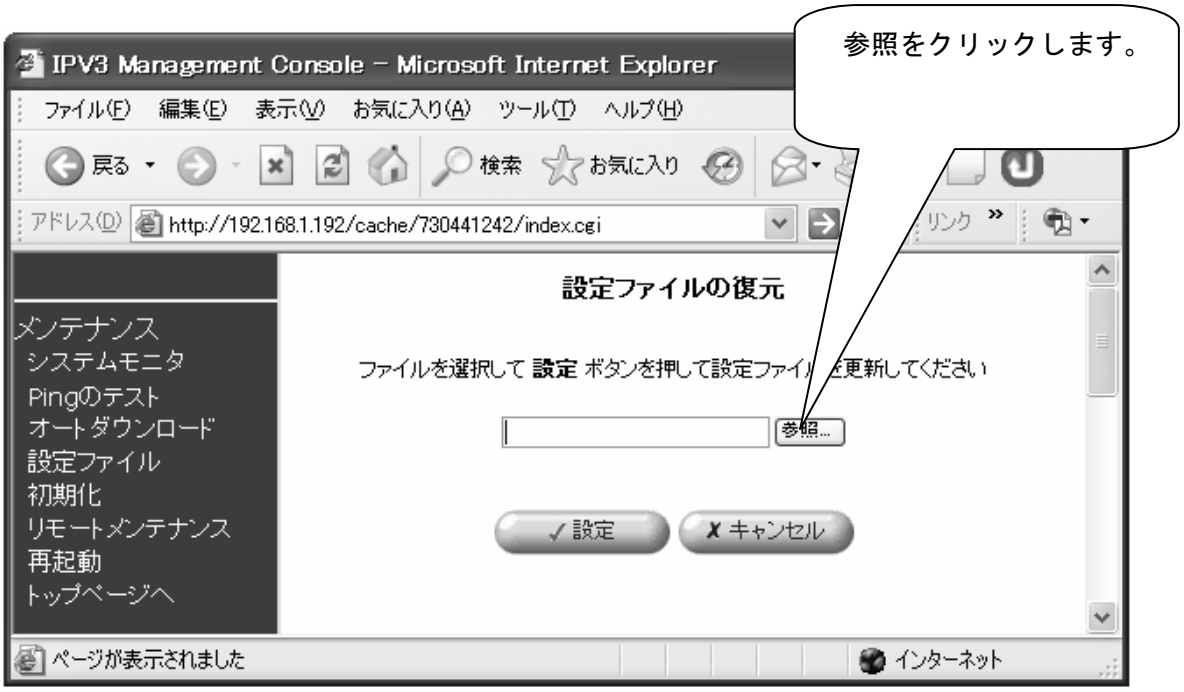
６．選択した保存場所に「IPV3.conf」のファイル名で、下記の設定ファイルが保存されます。
以上で設定ファイルの保存が完了します。

※ファイル名：IPV3.conf（初期値）

７.次に保存した設定ファイルを、本機にアップロードし、全ての設定を復元する場合の手順を記します。設定ファイルの操作画面で「設定ファイルの復元」をクリックします。

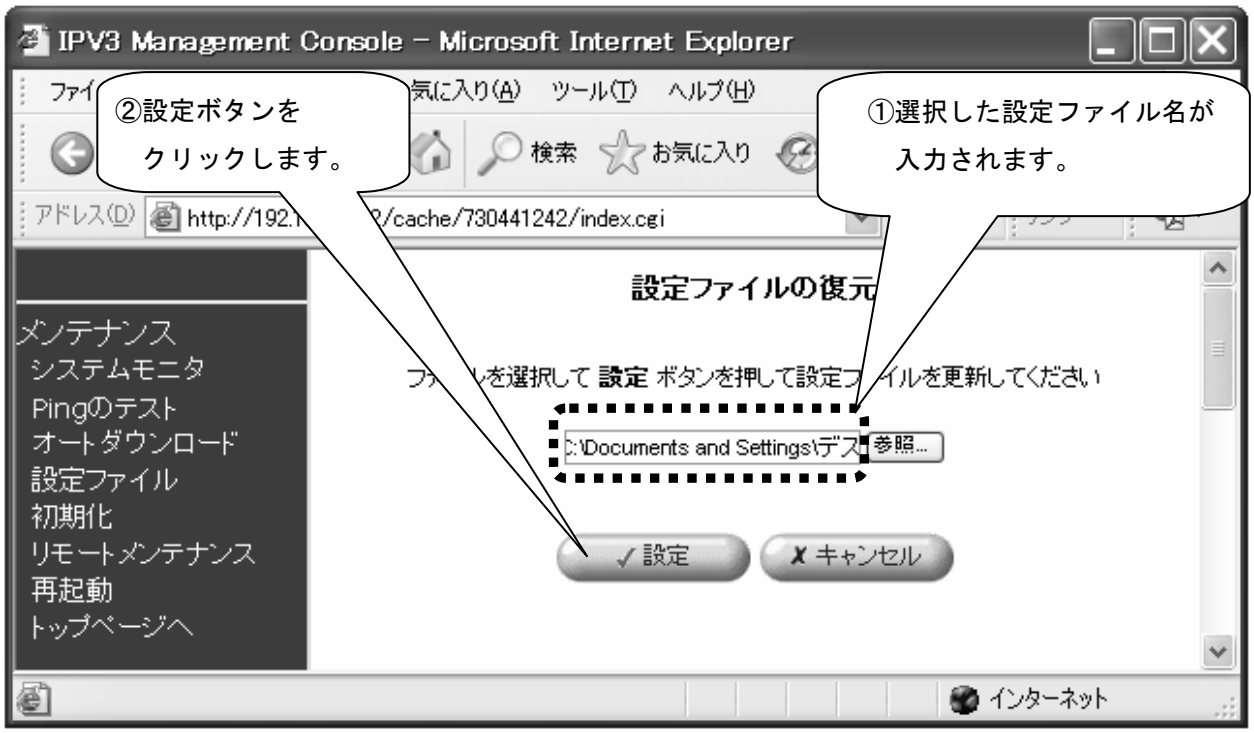


８．設定ファイルの復元操作画面が表示されますので、「参照」ボタンをクリックします。

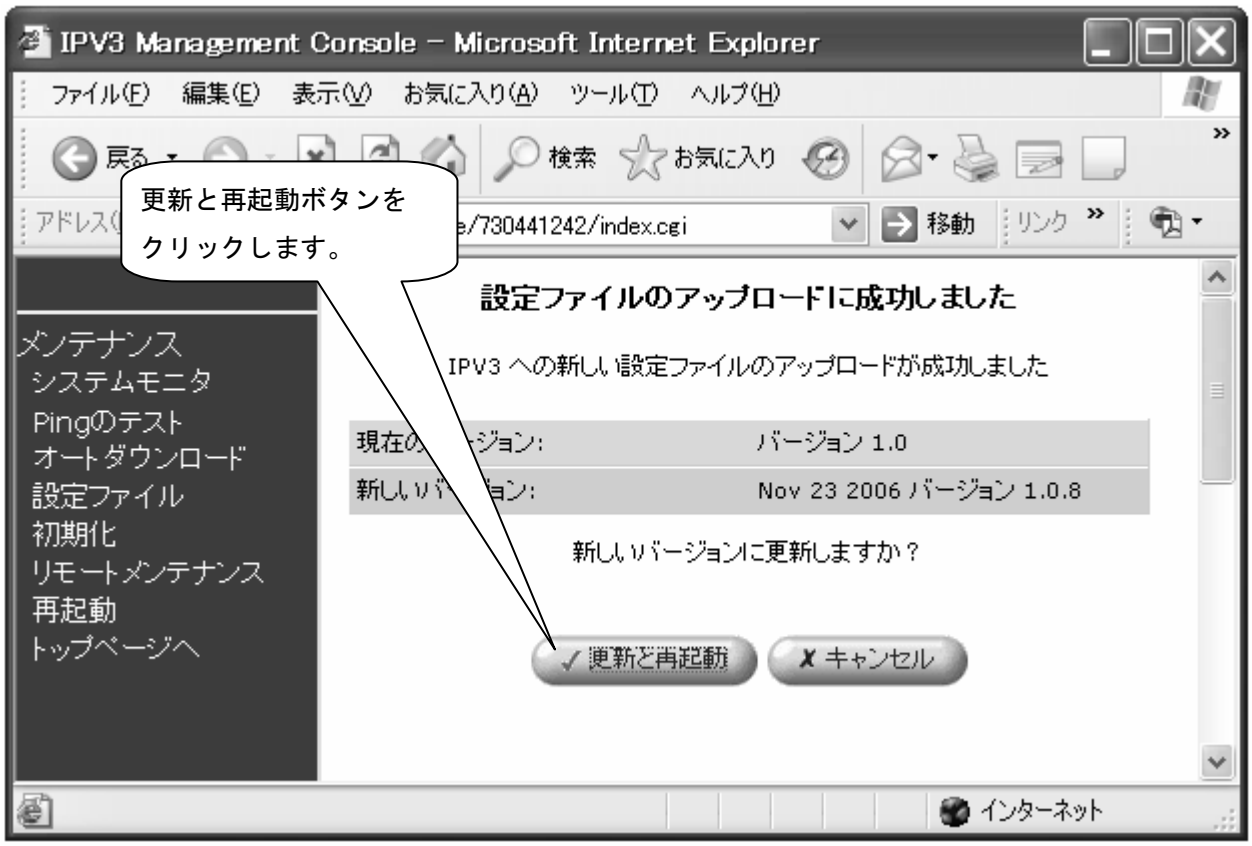


９．ファイルの選択画面が表示されますので、保存した設定ファイル「IPV3.conf」を選択し開くボタンをクリックします。

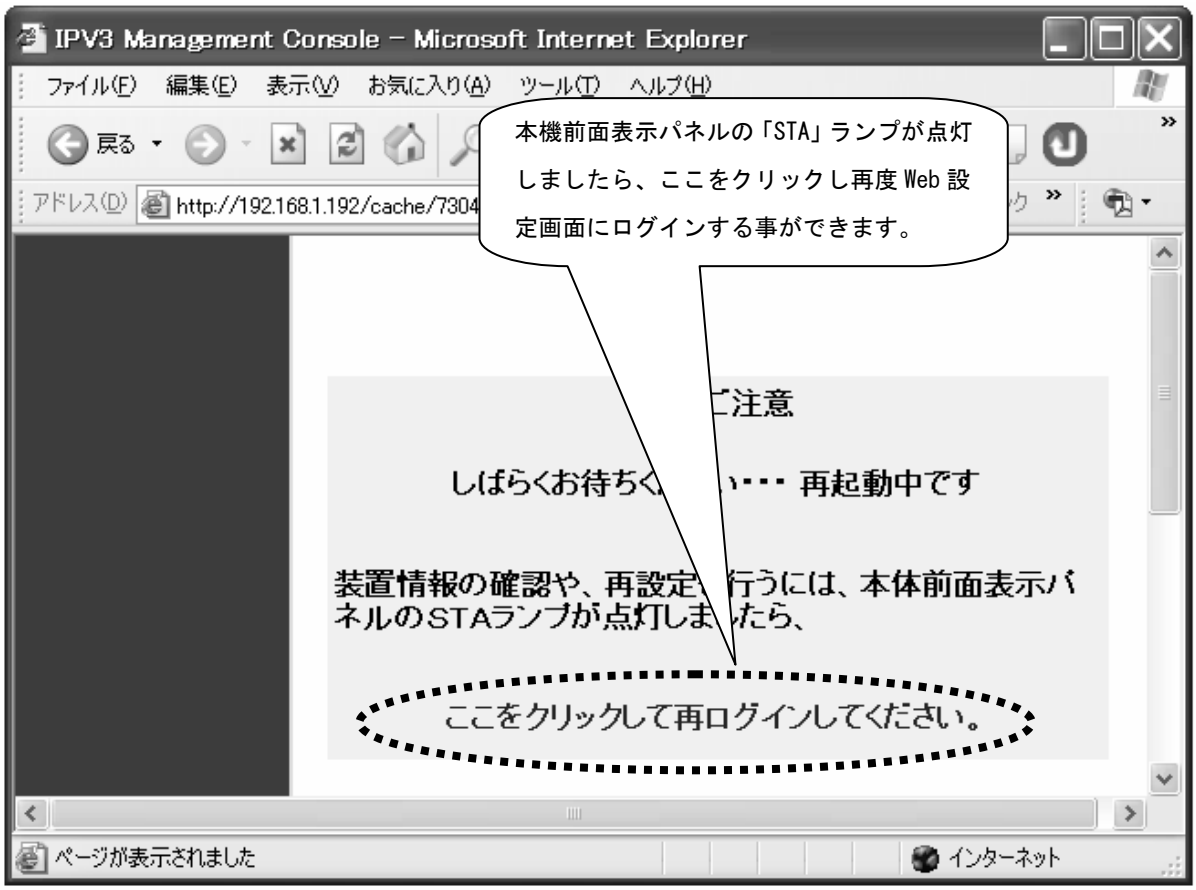
１０．設定ファイルの復元画面の参照ボタン左側に、選択したファイルが入力されますので、設定ボタンをクリックし本機にアップロードします。



１１．下記の「設定ファイルのアップロードに成功しました」の画面が表示されます。「更新と再起動」ボタンをクリックし、本機の設定を更新します。



１２.「更新と再起動」ボタンをクリックすると、下記の再起動中画面が表示されます。本機前面パネルの「STA」ランプが点灯しましたら再起動が完了し、本機はアップロードされた設定ファイルの内容で動作します。本機再起動後に、再度 Web 設定画面にログインするには「ここをクリックして再ログインしてください」をクリックします。



11.4　本機の初期化

本機は「全設定内容」を工場出荷時の初期状態に戻す事ができます。本機の全設定内容を初期化するには、次の手順で行ってください。

１．本機の電源が入った状態で「5.3　カバー内操作部」で説明しました「INI」スイッチを、本機前面表示ランプが全点灯するまで押し続けます。

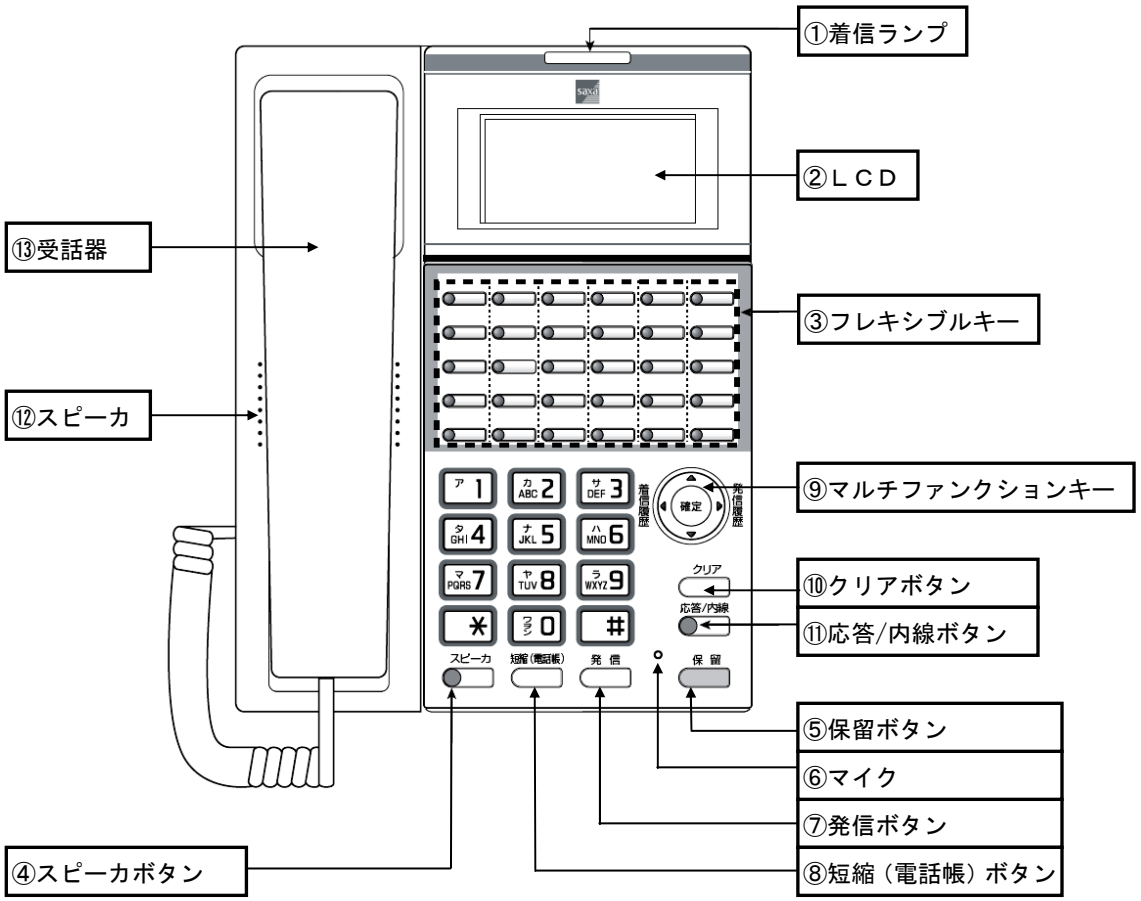
２．前面表示ランプ全点灯後「INI」スイッチを放し、本機が再起動するまでお待ちください。

３．前面表示ランプ「STA」点灯で再起動完了状態となります。設定していた内容が初期化され工場出荷値に戻ります。

※この操作を行うと、設定していた内容が全て工場出荷値に戻りますので十分にご注意ください。

12　IP電話機の使い方

12.1　各部の名称



①着信ランプ	内線着信時に点滅します。
②ＬＣＤ	時刻、メニュー、ダイヤル等の表示を行います。
③フレキシブルキー	外線着信ボタン、パークボタン、マイクボタン、代理応答ボタン等として使用します。
④スピーカボタン	スピーカ受話や、オンフックダイヤル時に使用します。
⑤保留ボタン	通話を自己保留する場合に使用します。
⑥マイク	ハンズフリーで通話する場合に使用します。
⑦発信ボタン	ダイヤル後、すぐに発信させたい場合に使用します。
⑧短縮(電話帳)ボタン	短縮ダイヤルや、電話帳で電話をかける場合に使用します。
⑨マルチファンクションキー	電話機の設定、短縮番号、発着信履歴の表示/選択等の操作に使用します。
⑩クリアボタン	ダイヤル入力時や、設定入力時に入力をキャンセルする場合に使用します。
⑪応答/内線ボタン	電話をかける時や、内線着信に応答する時に使用します。
⑫スピーカ	着信音や通話音声を聞くことができます。
⑬受話器	通話時に使用します。

12.2 電話をかける

12.2.1 受話器をあげてからダイヤルする

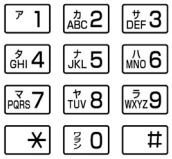
操作手順

1

①受話器をあげます。

・「プー」と言う発信音が受話器から聞こえます。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。



2

②電話番号をダイヤルします。（２桁の内線番号又は外線番号）

・最後にダイヤルボタンを押してから、設定時間後に自動的に発信し受話器から呼び出し音が聞こえます。

3

③相手が出たら、通話状態となります。

4

④通話が終わったら、受話器を置きます。

・応答/内線ボタンランプが消灯します。

・LCD に通話時間を 6 秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

ワンポイント

●操作手順②で電話番号をダイヤルした後、「発信」ボタンを押すとすぐにダイヤル発信することができます。

●電話番号を間違えた場合は、受話器を置いて、操作手順①からやり直してください。

12.2.2　受話器を置いたままダイヤルする

操作手順

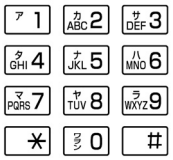
1

①「スピーカ」ボタンを押します。

・「プー」と言う発信音がスピーカから聞こえます。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

・スピーカボタンランプが赤点灯します。



2

②電話番号をダイヤルします。（２桁の内線番号又は外線番号）

・最後にダイヤルボタンを押してから、設定時間後に自動的に発信しスピーカから呼び出し音が聞こえます。

3

③相手が出たらスピーカから相手の声が聞こえます。受話器をあげれば通話状態となります。

・スピーカボタンランプが消灯します。

4

④通話が終わったら、受話器を置きます。

・応答/内線ボタンランプが消灯します。

・LCD に通話時間を 6 秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

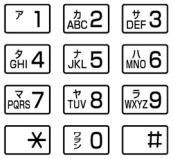
ワンポイント

●操作手順②で電話番号をダイヤルした後、「発信」ボタンを押すとすぐにダイヤル発信することができます。

●電話番号を間違えた場合は「スピーカ」ボタンを押して、操作手順①からやり直してください。

12.2.3　ダイヤル入力してから発信する

操作手順



1

①電話番号をダイヤルします。（２桁の内線番号又は外線番号）

・カレンダー/時計表示の状態から、相手先の番号を入力します。

2

②「発信」ボタンを押します。

・ダイヤル発信し、スピーカから呼び出し音が聞こえます。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

・スピーカボタンランプが赤点灯します。

3

③相手が出たらスピーカから相手の声が聞こえます。受話器をあげれば通話状態となります。

・スピーカボタンランプが消灯します。

4

④通話が終わったら、受話器を置きます。

・応答/内線ボタンランプが消灯します。

・LCD に通話時間を 6 秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

12.2.4　ドアホンを呼び出す

操作手順

1

①受話器をあげます。

・「プー」と言う発信音が受話器から聞こえます。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

2

②ドアホンに割り当て設定をした、内線番号（2 桁）をダイヤルします。

※ドアホンの内線番号割り当て設定は「構内放送・ドアホンの設定」（P73）を参照してください。

・最後にダイヤルボタンを押してから、設定時間後に自動的に発信しすぐに、ドアホンと通話状態になります。

3

③通話が終わったら、受話器を置きます。

・応答/内線ボタンランプが消灯します。

・LCD に通話時間を 6 秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

ワンポイント

●操作手順②で電話番号をダイヤルした後、「発信」ボタンを押すとすぐにダイヤル発信することができます。

●ドアホン呼び出しは、上記受話器をあげてからの操作のほか、通常の電話をかける場合と同様に受話器を置いたままダイヤルする（P109 参照）、及びダイヤル入力してから発信する(P110 参照)方法で行うことができます。

12.2.5　構内放送をする

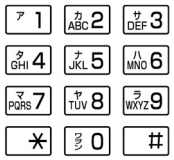
操作手順

1

①受話器をあげます。

・「プー」と言う発信音が受話器から聞こえます。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。



2

②構内放送に割り当て設定をした呼び出し番号（2 桁）をダイヤルします。

※構内放送呼び出し番号の割り当て設定は、「構内放送・ドアホンの設定」（P73）を参照してください。

・最後にダイヤルボタンを押してから、設定時間後に自動的に発信します。

3

③受話器から呼び出し音が聞こえます。受話器からの呼び出し音が止まったら放送を行います。

4

④放送が終わったら受話器を置きます。

・応答/内線ボタンランプが消灯します。

・LCD に通話時間を 6 秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

●操作手順②で電話番号をダイヤルした後、「発信」ボタンを押すとすぐにダイヤル発信することができます。

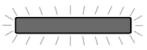
●構内放送は、上記受話器をあげてからの操作のほか、通常の電話をかける場合と同様に「受話器を置いたままダイヤルする（P109 参照）」及び「ダイヤル入力してから発信する(P110 参照)」方法で行うことができます。

12.3 電話を受ける

12.3.1 内線相手からの電話を受ける

操作手順

1 ①着信音が鳴動し、着信ランプが赤点滅します。



・応答/内線ボタンランプが赤点滅します。

・電話帳に登録した相手からかかってきた場合は、登録した名前が表示されます。

2 ②受話器をあげて通話します。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

・着信ランプが消灯します。

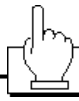
・着信音が停止します。

3 ③通話が終了したら受話器をおきます。

・応答/内線ボタンランプが消灯します。

・LCD に通話時間を 6 秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

※相手が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。



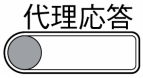
ワンポイント

●操作手順①の状態で、応答/内線ボタンまたはスピーカボタンを押すことにより、スピーカ受話状態で着信に応答することができます。

12.3.2 他の内線着信に代理応答する

自分以外にかかってきた内線着信に応答することができます。

操作手順



1 ①自分以外の電話が内線着信中に、代理応答ボタンを押します。

・内線着信のあった電話機の着信音が停止します。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

・スピーカボタンランプが赤点灯します。

※「代理応答ボタン」は、本機の自動設定でフレキシブルキーの「18キー」に割り当てられます。(P47～P49 参照)

2 ②相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげて通話します。

・スピーカボタンランプが消灯します。

12.3.3　外線相手からの電話を受ける

操作手順

1

①着信音が鳴動し、外線着信ボタンランプが赤点滅します。

※「外線着信ボタン」には、フレキシブルキーに割り当てられた「IP 外線着信時の捕捉ボタン」と「INS 外線着信時の捕捉ボタン」の二つがあります。(P47～P49 参照)

2

②受話器をあげ、赤点滅している外線着信ボタンを押して通話します。

・外線着信ボタンランプが緑点灯します。

・着信音が停止します。

3

③通話が終了したら受話器をおきます。

・外線着信ボタンランプが消灯します。

・LCD に通話時間を 6 秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

ワンポイント

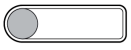
●操作手順①の状態で、赤点滅している外線着信ボタン押すことにより、スピーカ受話状態で着信に応答することができます。

12.3.4　通話中にかかってきた別の電話を受ける

操作手順

1

①通話中に外線着信ボタンランプが赤点滅します。



2

②通話中の相手に別の着信があることを伝え、赤点滅している外線着信ボタンを押し、別の着信に応答します。

・応答/内線ボタンランプまたは、緑点灯していた外線着信ボタンランプが消灯します。(最初に通話していた相手の電話は、切断されます。)

・あらたに着信し、赤点滅していた外線着信ボタンランプが、緑点灯します。

12.3.5　ドアホンに応答する

操作手順

1

①ドアホン側の呼び出しボタンが押されると、着信音が鳴動し INS 外線着信ボタンランプが赤点滅します。

※「外線着信ボタン」には、フレキシブルキーに割り当てられた「IP 外線着信時の捕捉ボタン」と「INS 外線着信時の捕捉ボタン」の二つがあります。本機の自動設定では、ドアホンからの着信は INS 外線着信時の捕捉ボタンに割り当てられます。(P47～P49 参照)

2

②受話器をあげ、赤点滅している INS 外線着信ボタンを押して通話します。

・INS 外線着信ボタンランプが緑点灯します。

・着信音が停止します。

3

③通話が終了したら受話器をおきます。

・INS 外線着信ボタンランプが消灯します。

・LCD に通話時間を 6 秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

※ドアホンとの通話は受話器を置くことで切断されます。

ワンポイント

●操作手順①の状態で、赤点滅している外線着信ボタン押すことにより、スピーカ受話状態で着信に応答することができます。

●ドアホンとの通話は、通常の通話と同様に「自己保留」、「自己保留状態からの内線転送」、「パーク保留」を行うことができます。

12.4　通話を保留する

12.4.1　自己保留と保留解除（オフフック操作）

操作手順

1

①相手との通話中に保留ボタンを押します。（自己保留）

・受話器から「ププププ」と言う発信音が聞こえます。

・通話中の相手には保留音が流れます。

・内線通話の場合は応答/内線ボタンランプが赤点滅します。

・外線通話の場合は応答/内線ボタンランプが赤点灯し、外線着信ボタンランプが緑点滅します。

・転送ボタンランプが赤点滅します。

※「転送ボタン」は、本機の自動設定でフレキシブルキーに割り当てられます。（P47～P49 参照）

2

②受話器を置きます。

・発信音が停止します。

・転送ボタンランプが消灯します。

・外線通話の場合は、応答/内線ボタンランプが消灯します。

3

③受話器をあげ、応答/内線ボタンまたは外線着信ボタンを押して、保留していた相手との通話を再開します。（保留解除）

・内線通話の場合は、応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

・外線通話の場合は、外線着信ランプが緑点灯します。

12.4.2　自己保留と保留解除（オンフック操作）

操作手順

保　留

1

①相手の通話をスピーカで聞いている時に、保留ボタンを押します。

・スピーカから「ププププ」と言う発信音が聞こえます。

・通話中の相手には保留音が流れます。

・内線通話の場合は応答/内線ボタンランプが赤点滅します。

・外線通話の場合は応答/内線ボタンランプが赤点灯し、外線着信ボタンランプが緑点滅します。

・転送ボタンランプが赤点滅します。

※「転送ボタン」は、本機の自動設定でフレキシブルキーに割り当てられます。（P47～P49 参照）

スピーカ

2

②スピーカボタンを押します。

・発信音が停止します。

・スピーカボタンランプが消灯します。

・転送ボタンランプが消灯します。

・外線通話の場合は、応答/内線ボタンランプが消灯します。

応答/内線

または

3

③応答/内線ボタンまたは外線着信ボタンを押して、保留していた相手と通話を再開します。（保留解除）

・内線通話の場合は、応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

・外線通話の場合は、外線着信ランプが緑点灯します。

・スピーカボタンランプが赤点灯します。

12.4.3　自己保留している通話を内線転送する

1. 転送先相手と通話をしてから転送する

操作手順

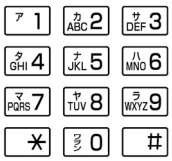
1

①通話中に保留ボタンを押します。

・受話器から「ププププ」と言う発信音が聞こえます。

・転送ボタンランプが赤点滅します。

※「転送ボタン」は、本機の自動設定でフレキシブルキーの「12 キー」に割り当てられます。(P47～P49 参照)



2

②転送先相手の内線番号(2 桁)をダイヤルします。

3

③発信ボタンを押します。

・呼び出し音が聞こえます。

・転送ボタンランプの赤点滅のしかたが変わります。

4

④相手がでたら通話します。

・転送ボタンランプが消灯します。

5

⑤相手に通話を転送する事を伝え、受話器をおきます。

・保留していた相手と転送先相手が通話状態となります。

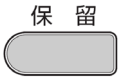
・応答/内線ボタンランプまたは、緑点滅していた外線着信ボタンランプが消灯します。

ご注意

●操作手順④の転送先相手との通話中に、保留中の相手が電話を切った場合には、転送する事はできません。(応答/内線ボタンランプの場合は赤点灯、外線着信ボタンランプの場合は消灯に変わります。)

２．転送先相手と通話せずに転送する

操作手順



1 ①通話中に保留ボタンを押します。

・受話器から「ププププ」と言う発信音が聞こえます。

・転送ボタンランプが赤点滅します。

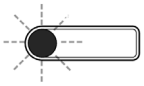
※「転送ボタン」は、本機の自動設定でフレキシブルキーの「12 キー」に割り当てられます。(P47～P49 参照)

2 ②転送先相手の内線番号(2 桁)をダイヤルします。

3 ③発信ボタンを押します。

・呼び出し音が聞こえます。

・転送ボタンランプの赤点滅のしかたが変わります。



4 ④相手を呼び出し中に、赤点滅している転送ボタンを押します。

5 ⑤転送先相手が応答した時点で、保留中の相手と転送先相手が通話状態となります。

・転送ボタンランプが消灯します。

・応答/内線ボタンランプまたは、緑点滅していた外線着信ボタンランプが消灯します。

ご注意

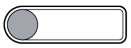
●操作手順②の転送先相手番号ダイヤル中に、保留中の相手が電話を切った場合には、転送する事はできません。(応答/内線ボタンランプの場合は赤点灯、外線着信ボタンランプの場合は消灯に変わります。)

●転送失敗時は、応答/内線ボタンランプの場合は赤点滅、外線着信ボタンランプの場合は緑点滅しますので、保留を解除し元の保留相手と通話してください。

12.4.4　パーク保留

1. パーク保留する

操作手順



1

①通話中にパーク保留ボタンを押します。

・受話器から「プップップッ」と言う発信音が聞こえます。

・通話中の相手には、保留音が流れます。

・押されたパーク保留ボタンランプが、赤点滅します。

※「パーク保留ボタン」は、本機の自動設定でフレキシブルキーに割り当てられた、グループ毎の保留ボタンです。(P47～P49 参照)

2. パーク保留に応答する

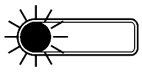
操作手順

1

①受話器をあげます。

・受話器から「プー」と言う発信音が聞こえます。

・応答/内線ボタンランプが点灯します。



2

②赤点滅しているパーク保留ボタンを押して、保留中の相手と通話します。

・パーク保留ボタンランプが消灯します。

3. パーク保留中の通話があることを他の内線に知らせる

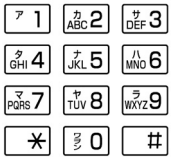
操作手順

1

①パーク保留ボタンを押したあと、受話器をおきます。

・発信音が停止します。

※受話器を置くことでパーク保留した電話機は切断状態となり、内線及び外線での、あらたな発着信ができます。



2

②受話器をあげ、知らせたい内線相手の番号（2 桁）をダイヤルし、内線通話を行い、相手に知らせます。

●パーク保留中の通話があることを知らせるには、上記のほかにパーク保留に再応答し、自己保留してからの内線転送(P118 参照)や、構内放送を使って(P112 参照)行うことができます。

12.5　便利な使い方

12.5.1　電話帳を新規登録する

電話機の操作メニューを使って電話帳を登録することができます。

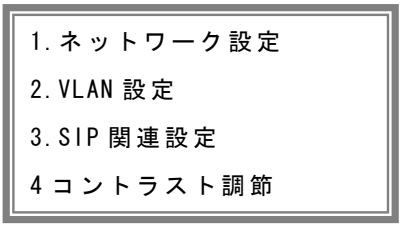
（登録例）　電話番号：１２３４　　短縮番号　：０５

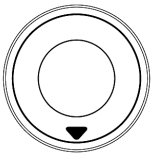
表示名　：アレクソン　　ワンタッチ：７キー

操作手順

1

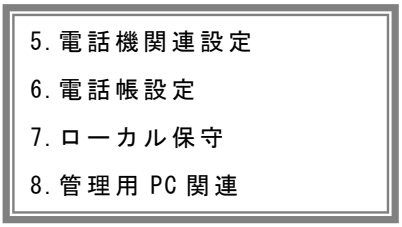
①カレンダー表示をしている状態で
確定ボタンを押します。





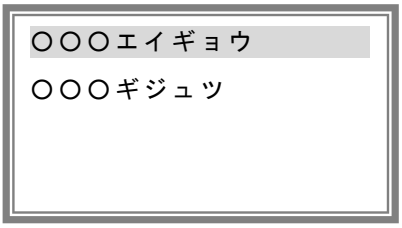
2

②[▼]ボタンを押します。



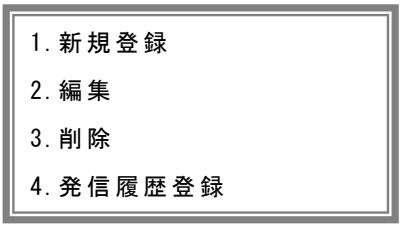
3

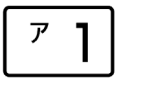
③6 キー（電話帳設定）を選択します。



4

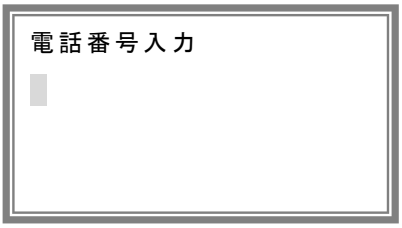
④確定ボタンを押します。

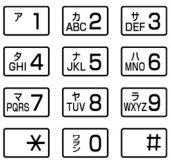




5

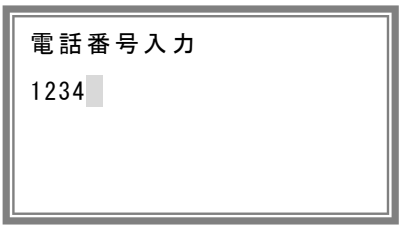
⑤1 キー（新規登録）を選択します。





6

⑥電話番号を入力します。



操作手順

確定 **7** ⑦確定ボタンを押します。

```
発信時特番付加
1.しない
2.する
```

ア 1 **8** ⑧1 キー（しない）を選択します。

```
発信時特番付加
1.しない
2.する
1
```

確定 **9** ⑨確定ボタンを押します。

```
表示名称入力
```

ア 1 カ 2 サ 3
タ 4 ナ 5 ハ 6
マ 7 ヤ 8 ラ 9
＊ ワ 0 ＃

10 ⑩ダイヤルボタンを押して表示名称を入力します。（例：アレクソン）

```
表示名称入力
アレクソン
```

ア ― レ ― ク ―
ア 1 ラ 9 ラ 9 ラ 9 ラ 9 カ 2 カ 2 カ 2

― ソ ― ン ―
サ 3 サ 3 サ 3 サ 3 サ 3 ワ 0 ワ 0 ワ 0

・[▶] ボタンで文字を確定させることができます。
・クリアボタンで前の一文字を削除することができます。
・濁点（ ゛）は ＊ ボタンで入力します。

確定 **11** ⑪確定ボタンを押します。
・入力している電話番号を短縮番号登録します。短縮登録しない場合は操作手順 13 に進みます。

```
短縮番号入力
```

ア 1 カ 2 サ 3
タ 4 ナ 5 ハ 6
マ 7 ヤ 8 ラ 9
＊ ワ 0 ＃

12 ⑫短縮番号(00～99)を入力します。

```
短縮番号入力
05
```

操作手順

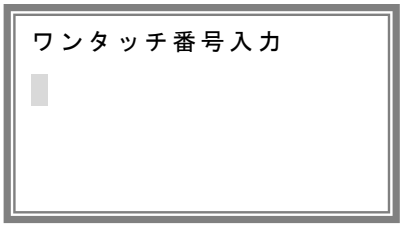
確定

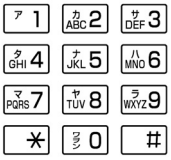
13

⑬確定ボタンを押します。

・短縮番号が既に登録されている場合は上書きの確認表示をします。上書きを行わない場合は、別の短縮番号を入力してください。

・ワンタッチ番号を登録しない場合は操作手順 15 に進みます。

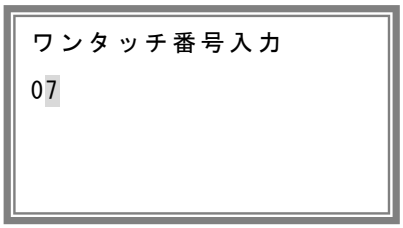




14

⑭ワンタッチ番号(2 桁)を入力します。

・ワンタッチ番号は本機の自動設定で割り当てされている番号（フレキシブルキー番号）が使用できます。(使用できる番号は P47～49 を参照)

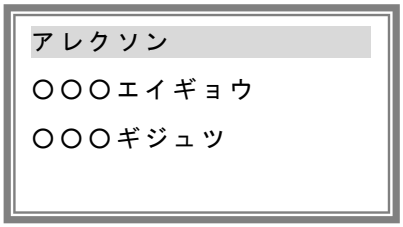


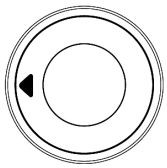
確定

15

⑮確定ボタンを押します。

・ワンタッチ番号が既に登録されている場合は、上書きの確認表示をします。上書きを行わない場合は、別のワンタッチ番号を入力してください。





16

⑯[◀] ボタンを２回押し、メニューを終了します。

ご注意

●ワンタッチ番号には本機の自動設定で割り当てた、以下のフレキシブルキー番号がご使用できます。詳しくは、P47～49「9.3.4　フレキシブルキーの割当」を参照してください。

・IP 電話機 4 台の構成時　：01～05、07～11、13～17、23、24、29、30

・IP 電話機 8 台の構成時　：01～05、07～11、13～17

・IP 電話機 16 台の構成時　：01～05、07～11、15～17

12.5.2　電話帳を編集する

電話機の操作メニューを使って、登録した電話帳内容を編集することができます。

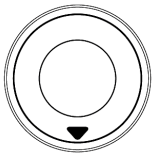
（編集例）　電話番号の変更　1234　→　4567

操作手順

1

①カレンダー表示をしている状態で
確定ボタンを押します。

1.ネットワーク設定
2.VLAN 設定
3.SIP 関連設定
4 コントラスト調節



2

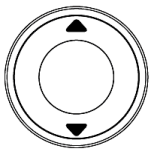
②[▼]ボタンを押します。

5.電話機関連設定
6.電話帳設定
7.ローカル保守
8.管理用 PC 関連

3

③6 キー（電話帳設定）を選択します。

アレクソン
○○○エイギョウ
○○○ギジュツ



4

④[▲]ボタンまたは[▼]ボタンで編集したい登録情報を選択します。
※ダイヤルボタンで頭出し検索することができます。

アレクソン
○○○エイギョウ
○○○ギジュツ

5

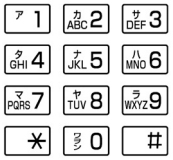
⑤確定ボタンを押します。

1.新規登録
2.編集
3.削除
4.発信履歴登録

6

⑥２キー（編集）を選択します。

電話番号入力
1234



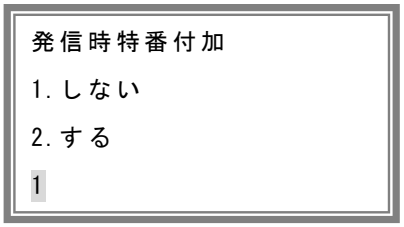
7

⑦変更する電話番号を入力します。

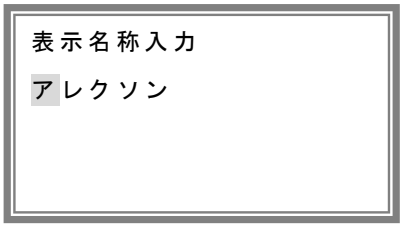
電話番号入力
4567

操作手順

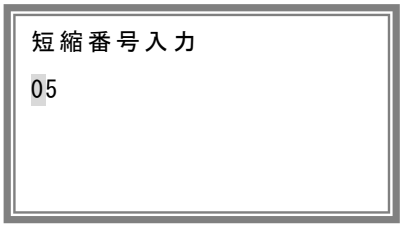
確定 8 ⑧確定ボタンを押します。



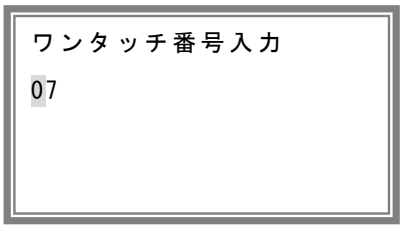
確定 9 ⑨確定ボタンを押します。



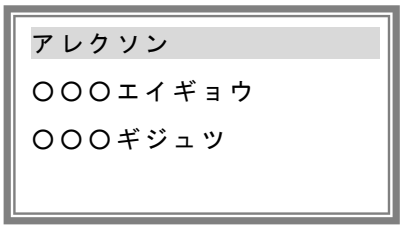
確定 10 ⑩確定ボタンを押します。



確定 11 ⑪確定ボタンを押します。



確定 12 ⑫確定ボタンを押します。



13 ⑬[◀] ボタンを２回押し、メニューを終了します。

12.5.3　電話帳を削除する

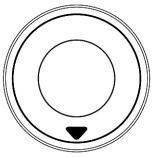
電話機の操作メニューを使って、登録した電話帳内容を削除することができます。

操作手順

1

①カレンダー表示をしている状態で
確定ボタンを押します。

1.ネットワーク設定
2.VLAN 設定
3.SIP 関連設定
4 コントラスト調節



2

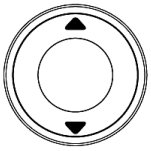
②[▼]ボタンを押します。

5.電話機関連設定
6.電話帳設定
7.ローカル保守
8.管理用 PC 関連

3

③6 キー（電話帳設定）を選択します。

アレクソン
○○○エイギョウ
○○○ギジュツ



4

④[▲]ボタンまたは[▼]ボタンで削除したい登録情報を選択します。
※ダイヤルボタンで頭出し検索することができます。

アレクソン
○○○エイギョウ
○○○ギジュツ

5

⑤確定ボタンを押します。

1.新規登録
2.編集
3.削除
4.発信履歴登録

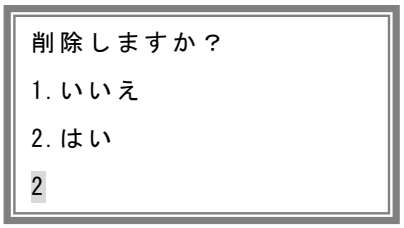
6

⑥３キー（削除）を選択します。

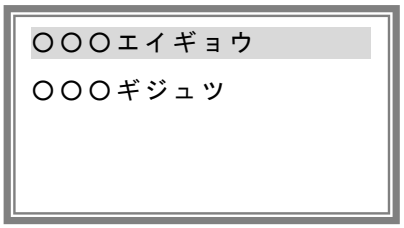
削除しますか？
1.いいえ
2.はい
1

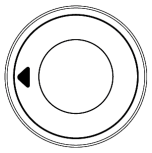
操作手順

7 ⑦２キー（はい）を選択します。



8 ⑧確定ボタンを押します。





9 ⑨[◀] ボタンを２回押し、メニューを終了します。

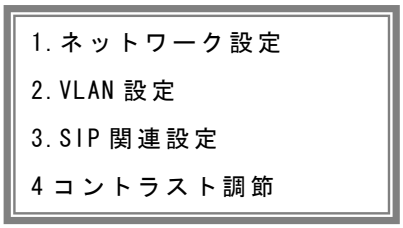
12.5.4　発着信履歴から電話帳を登録する

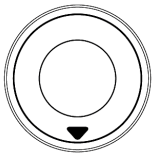
電話機の操作メニューを使って、発着信履歴から電話帳を登録することができます。

操作手順

1

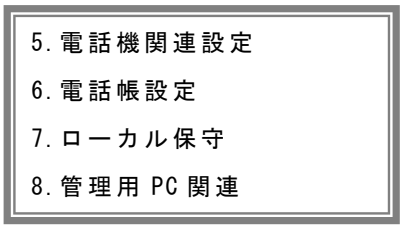
①カレンダー表示をしている状態で
確定ボタンを押します。





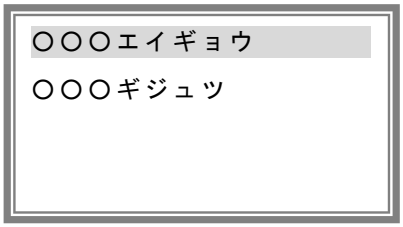
2

②[▼]ボタンを押します。



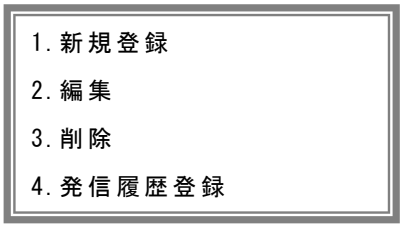
3

③6 キー（電話帳設定）を選択します。



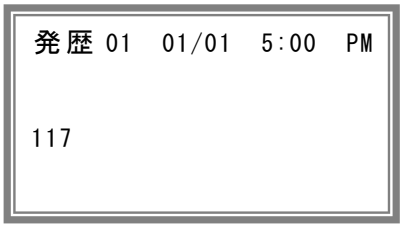
4

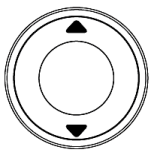
④確定ボタンを押します。



5

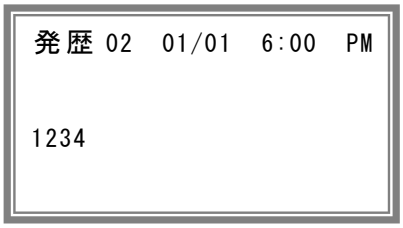
⑤4 キー（発信履歴登録）、または 5 キー
（着信履歴登録）を選択します。
・履歴が無い場合は選択できません。





6

⑥[▲]ボタンまたは[▼]ボタンで登録し
たい履歴を選択します。



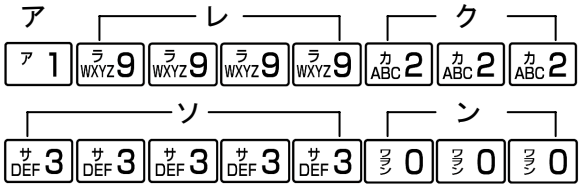
7

⑦確定ボタンを押します。

操作手順

8

⑧ダイヤルボタンを押して表示名称を入力します。(例：アレクソン)



表示名称入力
アレクソン

・[▶] ボタンで文字を確定させることができます。
・クリアボタンで前の一文字を削除することができます。
・濁点(゛)は ＊ ボタンで入力します。

確定

9

⑨確定ボタンを押します。
・入力している電話番号を短縮番号登録します。短縮登録しない場合は操作手順 11 に進みます。

短縮番号入力

10

⑩短縮番号(00～99)を入力します。

短縮番号入力
05

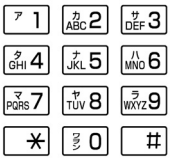
確定

11

⑪確定ボタンを押します。
・短縮番号が既に登録されている場合は上書きの確認表示をします。上書きを行わない場合は、別の短縮番号を入力してください。
・ワンタッチ番号を登録しない場合は操作手順 13 に進みます。

ワンタッチ番号入力

操作手順



12 ⑫ワンタッチ番号(2 桁)を入力します。

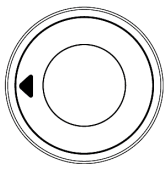
・ワンタッチ番号は本機の自動設定で割り当てされている番号（フレキシブルキー番号）が使用できます。(使用できる番号は P47～49 を参照)

ワンタッチ番号入力
07

13 ⑬確定ボタンを押します。

・ワンタッチ番号が既に登録されている場合は、上書きの確認表示をします。上書きを行わない場合は、別のワンタッチ番号を入力してください。

アレクソン
〇〇〇エイギョウ
〇〇〇ギジュツ



14 ⑭[◀] ボタンを２回押し、メニューを終了します。

ご注意

●ワンタッチ番号には本機の自動設定で割り当てた、以下のフレキシブルキー番号がご使用できます。詳しくは、P47～49「9.3.4　フレキシブルキーの割当」を参照してください。

・IP 電話機 4 台の構成時　：01～05、07～11、13～17、23、24、29、30
・IP 電話機 8 台の構成時　：01～05、07～11、13～17
・IP 電話機 16 台の構成時　：01～05、07～11、15～17

12.5.5　電話帳を使って電話をかける

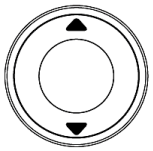
操作手順

短縮(電話帳)

1　①短縮（電話帳）ボタンを押します。

短縮(電話帳)

2　②もう一度、短縮（電話帳）ボタンを押します。



3　③[▲]ボタンまたは[▼]ボタンで登録された電話帳から相手を探します。

・ダイヤルボタンを使って、頭出し検索が行えます。
・クリアボタンで時計表示に戻ります。
・[▶]ボタンで詳細情報が確認できます。

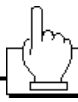
発 信

4　④発信ボタンを押します。

・表示されている電話帳の番号に発信し、呼び出し音が聞こえます。
・スピーカボタンランプが赤点灯します。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

5　⑤相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげて通話します。

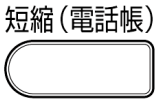


ワンポイント

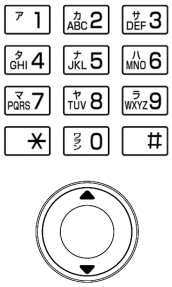
●IP 電話機の電話帳は、IP フォンマネージャ（設定用ソフト）を使用して登録することもできます。IP フォンマネージャでの電話帳登録については、ご購入の販売店または弊社営業担当までご連絡ください。

12.5.6　短縮ダイヤルを使って電話をかける

操作手順

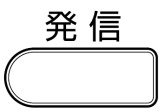


1　①短縮（電話帳）ボタンを押します。



2　②短縮番号（00～99）をダイヤルします。

・短縮番号が不明な場合、任意の短縮番号をダイヤルしたあと[▼]ボタンまたは[▲]ボタンを押し、短縮ダイヤルを選択することができます。



3　③発信ボタンを押します。

・表示されている電話帳の番号に発信し、呼び出し音が聞こえます。
・スピーカボタンランプが赤点灯します。
・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

4　④相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげて通話します。

・スピーカボタンランプが消灯します。

ワンポイント

●IP 電話機の短縮ダイヤルは、IP フォンマネージャ（設定用ソフト）を使用して登録することもできます。IP フォンマネージャでの短縮ダイヤル登録については、ご購入の販売店または弊社営業担当までご連絡ください。

12.5.7　ワンタッチダイヤルを使って電話をかける

操作手順

1　①ワンタッチボタンを押します。

・登録されているダイヤルが表示されます。

・他のワンタッチボタンを押すことで、ワンタッチダイヤルを選択することができます。

※「ワンタッチボタン」は電話帳登録された番号をフレキシブルキーに割り当てて使用します。(P107：ワンタッチ番号の登録を参照)

2　②発信ボタンを押します。

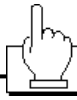
・表示されているワンタッチダイヤルの番号に発信し、呼び出し音が聞こえます。

・スピーカボタンランプが赤点灯します。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

3　③相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげて通話します。

・スピーカボタンランプが消灯します。



ワンポイント

●IP 電話機のワンタッチダイヤルは、IP フォンマネージャ（設定用ソフト）を使用して登録することもできます。IP フォンマネージャでのワンタッチダイヤル登録については、ご購入の販売店または弊社営業担当までご連絡ください。

12.5.8　発信履歴を使って電話をかける

操作手順

1

①発信履歴ボタン[▶]を押します。

・最後に発信したダイヤルが表示されます。

・[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押すことで、過去の発信履歴を選択することができます。

発 信

2

②かけたい番号が表示されたら、発信ボタンを押します。

・表示されている発信履歴の番号に発信し、呼び出し音が聞こえます。

・スピーカボタンランプが赤点灯します。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

3

③相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげて通話します。

・スピーカボタンランプが消灯します。

12.5.9　着信履歴を使って電話をかける

操作手順

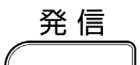
1

①着信履歴ボタン[◀]を押します。

・最後に着信したダイヤルが表示されます。

・[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押すことで、過去の着信履歴を選択することができます。

発 信



2

②かけたい番号が表示されたら、発信ボタンを押します。

・表示されている着信履歴の番号に発信し、呼び出し音が聞こえます。

・スピーカボタンランプが赤点灯します。

・応答/内線ボタンランプが赤点灯します。

3

③相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげて通話します。

・スピーカボタンランプが消灯します。

12.5.10 スピーカ受話で通話を聞く

操作手順

1 ①通話中にスピーカボタンを押します。

・スピーカボタンランプが赤点灯します。

・スピーカ受話に切り替わります。

・こちらの声は相手に聞こえなくなります。

2 ②受話器を置きます。

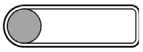
・受話器をあげるとスピーカ受話は解除され、受話器による通話に戻ります。

ワンポイント

●スピーカ受話中は、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンでスピーカ音量が調節できます。

12.5.11 ハンズフリーで通話する

操作手順

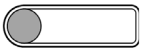


1 ①スピーカ受話中にマイクボタンを押します。

・マイクボタンランプが赤点灯します。

・電話機本体のスピーカとマイクを使って通話ができます。

※「マイクボタン」は、本機の自動設定でフレキシブルキーに割り当てられます。(P47～P49 参照)



2 ②マイクボタンを押します。

・マイクランプが消灯します。

・スピーカ受話に切り替わります。

ワンポイント

●あらかじめマイクボタンを押しておけば（マイクランプ点灯状態にしておけば）スピーカ受話状態になると、いつでもハンズフリーで応答できます。

13　ご参考

13.1　故障かな？と思ったら

症　状		原　因	確認　／　処置
PWRランプが点灯しない。		電源プラグが抜けている。	正しく接続されているかご確認ください。
		電源スイッチがオフになっている。	本機電源スイッチをご確認ください。
IP電話が使えない。	WANランプが消灯している。	LANケーブルやONU機器の問題。	LANケーブルの接続やONU機器の状態をご確認ください。
	VoIPランプが消灯している。	PPPoEの接続が完了していない。	PPPoEの設定をご確認ください。(P50参照)
		SIPプロキシーへの登録が完了していない。	SIPプロキシーの設定をご確認ください。 (P54参照) ※IP電話が「急に使えなくなった」場合等は、接続ケーブル、ONU機器、IP回線、ISP等の状態をご確認ください。
INSランプが点滅している。		INS接続ケーブルの問題。	正しく接続されているかご確実ください。
		INS接続ケーブルの極性間違い。	INS回線接続の極性をご確認ください。極性が間違って接続されている場合は、本機のRVS1、RVS2スイッチで変更してください。(P16参照)
		INS回線の問題。	INS回線をご確認ください。
PBXランプが点滅している。		PBX接続ケーブルの問題。	正しく接続されているかご確実ください。
		PBX接続ケーブルの極性間違い。	PBX接続の極性をご確認ください。極性が間違って接続されている場合は、本機のRVS3、RVS4スイッチで変更してください。(P16参照)
STAランプが消灯している。		ファームウェアが異常。	本機の電源を一旦切り、再度投入してください。本機の再起動後でもSTAランプが点灯しない場合は弊社サポートにご連絡ください。

※上記のご確認でも問題が解決できない場合は、お買いあげの販売店または弊社サポートセンターにお問い合わせください。お問い合わせの際には、以下の内容をご準備ください。

- Web 設定画面で本機設定を確認できるパソコン、本機と接続するための LAN ケーブル（接続の際には、「8 パソコン側を設定するには」をご参照ください。）
- 本機の製造番号（本機にシール記載しています。）
- 症状の発生時期（設置時？利用中？使用期間？）
- 症状の詳細

13.2　INSネット64の付加サービス対応

INS ネット 64 付加サービスの利用時は、発信の際に「0000」を最初に付加してください。

サービス名称	可否	サービス名称	可否
フレックスホン（キャッチホン）	×	INS ボイスワープ／INS ボイスワープセレクト	○
フレックスホン（通信中転送）	×	発信者番号通知	○
フレックスホン（三者通話）	×	INS なりわけサービス　※３	○
フレックスホン（着信転送）	×	INS ナンバー・リクエスト	○
ｉ・ナンバー	○	INS メンバーズネット　※３	○
ダイヤルイン	○	迷惑電話おことわりサービス	○
サブアドレス発信　※２	○	でんわばん	○
サブアドレス着信　※３	○	二重番号サービス	○
INS ナンバー・ディスプレイ	○	空いたらお知らせ１５９	○
ネーム・ディスプレイ　※２	○	代表取扱サービス　※１	○
Ｌモード	×	オフトーク通信	×
INS マジックボックス	△		

○　：本機で利用できる「INS ネット 64」の付加サービスです。（※接続する ISDN 機器がサービスに対応している必要があります。付加サービスの契約が必要です。）
△　：転送機能のみ利用できます。
×　：本機で利用できない「INS ネット 64」の付加サービスです。
※１： INS ネット 64 付加サービスの発信専用制御(インタフェース単位制御モード)の契約が必要です。
※２： 本機 TEL ポート及び PBX ポートに接続された端末にのみ対応します。
※３： 本機 PBX ポートに接続された端末にのみ対応します。

13.3　FUSION　IP-Phoneの付加サービス対応

サービス名称	可否	サービス名称	可否
チャネルアップサービス	○	代表着信サービス	○
特定番号通知サービス	○	着信転送サービス	○
クリックコールサービス	○		

○　：本機で利用できる「FUSION IP-Phone」の付加サービスです。（付加サービスの契約が必要な場合が有ります。）

13.4　ひかり電話アダプターの付加サービス対応

サービス名称	可否	サービス名称	可否
複数チャネル	○	ナンバーリクエスト	○
追加番号	○	ボイスワープ	○
ナンバーディスプレイ	○	迷惑電話おことわりサービス	○
FAX お知らせメール	○		

○　：本機で利用できる「ひかり電話アダプター」の付加サービスです。（付加サービスの契約が必要な場合が有ります。）

13.5　主な仕様

項　　目		機　能 / 仕　様
PSTN 回線ｲﾝﾀﾌｪｰｽ (INS1/2)	ﾎﾟｰﾄ数	2ﾎﾟｰﾄ(S/T バス付き)
	適用仕様	INS ﾈｯﾄ 64　TTC-G.961 準拠(TE 動作) (DSU 切離し機能、ﾌｧﾝﾄﾑ給電機能:ST1 のみ)
ｱﾅﾛｸﾞ端末ｲﾝﾀﾌｪｰｽ (TEL)	ﾎﾟｰﾄ数	1ﾎﾟｰﾄ
	適用仕様	NTT 技術参考資料「電話ｻｰﾋﾞｽのｲﾝﾀﾌｪｰｽ」準拠
ISDN 端末ｲﾝﾀﾌｪｰｽ (PBX1/2)	ﾎﾟｰﾄ数	2ﾎﾟｰﾄ
	適用仕様	INS ﾈｯﾄ 64　TTC-G.961 準拠(NT 動作)
WAN ｲﾝﾀﾌｪｰｽ (WAN)	ﾎﾟｰﾄ数	1ﾎﾟｰﾄ
	適用仕様	IEEE 802.3/802.3u 準拠 (10/100BASE-T/TX)
	その他	10/100M、Full/Half Auto Negotiation 機能 Auto_Crossover 機能
LAN ｲﾝﾀﾌｪｰｽ (LAN)	ﾎﾟｰﾄ数	1ﾎﾟｰﾄ
	適用仕様	IEEE 802.3/802.3u 準拠 (10/100BASE-T/TX)
	その他	10/100M、Full/Half Auto Negotiation 機能 Auto_Crossover 機能
ルータ機能	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	IPv4/TCP/UDP/ICMP/ARP
	ISP 接続方式	PPPoE (RFC2516 準拠) DHCP ｸﾗｲｱﾝﾄ
	LAN 接続方式	DHCP ｻｰﾊﾞ
	NAT 機能	NAPT(IP ﾏｽｶﾚｰﾄﾞ)
	IP ﾌｨﾙﾀﾘﾝｸﾞ	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ/ﾎﾟｰﾄ
	IP ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ	ｽﾀﾃｨｯｸ
	QoS 機能	TOS 値設定 (音声ﾄﾗﾌｨｯｸ優先制御)
	時刻補正機能	NTP ｸﾗｲｱﾝﾄ
	DNS 機能	DNS Proxy(relay)
VoIP 機能	呼制御ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	SIP､SDP
	音声圧縮方式	G.711、G.729A/B 準拠
	ｴｺｰｷｬﾝｾﾗｰ機能	G.168 準拠
保守機能	ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃﾅﾝｽ機能	INS 回線及び IP 回線からのﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃﾅﾝｽ機能
	ｵｰﾄﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ機能	保守ｻｰﾊﾞからのｵｰﾄﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ機能
装置ｲﾝﾀﾌｪｰｽ	表示部・操作部	状態表示 LED×12、INI,ADS ｽｲｯﾁ
	外形寸法	約 350(W)×240(D)×60(H) mm
	重量	約 1.3kg
その他	使用電源	AC100V±10V(50/60Hz)　約 15W
	使用環境条件	温度:0～40℃ 湿度:20～80%

※ 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

保　証　書

ALEXON

機器名　IPV3　　お買い上げ日　　年　月　日

製造番号 _____　　保証期間　お買い上げ日より1年間有効

お客様	貴社名／ご芳名	
	ご住所 〒	
	部署名	ご担当者名
	TEL	FAX

「保証規定」

◆保証期間内に、取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、弊社が無料修理いたします。

◆保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本保証書をご提示の上、弊社に依頼してください。

◆保証期間内であっても、次の場合には有料修理となります。

・使用上の誤り、不当な分解や修理・改造による故障及び損傷、消耗品の交換

・お買い上げ後の取り付け場所移動、輸送、落下などによる故障及び損傷

・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷

・本保証書のご提示がない場合、及びお買い上げ日、お客様名、製造番号の記入がない場合

◆本保証書は日本国内においてのみ有効です。再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて本製品の無料修理のみをお約束するものです。

※保証期間経過後の修理などについては、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

「免責事項」

◆自然災害、当社の責任以外の事故、お客様の故意、過失、誤用等により生じた損害、本書及び取扱説明書の記載内容以外の使用方により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負わないものとします。

◆本製品の使用、使用不能から生じる本製品以外の損害（記憶内容の消失、事業利益の損失、当社が関与しない接続機器及びソフトウェア等との組み合わせ使用により生じた損害）に関して、当社は一切の責任を負わないものとします。

株式会社アレクソン　アレクソン・サポートセンター　伊丹　☎072－780－1101

お問い合わせ

受付時間：月曜～金曜　9：20～12：00・13：00～17：00

（祝祭日、年末年始、弊社休業日を除く）　http://www.alexon.co.jp/

販売店	店名	〒 住所
	TEL	担当者名

2006.12.01　TIM2093B